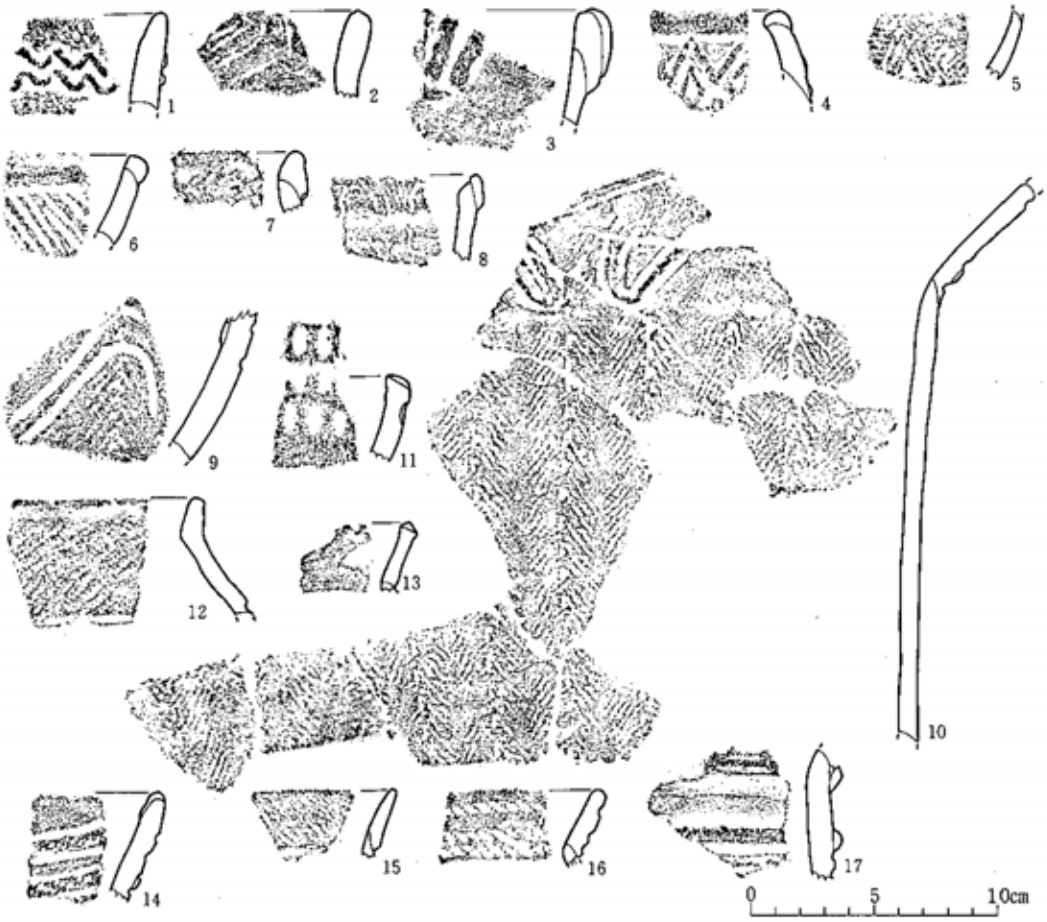


番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL71区・3層	深鉢・－	口縁部：平縁，縦歯状貼付文，縄文（LR）	110
2	CL71区・3層	深鉢・A(II)1	口縁部：波状縁（叉状），半截竹管による平行沈線文（縦位，弧状，山形状）	110
3	CL71区・3層，ベルト3層	深鉢・A(II)1(？)	口縁部：波状縁，縦位貼付文，頸部：横位連続刺突文	110
4	CL71区・3層	深鉢・U－	口縁部：平縁，頸部：横位沈線文，胴部：菱形状区画隆線文，半截竹管による連続刺突文〔隆線上〕	110
5	CL71区・3層	深鉢・－	口縁部：円形及び山形の組みあわせ状沈線文，三角形の彫虫	110
6	CL71区・3層	深鉢・D(I)－	口縁部：平縁，斜位沈線文	110
7	CL71区・3層	深鉢・S9a	口縁部：平縁，縄文（LR）結節文（片結び一環），半截竹管による連続刺突文（下端）	110
8	CL71区・3層	深鉢・S10b	口縁部：平縁，胴部：縄文（LR）結節文（片結び一連）	110
9	CL71区・3層	深鉢・D(IIc2(？))1a	口縁部：波状縁，区画沈線文，結束（第1種）羽状縄文（RL×LR）	110
10	CL71区・3層	深鉢・D(IIc2(？))1a	口縁部：弧状文，縄文（Rℓ），胴部：縄文（Rℓ）	110
11	CL71区・3層	深鉢・D(IIc2)5	口縁部：波状縁，対II文（波頂部），刺突文	110
12	CL71区・3層	深鉢・U－	口縁部：平縁，縄文（RL），横位沈線文	110
13	CL71区・3層	深鉢・W2b(？)	口縁部：小突起のつく平縁，無文	110
14	CL71区・3層	深鉢・D(IIc2(？))1a	口縁部：波状縁，区画隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（RL）〔隆線上〕	110
15	CL71区・3層	深鉢・W3b	口縁部：平縁，縄文（LR）	110
16	CL71区・3層	深鉢・E(I)1a	口縁部：平縁，横位押圧縄文（LR）	110
17	CL71区・3層	深鉢・J1a	胴部：横位隆帯，沈線文	110

第216図　東側遺物包含層出土土器（CL71区・3層）

番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL71区・ベルト2層	深鉢・D(II－)－	口縁部：波状縁，縦位短沈線文，菱形状沈線文	110
2	CL71区・2層	深鉢・W3b(？)	口縁部：平縁，縄文（LR）	110
3	CL71区・2層	深鉢・N5b	胴部：弧状区画隆線文，渦巻状隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR），楕円形貼付文，座頭状圧痕	110
4	CL71区・2層	深鉢・N6b	口縁部：平縁，区画隆線文，押圧縄文（LR）	110
5	CL71区・ベルト2層	深鉢・W－	口縁部：小突起のつく波状縁，縦位隆線文，弧状押圧縄文（Lr），縄文（Lr）	110
6	CL71区・2層	深鉢・F－	胴部：半截竹管による平行沈線文・刺突文，縄文（RL）	110
7	CL71区・1層	深鉢・H6b	口縁部：突起のつく平縁，格子目状粘土組貼付文	110
8	CL71区・1層	深鉢・S－(？)	口縁部：波状縁，口縁に平行する押引き文，円形竹管文	110
9	CL71区・1層	深鉢・S11a	口縁部：波状縁，無文，胴部：無文	110

第217図　東側遺物包含層出土土器（CL71区・2層，1層）

第1層：第217図7～9

第217図7～9：口縁部被片である。7は椀状に中央のくぼむ突起が付されている。8は押引き文、円形竹管文が施されている。

CM71区

第6層：第218図1～4

第218図1～3：胴部破片である。半截竹管によって文様が描かれている。

第218図4：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が短く外傾する器形である。

第5層：第218図5～16

第219図5：胴部破片である。山形状の文様が構成されている。

第219図6～10：口縁部破片である。沈線文、刺突文が施されている。

第218図11～12：口縁部がゆるやかに外傾する器形である。縄文結節文が横走している。

第218図13：複合口縁の無文土器である。口縁部上端には刻目文が施されている。

第218図14～16：胴部破片である。14は弧状沈線文、15は懸垂隆線文、16は楕円形状の縄文が施されている。

第4層：第219図

第219図1～3：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部がわずかに内弯しながら外傾する器形である。沈線文によって文様が描かれている。

第219図4：口縁部被片である。半截竹管による平行沈線が横位に施されている。

第219図5～8：複合口縁状に口縁部が肥厚する土器である。8は山形状の文様が描かれている。

第219図9～12：頸部がゆるくくびれる器形である。9は円形の小突起が付され、突起内面には渦巻状の押引きが施されている。

第219図13～14：口縁部破片である。無文。

第219図15：頸部でゆるくすぼむ器形である。口縁部の形状は四波状を呈し、口縁部に沿って押圧縄文が施され、さらに波状の押圧縄文が施されている。

第3層：第220図

第220図1：口縁部は肥厚して外傾している。押引き文が施されている。

第220図2：口縁部は複合口縁状を呈している。無文。

第220図3～5：3は口縁部内面上端が凸帯状に肥厚している。隆線文、沈線文が施されている。

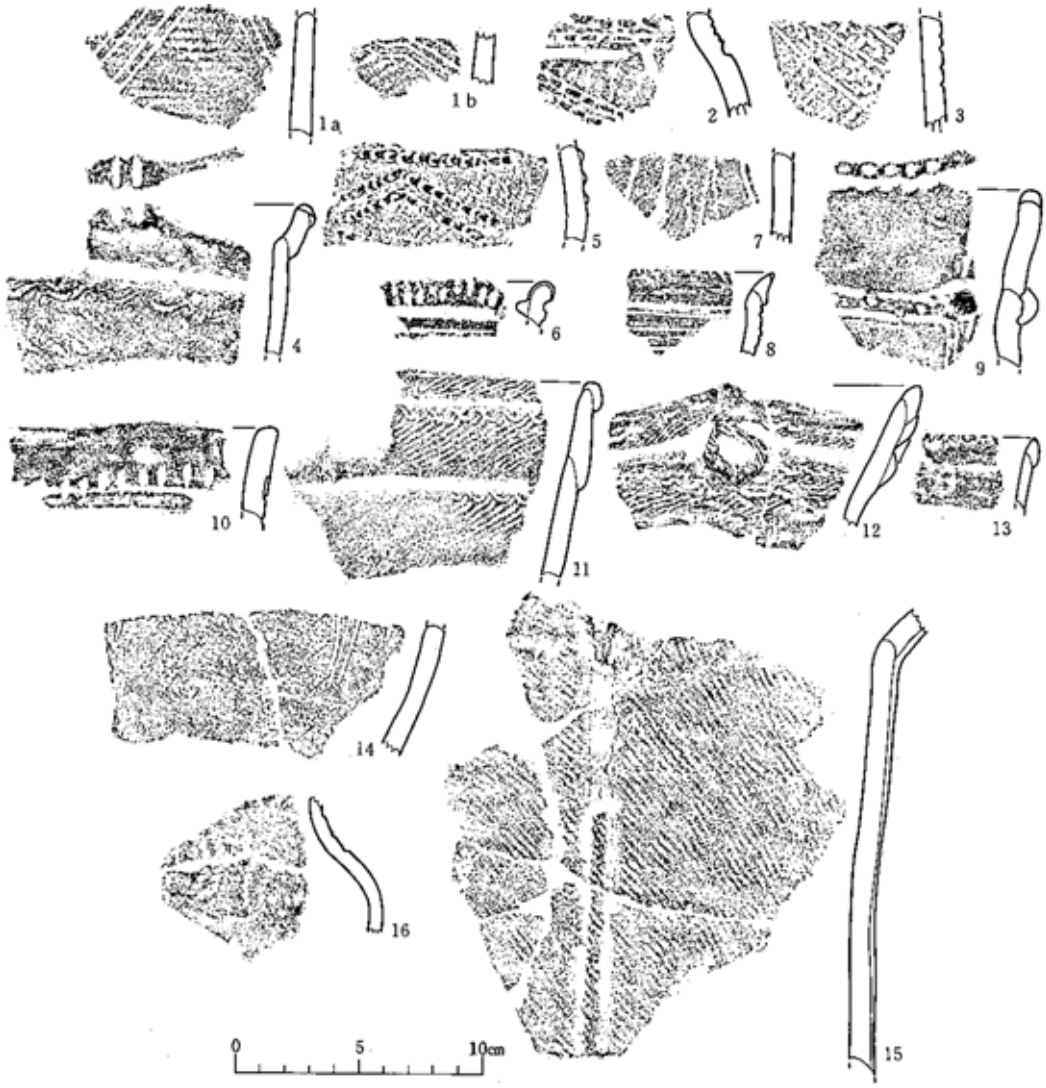
第2層：第221図

第221図1～6：口縁部～胴部破片である。いずれも文様構成は明らかではない。隆線文や沈線文、交互刺突文、押圧縄文などが施されている。

第222図1～4：口縁部破片である。いずれも文様構成は明らかではない。隆線文や沈線文などが施されている。4は浅鉢形土器である。

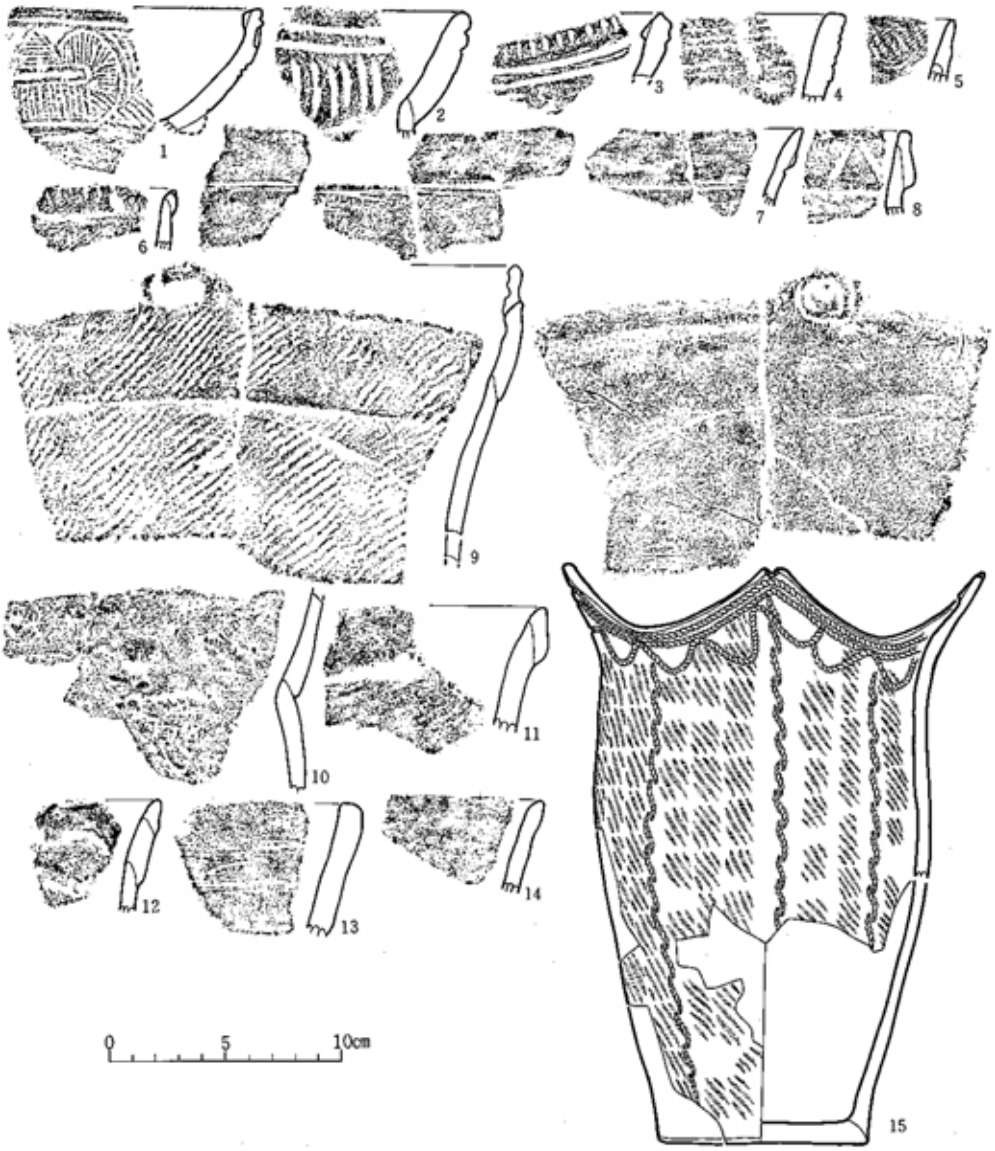
ＣN71区：第223図

遺物包含層は4層認められた。いずれも小片で、図化し得たのは第223図1のみである。



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1ab	CM71区・6層	深鉢・A−	胴部：半截竹管による平行沈線文，縄文（LR）	111
2	CM71区・6層	深鉢・N3	胴部：半截竹管による押引き文，横位沈線文，弧状沈線文，縄文（LR）	111
3	CM71区・ベルト6層	深鉢・A−	胴部：半截竹管による平行沈線文，連続刺突文，縄文（LR）	111
4	CM71区・ベルト6層	深鉢・W2a	口縁部：小突起のつく平縁，無文，胴部：縄文（RL）結節文（片結び一類）	111
5	CM71区・ベルト5層	深鉢・N2	胴部：山形状隆線文，半截竹管による連続刺突文（隆線上），縄文（LR）	111
6	CM71区・5層	深鉢・S3a	口縁部：平縁，縦位粘土紐貼付文〔上端〕，横位沈線文	111
7	CM71区・ベルト5層	深鉢・S4a(？)	胴部：「Y」字状沈線文，斜位短沈線文，結束（第2種）羽状縄文（RL×LR）結節文（片結び一類）	111
8	CM71区・5層	深鉢・D(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，半截竹管による連続刺突文〔上端〕，半截竹管による横位平行沈線文	111
9	CM71区・ベルト5層	深鉢・S4b	口縁部：波状縁，刻目文〔上端〕，胴部：円形竹管による交互刺突帯，刻目のつく横円形貼付文	111
10	CM71区・5層	深鉢・S9a	口縁部：連続刺突文〔下端〕，胴部：横位沈線文	111
11	CM71区・5層	深鉢・S10b	口縁部：平縁・胴部：縄文（LR）結節文（片結び一類）	111
12	CM71区・ベルト5層	深鉢・H−(？)	口縁部：波状縁，渦巻状隆線文，縄文(LR）結節文(両結び一類)，胴部：縄文(LR）結節文(両結び一類)	111
13	CM71区・5層	深鉢・S9c	口縁部：平縁，縦位刻目文〔上端〕，無文，胴部：無文	111
14	CM71区・5層	深鉢・N7a	胴部：馬蹄形状沈線文，縄文（RL）	111
15	CM71区・ベルト5層	深鉢・D−	胴部：「Y」字状懸垂隆線文，縄文（LR），胎土：金雲母を多く含む	111
16	CM71区・ベルト5層	深鉢・N4b	口縁部：横位・楕円形状押圧縄文（LR），縄文（LR）	111

第218図　東側遺物包含層出土土器（CM71区・6層，5層）

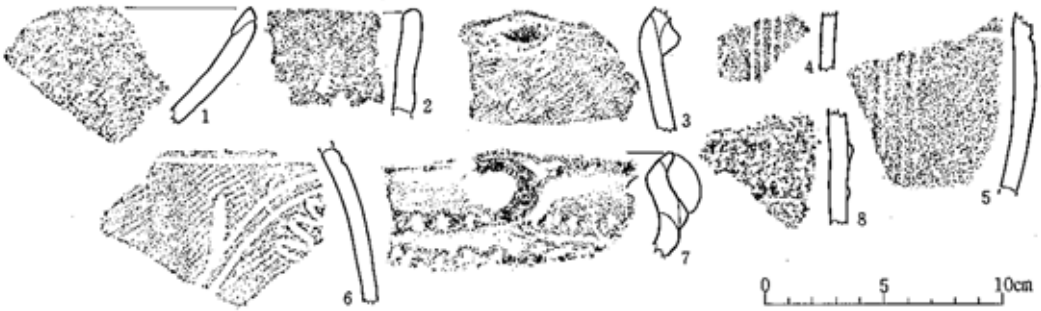


番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM71区・4層	深鉢・E(Ⅰ)4c	口縁部：平縁，渦巻状及び山形状の組みあわせ状沈線文，短沈線文，三角形の彫去	112
2	CM71区・4層	深鉢・D(Ⅰ)3	口縁部：波状縁，口縁に沿う平行沈線文，円圏状沈線文	112
3	CM71区・4層	深鉢・D(Ⅱ～)—	口縁部：波状縁，横位刻目文〔上端〕，口縁に沿う沈線文	112
4	CM71区・4層	深鉢・D(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，半截竹管による横位平行沈線文	112
5	CM71区・4層	深鉢・S10a	口縁部：平縁，縄文（RL）	112
6	CM71区・4層	深鉢・S8c	口縁部：平縁，刻目文〔上端〕	112
7	CM71区・4層	深鉢・S11a	口縁部：平縁，無文，頸部：横位隆帯，横位沈線文，胴部：無文	112
8	CM71区・4層	深鉢・S3b	口縁部：平縁，山形状沈線文，胴部：無文	112
9	CM71区・ベルト4層	深鉢・S10b	口縁部：小突起のつく平縁，縄文（Rℓ），胴部：縄文（Rℓ）	112
10	CM71区・ベルト4層	深鉢・V4	口縁部：無文，胴部：無文	112
11	CM71区・4層	深鉢・S10b	口縁部：平縁，無文，胴部：縄文（LR）	112
12	CM71区・4層	深鉢・S10b	口縁部：小波状縁（？），無文，胴部：無文	112
13	CM71区・4層	深鉢・S11b	口縁部：平縁，無文	112
14	CM71区・4層	深鉢・S11b	口縁部：平縁，無文	112
15	CM71区・5層・4層	深鉢・D(IIa)3	口縁部：波状縁，刻目文（波頂部），口縁に沿う押圧縄文（Lr），波状押圧縄文（Lr），胴部：縄文(Lr)結節文	6—2

第219図　東側遺物包含層出土土器（CM71区・4層）

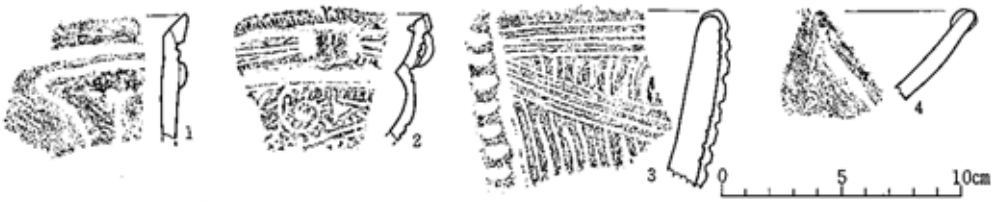
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM71区・3層	深鉢・一	口縁部：波状縁，押引文（渦巻状，縦位），頸部：横位押引き文	113
2	CM71区・3層	深鉢・S11a	口縁部：平縁，無文，胴部：無文	113
3	CM71区・3層	深鉢・R(Ⅰ)−(?)	口縁部：波状縁，区画沈線文，縄文（RL）	113
4	CM71区・3層	深鉢・N−	口縁部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文	113
5	CM71区・ベルト3層	深鉢・J−(?)	頸部：横位平行沈線文，胴部：結束（第1種）羽状縄文（LR×RL）	113

第220図　東側遺物包含層出土土器（CM71区・3層）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM71区・2層	浅鉢・A8d	口縁部：平縁，縄文（RL），胴部：縄文（RL）	113
2	CM71区・2層	深鉢・S11b	口縁部：平縁，縄文（LL）	113
3	CM71区・2層	深鉢・E(Ⅰ(?))10	頸部：楕円形貼付文，胴部：縄文（RL）	113
4	CM71区・2層	深鉢・一	胴部：半截竹管による平行沈線文（縦位），縄文結節文	113
5	CM71区・2層	深鉢・S or N−(?)	頸部：横位平行沈線文，胴部：縦位平行沈線文，縄文（LR）	113
6	CM71区・2層	深鉢・N9a	頸部：横位沈線文，弧状沈線文，縄文（RL）	113
7	CM71区・2層	深鉢・D(Ⅰ)6c	口縁部：平縁，「ノ」字状隆線文，円形竹管による交互刺突文，横位押圧縄文（LR,RL）	113
8	CM71区・2層	深鉢・S−(?)	胴部：横位隆帯，縦位の押圧縄文（LR），縄文（LR）	113

第221図　東側遺物包含層出土土器（CM71区・2層）

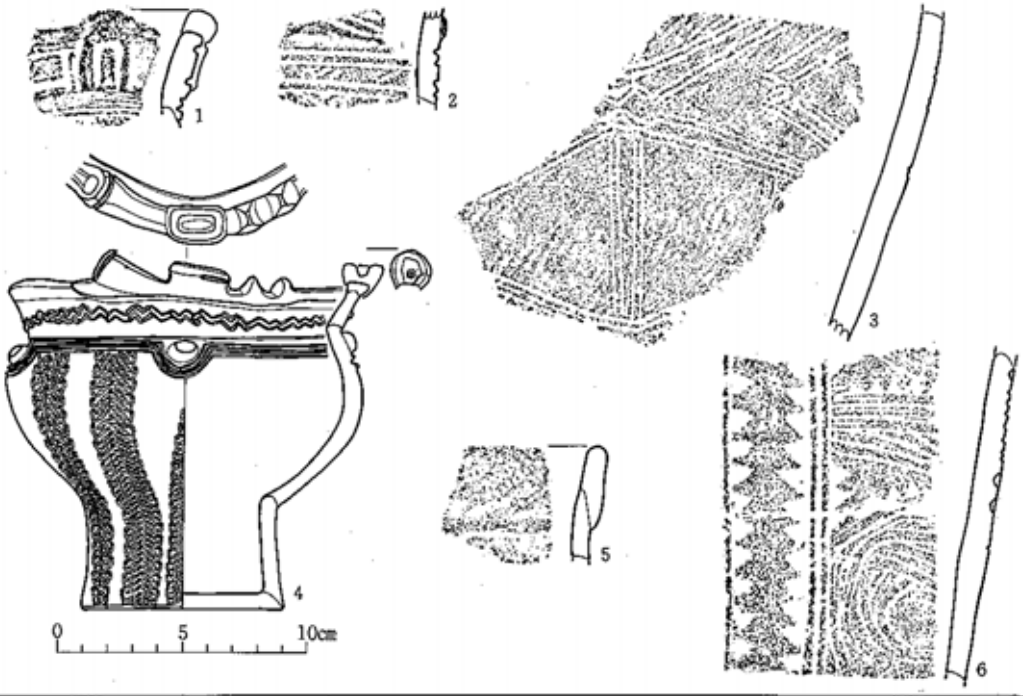


番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM71区・ベルト1層	深鉢・S6	口縁部：平縁，無文，頸部：横位沈線文，胴部：楕円形貼付文，撚糸文，縄文（RL）結節文(片結び一類)	113
2	CM71区・ベルト1層	深鉢・H2b	口縁部：平縁，横位隆帯，横状肥手，縦位刺沈線文（隆帯上），横位平行沈線文，胴部：高橋形と山形の組み合わせ文様，三角形の陰刻	113
3	CM71区・ベルト1層	深鉢・D(Ⅰ)3	口縁部：平縁，縦位隆線文，平行沈線文（横位，斜位），円形状沈線文	113
4	CM71区・ベルト1層	浅鉢・B3(?)	口縁部：波状縁，刺目文（波頂部）	113

第222図　東側遺物包含層出土土器（CM71区・1層）

番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CN71区・1層	深鉢・	胴部：粘土紐貼付文（横位・弧状）	113

第3図　東側遺物包含層出土土器（CN71区・1層）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	C L74区・6層	深鉢・A(1)1—	口縁部：小突起のつく平縁，長方形状沈線文，頸部：半截竹管による横位平行沈線文	139
2	C L74区・6層	深鉢・A—	頸部：斜位の刻目がつく隆帯，胴部：半截竹管による平行沈線文，縄文（LR）	139.
3	C L74区・6層	深鉢・A—	胴部：半截竹管による平行沈線文，縄文（LR）	139
4	C L74区・6層・5層・3層・2層・1層	深鉢・H6b	口縁部：突起のつく平縁，縦横状粘土紐貼付文，頸部：円形貼付文，粘土紐結付文，胴部：結束（束1種）羽状縄文（LR×RL）結節文（片結び一線）	10—4
5	C L74区・5層	深鉢・W3b	口縁部：平縁，縄文（LR）	139
6	C L74区・5層	深鉢・S4a(?)	胴部：半截竹管による平行沈線文（縦位，渦巻状），三角形の彫痕	139

第224図　東側遺物包含層出土土器（C L 74区・6層(1)・5層）

（11）74列（C L74区）

C L 74区

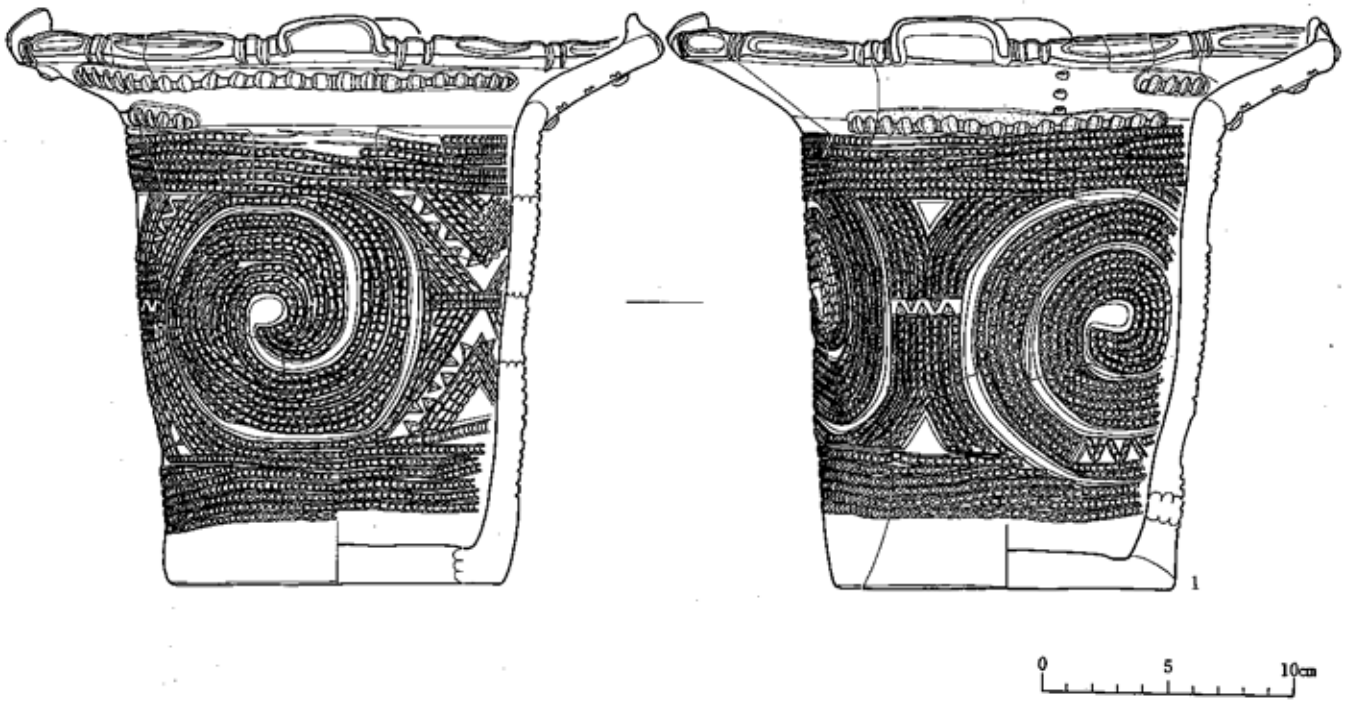
第6層：第224図1～4、第225図

第224図1～2：頸部がゆるやかに外反し、口縁部が肥厚して外傾する器形と思われる。口頸部に文様が施されている。

第224図3：胴部破片である。半截竹管による平行沈線文に文様が構成されている。

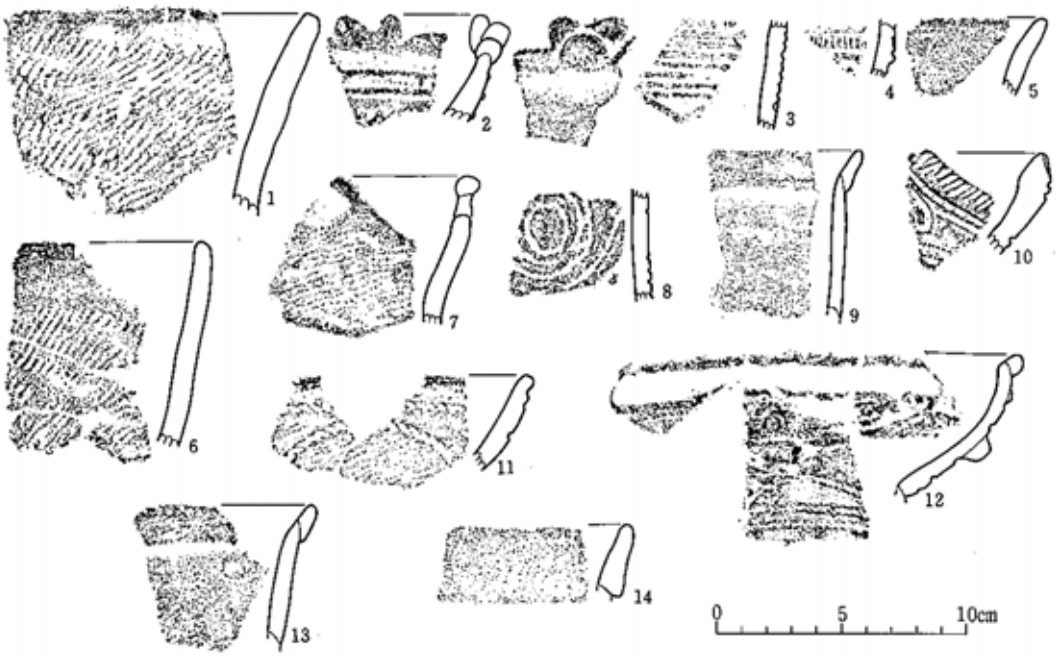
第224図4：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部は外傾している。口縁部内面上端は凸帯状に肥厚し、胴部にはくびれが設けられる。口縁部上端には中央のくぼむ突起が付され、口頸部は細い粘土紐によって文様が構成されている。胴部は結束羽状縄文、結節文が施されている。

第225図1：頸部がつよくくびれ、口縁部は外側に張り出し、胴部は底部にむかって直線的にすぼむ器形である。口縁部は4単位、胴部は3単位の文様構成がとられている。



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL74区・6層、 CL74区・6～5層、 CM69区・3層、 81年度土壙222号1	深鉢・P1	口縁部：突起のつく平縁、縄位刻目文、横位凹線文、横位隆帯、指頭状圧痕、円形竹管文、胴部：渦巻状彫出、三角形彫出、半截竹管による平行沈線文、連続刺突文	14－1

第225図　東側遺物包含層出土土器（CL74区・6層(2)）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL74区・4層	深鉢・A(Ⅰ)5b	口縁部：平縁，縄文（Lr），胴部：縄文（Lr）	139
2	CL74区・4層	深鉢・H6b	口縁部：小突起のつく平縁，粘土紐貼付文（横位，鎖状）	139
3	CL74区・4層	深鉢・S－(？)	胴部：半截竹管による平行沈線文（横位，斜位），三角形の彫去	139
4	CL74区・4層	深鉢・C1(？)	胴部：横位平行沈線文，縦位短沈線文	139
5	CL74区・4層	浅鉢・A8c	口縁部：平縁，無文	139
6	CL74区・4層	深鉢・S10a	口縁部：平縁，無文，胴部：縄文（Lr）	139
7	CL74区・3層	深鉢・D(ⅡC2(？))5	口縁部：波状縁，円形の盲孔（波頂部），縄文（LR）	139
8	CL74区・3層	深鉢・－	胴部：同心円状沈線文	139
9	CL74区・3層	深鉢・S11a	口縁部：平縁，無文，胴部：無文	139
10	CL74区・3層	深鉢・D(Ⅱ－)－	口縁部：波状縁，斜位短沈線文（上部），渦巻状沈線文，押引き文	139
11	CL74区・3層・2層	深鉢・D(Ⅰ)5a	口縁部：波状縁，押圧縄文（LR），縄文（LR）	140
12	CL74区・3層・2層	深鉢・D(Ⅰ)10a	口縁部：平縁，相対する半円形区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（Lr），渦巻状押圧縄文（Lr）	140
13	CL74区・3層	深鉢・S11a	口縁部：平縁，無文，胴部：縄文（RL）	140
14	CL74区・3層	深鉢・S11a	口縁部：平縁，無文，胴部：縄文（Lr）	140

第226図　東側遺物包含層出土土器（CL74区・4層・3層）

第5層：第224図5～6

第224図5：頸部がわずかにくびれ、口縁部は外傾している。縄文が施されている。

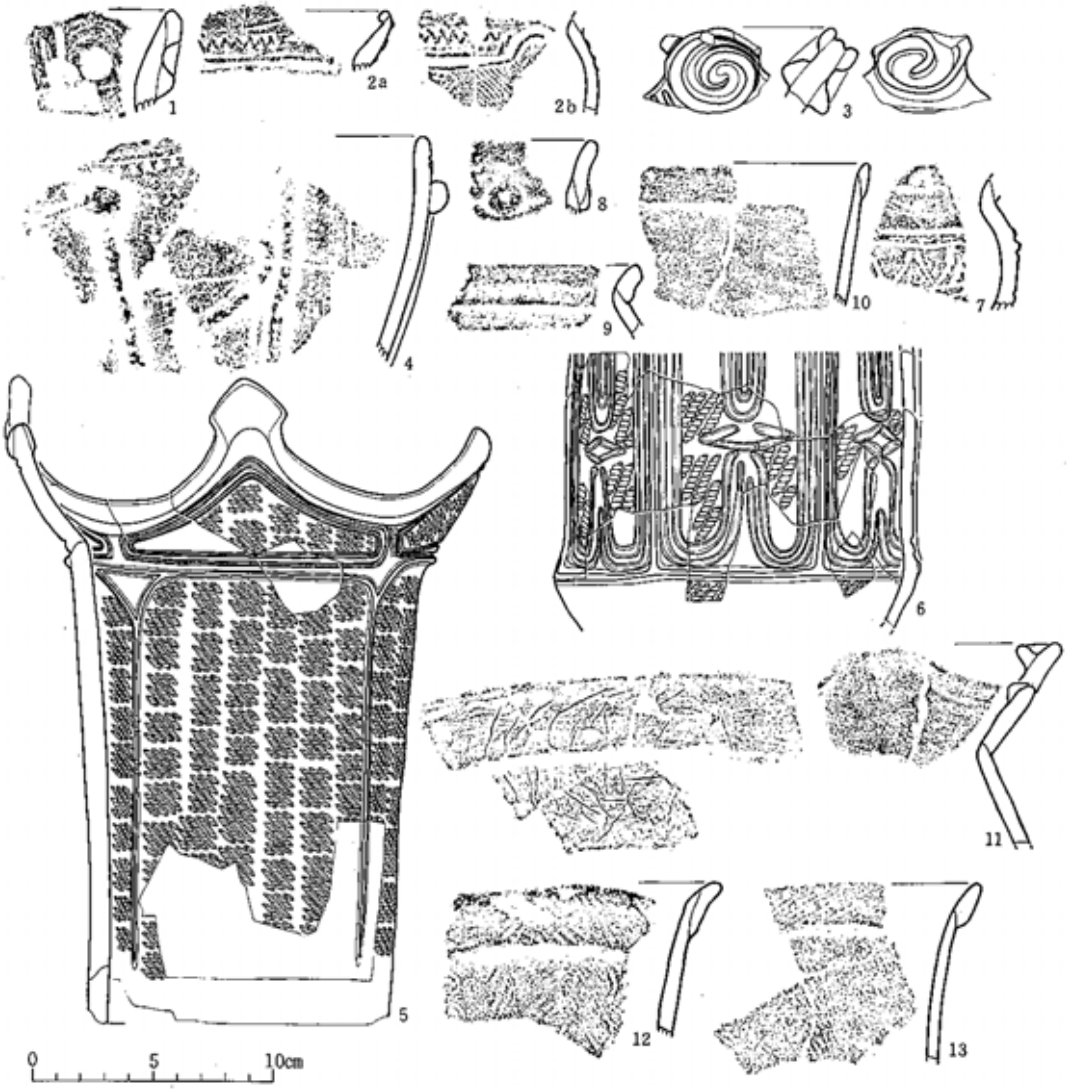
第224図6：胴部破片である。半截竹管による平行沈線文、彫去によって文様が構成されている。

第4層：第226図1～6

第226図1：胴部から口縁部にかけてゆるやかに外反している。縄文が施されている。

第226図2：口縁部はゆるやかに内弯しながら外傾している。細い粘土紐によって文様が構成されている。

第226図3：胴部破片である。半截竹管による平行沈線によって文様が施されている。



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL74区・2層	深鉢・A(Ⅰ)—	口縁部：平縁，円形貼付文，円形の盲孔，円形押圧縄文（R ℓ），縦位沈線文，縦位押圧縄文（R ℓ）	140
2a,b	CL74区・2層	深鉢・H6b	口縁部：波状縁，粘土紐貼付文（横位，縦垂状），胴部：粘土紐貼付文（横位，縦垂状）〔上部〕，結束（横1種），羽状縄文（RL×LR）	140
3	CL74区・2層	深鉢・H2b	口縁部：波状縁，渦巻状貼付文〔内外面波頂部〕	140
4	CL74区・2層	深鉢・S6	口縁部：平縁，横位沈線文，円形及び三角形の刺突文，胴部：懸垂縦線文，円形貼付文，円形刺突文	140
5	CL74区・2層	深鉢・P(Ⅱa)2	口縁部：波頂状突起のつく波状縁，弧状沈線文，縄文（LR），頸部：無文，胴部：「Y」字状懸垂縦線文，縄文（LR）	14－6
6	CL74区・2層	深鉢・F—	胴部：区画縦線文，弧状沈線文，菱形沈線文，縄文（RL）	12－2
7	CL74区・2層	深鉢・N9a	胴部：横位隆帯，横位平行沈線文，連続山形状沈線文	140
8	CL74区・2層	深鉢・E(Ⅰ)10	口縁部：平縁，無文，頸部：円形貼付文	140
9	CL74区・2層	深鉢・V4	口縁部：平縁，無文，胴部：無文	140
10	CL74区・2層	深鉢・S11a	口縁部：平縁，無文，胴部：無文	140
11	CL74区・2層	深鉢・V2	口縁部：突起のつく平縁，「の」字状貼付文〔内面波頂部〕，無文〔外面〕，胴部：縄文（RL）	140
12	CL74区・2層	深鉢・S10b	口縁部：平縁，縄文（LR,RL），胴部：結束（無1種）羽状縄文（LR×RL），縄文（RL）結節文（片結び一逆）	140
13	CL74区・2層	深鉢・S10b	口縁部：平縁，縄文（Lr），胴部：縄文（Lr）結節文（片結び一逆）	140

第227図　東側遺物包含層出土土器（CL74区・2層(1)）

第 226 図 4：胴部破片である。沈線文が施されている。

第 226 図 5〜6：文様意匠の施されない土器である。

第 3 層：第 226 図 7〜14

第 226 図 7：頸部がゆるい「く」字状にくびれる器形である。波頂部に円形の盲孔が施されている。

第 226 図 8：胴部破片である。半截竹管による平行沈線文によって文様が描かれている。

第 226 図 9、13〜14：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部は外傾する器形と思われる。文様意匠は施されていない。

第 226 図 10：口縁部はわずかに内弯しながら外傾している。沈線文・押引き文によって文様が構成されている。

第 226 図 11〜12：口縁部は内弯しながら外傾している。11 は押圧縄文によって、12 は隆線文と押圧縄文によって文様が構成されている。

第 2 層：第 227 図〜第 228 図

第 227 図 1：口縁部は肥厚して外傾する器形である。円形の貼付文上に押圧縄文が施されている。

第 227 図 2〜3：頸部が「く」字状につよくくびれる器形と思われる。粘土紐の貼付によって文様が施されている。

第 227 図 4：胴部から口縁部にかけてゆるやかに内弯する器形である。隆線文と竹串状施文具による沈線文・刺突文が施されている。

第 227 図 5：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部にはゆるやかに内弯しながら外傾し、胴部が円筒状を呈する器形である。圭頭状の突起が 1 か所に付されている。隆線文・沈線文によって文様が構成されている。

第 227 図 6：胴部資料である。円筒状の胴上部に文様が構成されている。

第 227 図 7：頸胴部破片である。隆線文、連続山形状の沈線文によって文様が構成されている。

第 227 図 9〜10：口縁部が複合口縁状を呈する土器である。8 の頸部には円形貼付文が施されている。口縁部・胴部ともに無文である。

第 227 図 11：頸部が「く」字状にくびれ、胴部が膨む器形である。突起内面には「の」字状貼付文が施されている。

第 227 図 12〜13：口縁部が複合口縁状を呈する土器である。縄文結節文が施されている。

番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL74区・2層	深鉢・V4	口縁部：平縁，無文，頸部：横位沈線文，胴部：無文	141
2	CL74区・2層	深鉢・D(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，無文，頸部：横位平行沈線文，縄文（Lr）	141
3	CL74区・2層	深鉢・W3	口縁部：波状縁，縄文（Lr）結節文（両結び一類）	141
4	CL74区・2層	深鉢・D(Ⅱ2(?))1a	口縁部：波状縁，区画隆線文，隆線に沿う沈線文，交互刺突文	141
5	CL74区・2層	深鉢・S−	口縁部：平縁，無文（上部），横位平行沈線文（下部）	141
6	CL74区・2層	深鉢・J1a	胴部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文，交互刺突文，縄文（LR）	141
7	CL74区・2層	深鉢・N4a	胴部：横位隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（RL）結節文（片結び一類）	141
8	CL74区・2層	深鉢・−	胴部：懸垂隆線文，縄文（Lr）結節文（片結び一類）	141
9	CL74区・2層	深鉢・−	頸部：横位沈線文，胴部：縄文（Lr）結節文（片結び一類），横位沈線文（結節文上）	141
10	CL74区・2層・1層	深鉢・D−(?)	胴部：縄文（LR）結節文（片結び一類）	141
11	CL74区・2層	浅鉢・A3e	口縁部：平縁，波状貼付文（内面上端），「メ」字状区画隆線文，胴部：「Y」字状隆線文，縄文（LR）	141
12	CL74区・2層	深鉢・S5a	口縁部：平縁，横位押圧縄文（Lr），胴部：縄文（Lr）結節文（片結び一類）	141
13	CL74区・2層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：小突起のつく平縁，横位押圧縄文（RL）	141
14	CL74区・2層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位押圧縄文（RL）	141
15	CL74区・2層	深鉢・−	胴部：横位平行沈線文，縦位の押圧縄文（Lr），半截竹管による刺突文，縄文（Lr）	141

第228図　東側遺物包含層出土土器（CL74区・2層(2)）

第 228 図 2〜5：口縁部破片である。いづれも外傾するものと思われる。

第 228 図 6〜10：胴部破片である。

第 228 図 11：浅鉢形土器と思われる。

第 228 図 12〜14：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部に押圧縄文が施されている。

第 229 図 15：胴部破片である。押圧縄文と半截竹管によって文様が施されている。

第 227 図 1：頸部がゆるい「く」字状にくびれる器形である。頸部に横位沈線文がめぐっている。

第1層：第229図

第229図1：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部はわずかに内弯しながら外傾する器形である。

第229図2：胴部破片である。半截竹管による平行沈線文が弧状に描かれ、その中に格子目状沈線文が施されている。

第229図3〜4：頸部がゆるい「く」字状にくびれる器形と思われる。隆線文と沈線文によって、文様が構成されている。

第229図5：底部から口縁部にかけて、直線的に立ちあがる器形である。口縁部に横位平行沈線文が施されている。

第229図6：口縁上部が内傾し、さらに口縁上端が外傾する器形と思われる。楕円形状の区画の中に渦巻文が描かれている。

第229図7：胴部破片である。隆線文と沈線文によって文様が施されている。

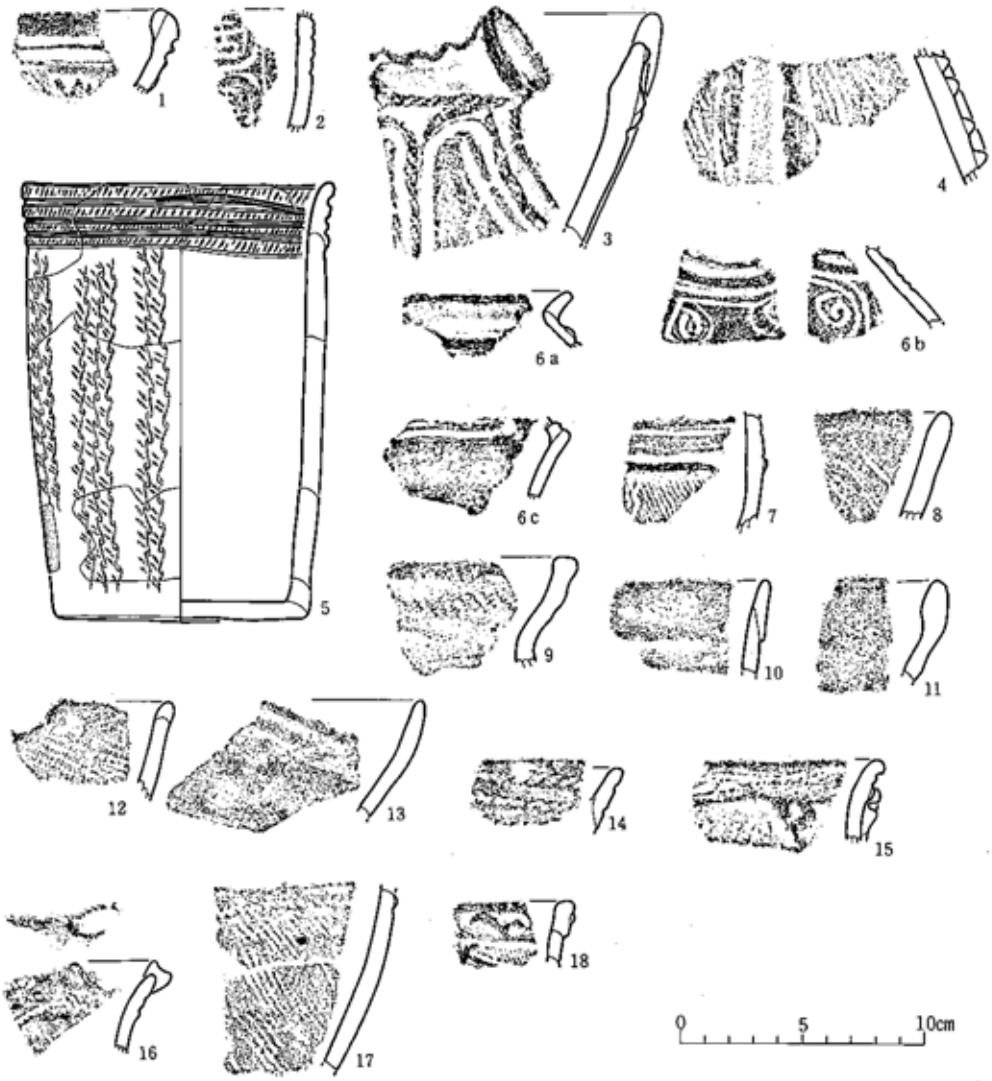
第229図8〜12：文様意匠の施されない土器である。

第229図13：無文の浅鉢形土器である。

第229図14〜16：口縁部は外傾している。横位の押圧縄文が口縁部に施されている。16は口縁上端に「の」字状貼付文が施されている。

第229図17：胴部破片である。隆線文と押圧縄文によって文様が構成されている。

第229図18：口縁部は複合口縁状を呈し、外傾している。連弧状の貼付文・押圧縄文、隆線文、沈線文によって文様が構成されている。



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL74区・1層	深鉢・H6b	口縁部：平縁，粘土紐貼付文（横位，縦歯状），横位平行沈線文	142
2	CL74区・1層	深鉢・－	胴部：半截竹管による平行沈線文（縦位，連弧状），格子目状沈線文，胎土：金雲母を多く含む	142
3	CL74区・1層	深鉢・D(ⅡC2)1a	口縁部：波状縁，区画隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（LR）	142
4	CL74区・1層	深鉢・J1a	胴部：縦位隆線文，鋸歯状隆線文（剥落），縄文（Lr）	142
5	CL74区・1層	深鉢・S－	口縁部：平縁，横位平行沈線文，縄文（Lr），胴部：縄文（Lr）結節文（片結び一組，逆）	12－4
6a,b,c	CL74区・1層	深鉢・K3a	口縁部：平縁，無文〔上部），楕円形沈線文，相対する渦巻文，胴部：縄文（Lr）	142
7	CL74区・1層	深鉢・N－	胴部：横位隆線文，横位平行沈線文，縄文（Lr）（片結び一組）	142
8	CL74区・1層	深鉢・S－	口縁部：平縁，縄文（Lr）	142
9	CL74区・1層	深鉢・W3b	口縁部：波状縁，縄文（RL）	142
10	CL74区・1層	深鉢・S11a	口縁部：平縁，無文，胴部：無文	142
11	CL74区・1層	深鉢・S11b	口縁部：平縁，無文	142
12	CL74区・1層	深鉢・S10a	口縁部：小波状縁，縄文（LR）結節文（片結び一組）	142
13	CL74区・1層	浅鉢・B4	口縁部：波状縁，無文	142
14	CL74区・1層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位押圧縄文（RL）	142
15	CL74区・1層	深鉢・S5a	口縁部：平縁，横位隆線文，横位押圧縄文（RL），頸部：隆帯，円形貼付文，懸垂隆線文，縄文（RL）	142
16	CL74区・1層	深鉢・S－	口縁部：小突起のつく平縁，「の」字状貼付文，押圧縄文(Lr)（横位，弧状），胴部：縄文（Lr）	142
17	CL74区・1層	深鉢・－	胴部：隆帯，横位押圧縄文（Lr），縄文（Lr）	142
18	CL74区・1層	深鉢・S5d	口縁部：平縁，連弧状貼付文，連弧状押圧縄文（Lr），胴部：隆線文，沈線文，縄文（Lr）	142

第229図　東側遺物包含層出土土器（CL74区・1層）

（12）75 列（ＣＬ75 区・ＣＭ75 区）

ＣＬ75 区

第６層：第 230 図 1

第 230 図 1：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部はわずかに内弯しながら外傾する器形である。半截竹管による平行沈線文、刺突文によって文様が構成されている。

第５層：第 230 図 2

第 230 図 2：口縁部が複合口縁状に肥厚する土器である。半截竹管による押引き文が施されている。

第４層：第 230 図 3～6

第 230 図 3～4：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部はわずかに内弯しながら外傾する器形である。3 は沈線文によって、4 は粘土紐貼付文によって文様が構成されている。

第 230 図 5：口縁部が外反する器形である。縄文が施されている。

第 230 図 6：胴部破片である。円形竹管による連続刺突が施されている。

第３層：第 230 図 7～14、第 231 図 1～3

第 230 図 7：頸部が「く」字状を呈し、口縁部が短く外傾する器形である。沈線文が描かれている。

第 230 図 8：頸部がゆるやかに外反し、口縁部が肥厚して外傾する器形と思われる。沈線文、刺突文が施されている。

第 230 図 9：胴部から口縁部にかけて直線的に外傾する器形である。頸部には隆帯がめぐっている。

第 230 図 10：胴中位で「く」字状につよくくびれ、胴上部から口縁部にかけてゆるやかに内弯する器形と思われる。半截竹管による平行沈線文と竹串状施文具による細い沈線文によって文様が構成されている。

第 230 図 11～12：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が外傾する器形である。円環状貼付文「の」字状貼付文が施されている。

第 230 図 13：口縁部が外反している。地文に縄文が施されている。

第 230 図 14：胴部破片である。沈線文によって文様が構成されている。

第 231 図 1：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部は内弯しながら外傾している。地文に縄文結節文が施されている。

第 231 図 2：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部が外傾する器形である。口縁部に文様が構成されている。

第 231 図 3：無文の浅鉢である。

第 2 層：第 231 図 4～16、第 232 図～第 234 図

第 231 図 4：口縁部は内弯しながら外傾している。半截竹管による押引き文によって文様が描かれている。

第 231 図 5：口縁部は外傾している。沈線文が描かれている。

第 231 図 6～8：頸部がゆるやかに外反し、口縁部は外傾する器形である。6～7 は口頸部に、8 は胴部に文様が描かれている。

第 231 図 9～12：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部がわずかに内弯しながら外傾する器形と思われる。隆線文や沈線文によって文様が構成されている。

第 231 図 13：頸部が「く」字状につよくくびれる器形である。口縁部は無文である。

第 231 図 14：口縁部は内弯している。地文に縄文が施されている。

第 231 図 15～16：口縁部は外反している。地文に縄文が施されている。

第 232 図 1～2：浅鉢形土器と思われる。口縁部は外傾し、口縁内面上端が凸帯状に肥厚している。1 は押引き文、2 は口縁部上端に刻目文が施されている。

第 232 図 3～6：頸部がゆるやかにくびれ、口縁部は複合口縁状を呈している。文様意匠は施されていない。

第 232 図 7～8：胴部破片である。隆線文、沈線文、刺突文によって文様が構成されている。

第 232 図 9：浅鉢形土器である。隆線文、沈線文によって文様が構成されている。

第 232 図 10～12：口縁部は外傾している。押圧縄文によって文様が構成されている。

第 232 図 13：浅鉢形土器である。押圧縄文が施されている。

第 232 図 14～17：口縁部は外傾している。連弧状貼付文や縦位刻目文が連続して施されている。

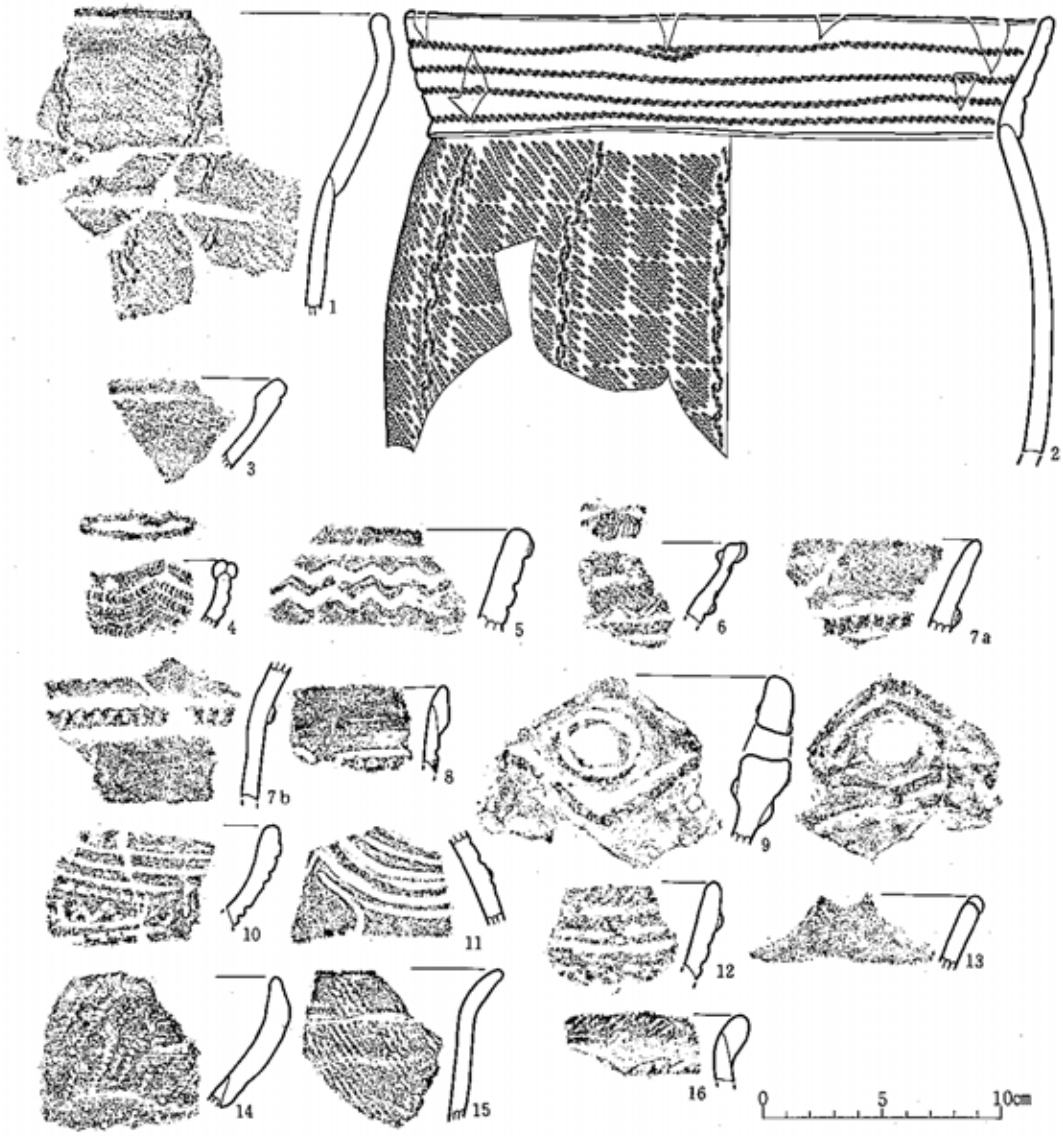
第 233 図 1：頸部がゆるやかにくびれ、口縁部は内弯するキャリパー状の器形である。口縁部は沈線文と刺突文によって文様が構成されている。

第 233 図 2：胴部から口縁部までほぼ直立する器形である。頸部に横位隆帯が施されている。

第 233 図 3：口縁部破片である。波頂部に円環状の小突起が付されている。

番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL75区・6層	深鉢・H−	口縁部：平縁，半截竹管による縦位平行沈線文，縄文（LR），頸部：半截竹管による横位平行沈線文，胴部：半截竹管による平行沈線文，刺突文，縄文（LR）	143
2	CL75区・5層	深鉢・S1	口縁部：平縁，無文，頸部：半截竹管による横位押引き文	143
3	CL75区・4層	深鉢・S2	口縁部：平縁，渦巻状沈線文，鋸歯状沈線文，縦位短沈線文	143
4	CL75区・4層	深鉢・E(Ⅰ)4C	口縁部：「C」字状貼付文，貼土紐貼付文（梯子状，鋸歯状）	143
5	CL75区・4層	深鉢・W3b	口縁部：平縁，縄文（R ℓ），胴部：縄文（R ℓ）	143
6	CL75区・4層	深鉢・E(Ⅰ)4(?)	口縁部：円形竹管文	143
7	CL75区・3層	深鉢・H6b	口縁部：平縁，横位沈線文，鋸歯状沈線文	143
8	CL75区・3層	深鉢・A(Ⅰ)4	口縁部：平縁，横位連続刺突文，横位平行沈線文	143
9	CL75区・3層	深鉢・S10−	口縁部：平縁，無文，頸部：隆帯，胴部：縄文（Lr）	143
10a,b	CL75区・3層・2層	深鉢・L3	口縁部：「C」字状貼付文，半截竹管による横位平行沈線文，三角形の施文，胴上部：半截竹管による弧状平行沈線文，格子目状沈線文，胴中部：半截竹管による横位平行沈線文，胴下部：半截竹管による縦位平行沈線文	12−1
11	CL75区・3層	深鉢・W2b	口縁部：小突起のつく平縁，円環状貼付文（小突起内外面）	143
12	CL75区・3層	深鉢・N−	口縁部：小突起のつく平縁，「の」字状貼付文（内面），円形貼付文，横位押正縄文（LR）	143
13	CL75区・3層	深鉢・S10a	口縁部：波状縁，縄文（LR），胴部：縄文（LR）	143
14	CL75区・3層	深鉢・J1a	胴部：縦位平行沈線文，弧状平行沈線文，縄文（LR）	143

第230図　東側遺物包含層出土土器（CL75区・6層・5層・4層・3層(1)）

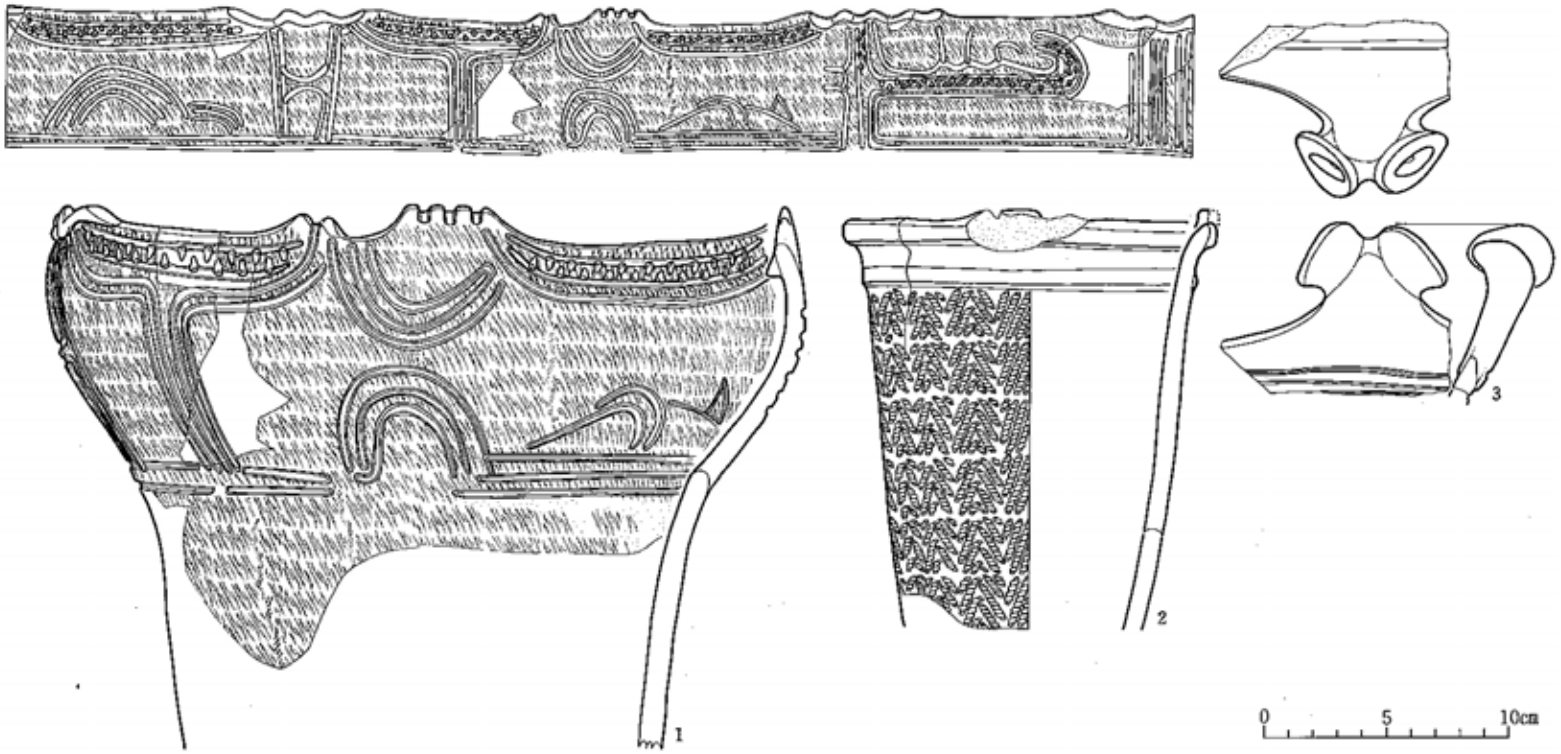


番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL75区・3層	深鉢・E(Ⅰ)11	口縁部：平縁，縄文（LR）結節文（片結び一環），胴部：縄文（LR）結節文（片結び一環）	143
2	CL75区・3層・2層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位押圧縄文（LR），胴部：縄文（LR）結節文（片結び一連）	15－2
3	CL75区・3層	浅鉢・A8e	口縁部：平縁，無文	143
4	CL75区・2層	深鉢・H4	口縁部：波状縁，半截竹管による波状押引き文，胎土：金雲母を多く含む	143
5	CL75区・2層	深鉢・E(Ⅰ)4b	口縁部：平縁，横位沈線文，鋸歯状平行沈線文	143
6	CL75区・2層	深鉢・H8b(？)	口縁部：平縁，鋸歯状沈線，三角形の彫去，縄文（LR）	143
7a,b	CL75区・2層	深鉢・R(Ⅰ)－	口縁部：平縁，縄文（R ℓ），胴部：縦位の押圧縄文（R ℓ）の施される隆帯，胴部：結節文（片結び一環）	143
8	CL75区・2層	深鉢・S4b	口縁部：平縁，弧状沈線文，円形竹管文，縄文（RL）結節文（片結び一環）	143
9	CL75区・2層	深鉢・D(Ⅱa)4a(？)	口縁部：波状縁，穿孔，菱形状隆線文（内外面），半截竹管による連続刺突文（上端）	143
10	CL75区・2層	深鉢・D(Ⅱc2(？))1a	口縁部：波状縁，区画押引き文，鋸歯状沈線文	143
11	CL75区・2層	深鉢・J1a	胴部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文	143
12	CL75区・2層	深鉢・E(Ⅰ)5	口縁部：平縁，横位隆線文，横位平行沈線文，円形竹管による交互刺突文，縄文（LR）	143
13	CL75区・2層	深鉢・S11b	口縁部：波状縁，無文	143
14	CL75区・2層	深鉢・W3b	口縁部：平縁，縄文（RL）	143
15	CL75区・2層	深鉢・W3b	口縁部：平縁，縄文（Lr）	143
16	CL75区・2層	深鉢・S10b	口縁部：平縁，縄文（Lr）	143

第231図　東側遺物包含層出土土器（CL75区・3層(2)・2層(1)）

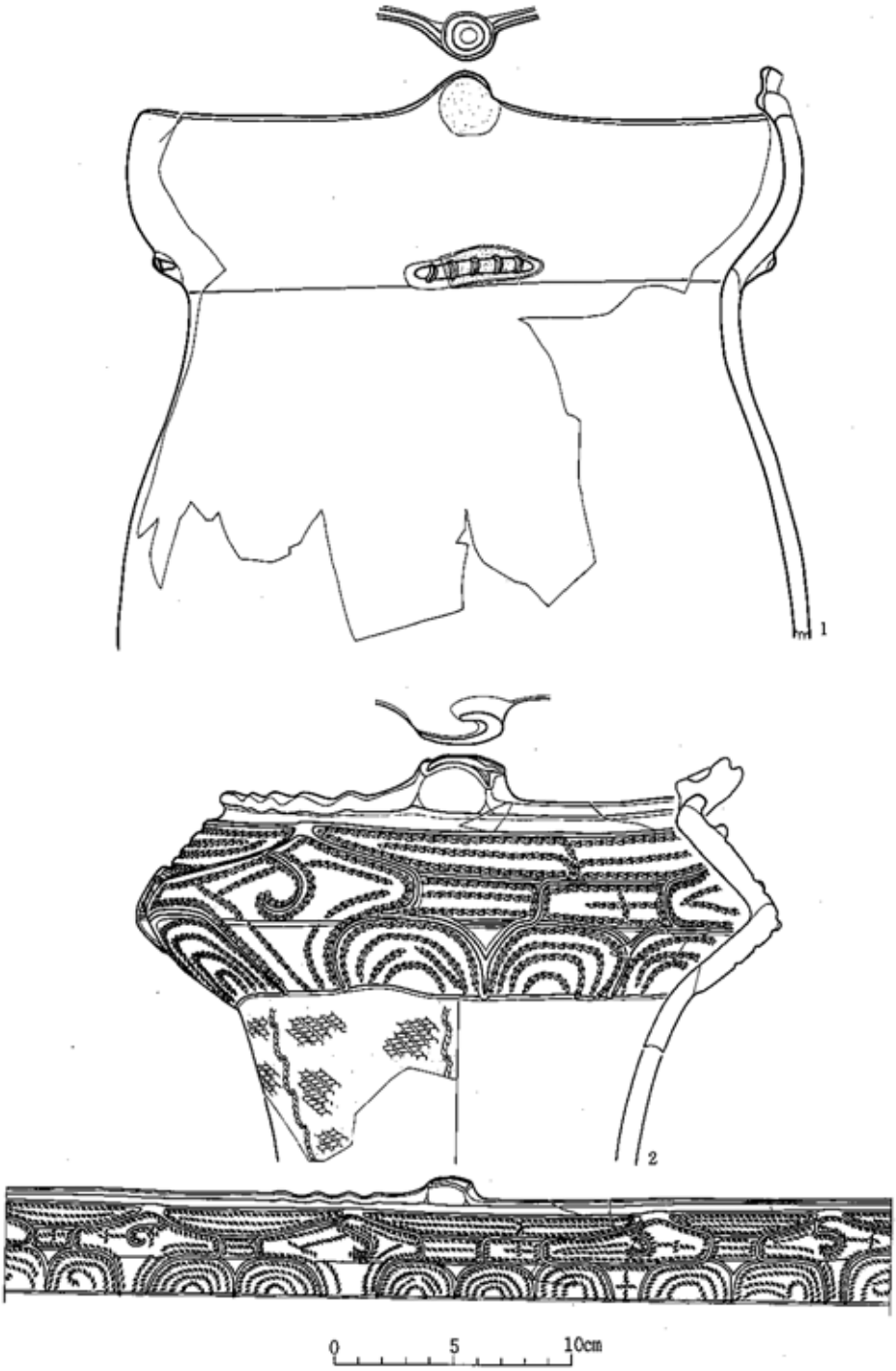
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL75区・2層	浅鉢・A2	口縁部：平線、横位押引き文	144
2	CL75区・2層	浅鉢・A−	口縁部：平線、縦位刻目文〔上端〕	144
3	CL75区・2層	深鉢・S10b	口縁部：平線、無文、胴部：縄文（Lr）結節文（片結び一環）	144
4	CL75区・2層	深鉢・S10b	口縁部：小突起のつく平線、無文、胴部：縄文（Lr）	144
5	CL75区・2層	深鉢・S11a	口縁部：平線、無文	144
6	CL75区・2層	深鉢・W3b	口縁部：小突起のつく平線、無文	144
7	CL75区・2層	深鉢・J1a	胴部：区画隆線文、刺突文（隆線上）、隆線に沿う沈線文、縄文（Lr）結節文（両結び一環）	144
8	CL75区・2層	深鉢・N9a	頸部：隆帯、胴部：横位沈線文、弧状沈線文、交互刺突文	144
9	CL75区・2層	浅鉢・A−	胴部：区画隆線文、隆線に沿う沈線文、縄文（LR）、底部：網代痕（2−4a種）	144
10	CL75区・2層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平線、横位押圧縄文（Lr）、縄文（Lr）	144
11	CL75区・2層	深鉢・S−	口縁部：平線、横位押圧縄文（LR）、縄文（LR）	144
12	CL75区・2層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：小波状線、横位押圧縄文（LR）、胴部：縄文（LR）	144
13	CL75区・2層	浅鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平線、横位押圧縄文（LR）、胴部：縄文（LR）	144
14	CL75区・2層	深鉢・D−(？)	口縁部：小波状線、横位平行沈線文、縦位の刻目のつく隆帯	144
15	CL75区・2層	深鉢・S−	胴部：横位隆線文、連弧状貼付文、弧状押圧縄文（Lr）、縄文（Lr）	144
16	CL75区・2層	深鉢・S5d	口縁部：平線、連弧状貼付文、縦位刻目文、横位平行沈線文、縦位の刻目のつく隆帯	144
17	CL75区・2層	深鉢・S5−	口縁部：平線、縦位の刻目のつく隆帯、縄文（Lr）	144

第232図　東側遺物包含層出土土器（CL75区・2層(2)）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL75区・2層	深鉢・D(Ⅰ)4a	口縁部：波状縁，広面沈線文，「V」字状沈線文，弧状沈線文，交互刺突文，縄文(LL)結節文(同結び一連)，胴部：縄文（LL），結節文（同結び一連），縄文（RL），結節文（交結び一連）	15－3
2	CL75区・2層，CP89区・西ベルト3層	深鉢・S10b	口縁部：小突起のつく平縁，無文，頸部：横位隆帯，胴部：結束（第1種）羽状縄文（RL×LR）	12－5
3	CL75区・2層	深鉢・S－(?)	口縁部：波状縁，撚糸(?)突起，頸部：横位平行沈線文	144

第233図　東側遺物包含層出土土器（CL75区・2層(3)）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL75区・2層	探鉢・E(Ⅰ)10	口縁部：突起のつく平縁，円環状貼付文（内面），半截竹管による刻目のつく楕円形貼付文，胴部：無文	16－1
2	CL75区・2層	探鉢・K5	口縁部：突起のつく平縁，「の」字状貼付文（内面），区画隆線文，渦巻状隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR），胴部：縄文（LR）線刻文（沖縄ひーぬ）	15－1

第234図　東側遺物包含層出土土器（CL75区・2層(4)）

番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1a,b	CL75区・1層、CL76区・1層	深鉢・K3a	口縁部：波状縁、「ｘ」字状区画隆線文、交互刺突文、三叉状沈線文、胴部：結束（第1種）縄文（LR）	14－2
2	CL75区・1層	深鉢・N9a	口縁部：平縁、無文、頸部：交互刺突帯、胴部：縄文（Lr）	145
3	CL75区・1層	深鉢・N9a	胴部：半円形区画隆線文、隆線に沿う沈線文、交互刺突文、縄文	145
4	CL75区・1層	深鉢・N7a	胴部：懸垂状沈線文、縄文（Lr）	145
5	CL75区・1層	深鉢・N,4a	口縁部：渦巻状沈線文、縄文（LR）結節文（片結び一順）	145
6	CL75区・1層	深鉢・N5b	口縁部：平縁、弧状区画隆線文、隆線に沿う押圧縄文(RL)、渦巻状押圧縄文(RL)、斜位押圧縄文(RL)	145
7	CL75区・1層	深鉢・－	胴部：縦位隆線文、縦位沈線文、連弧状沈線文、縄文（LR）	145
8	CL75区・1層	深鉢・－	胴部：縦位隆線文、縦位沈線文、縄文（LR）	145
9	CL75区・1層、CM75区・撹乱層	深鉢・F－	胴部：区画隆線文、「C」字状押圧縄文（LR）、縄文（LR）	145
10a,b	CL75区・1層	深鉢・K－	口縁部：波状縁、無文、胴部：弧状区画隆線文、指頭状圧痕、縄文（LR）	145
11	CL75区・1層	浅鉢・B4	口縁部：小突起のつく波状縁、弧状沈線文	145

第235図　東側遺物包含層出土土器（CL75区・1層(1)）

第 234 図 1：頸部がゆるやかにくびれ、口縁部は内弯するキャリパー状の器形である。胴部は膨んでいる。突起には円環状貼付文が、頸部には楕円形貼付文が付されている。

第 234 図 2：頸部がゆるやかに外反し、口縁部は外傾してから内傾する器形である。口縁部

に突起をひとつ持ち、「の」字状貼付文が狩されている。口縁部は隆線文と押圧縄文によって構成されている。

第1層：第235図～第236図1

第235図1：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部は内弯するキャリパー状の器形である。楕円形状の区画隆線文、沈線文、刺突文によって文様が構成されている。

第235図2～5：頸部がくびれ、胴部が膨む器形と思われる。隆線文や沈線文、刺突文によって文様が描かれている。

第235図6：口縁部は内弯するキャリパー状の器形である。弧状の区画隆線文、押圧縄文によって文様が構成されている。

第235図7～8：胴部破片である。沈線文が施されている。

第235図9：胴部破片である。区画隆線文、押圧縄文によって文様が構成されている。

第235図10：キャリパー状の器形を呈するものと思われる。弧状の隆線文、指頭状圧痕が施されている。

第235図11：浅鉢形土器と思われる。

第236図1：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部はわずかに内弯しながら外傾する器形である。隆線文、押圧縄文によって文様が施されている。

C M75区

第1層：第238図1～5、**撹乱層：**第238図6～14

第238図1：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部は短く外傾する器形である。地文に縄文結節文が施されている。

第238図2～4：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部はわずかに内弯しながら外傾する器形と思われる。2、3は隆線文と押圧縄文によって文様が構成されている。4は頸部隆帯に連続して刺突文が施されている。

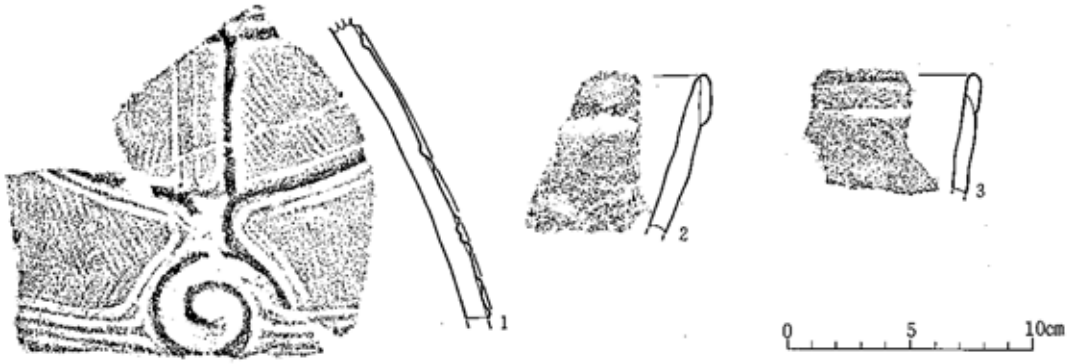
第238図5：胴部から口縁部にかけて内弯する器形である。隆線文と沈線文によって文様が構成されている。

C N75区

撹乱層：第239図

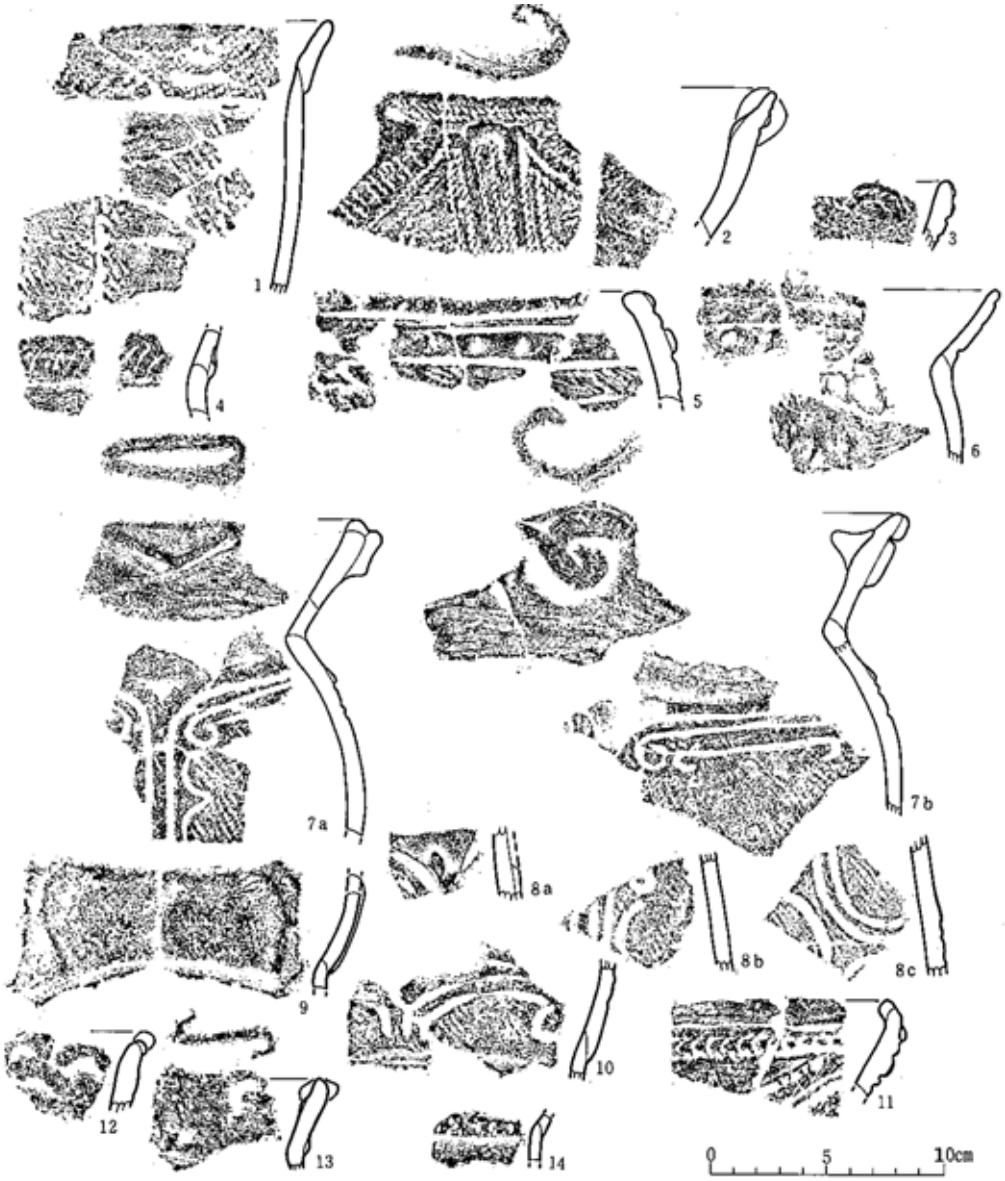
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL75区・1層 CM75区・撹乱層	深鉢・D(IIc2)1c	口縁部：波状縁，縁位の押圧縁文（Lr）（上部），弧状区画隆線文，渦巻状隆線文，隆線に沿う押圧縁文（Lr），縁位の押圧縁文（Lr），胴部：縄文（Lr）縄紋文（片結び一類）	145
2	CL75区・撹乱層	深鉢・L－	口縁部：平縁，指頭状圧痕（上端），縁位の押圧縁文（Lr），胴部：横位沈線文，放射沈線文	145

第236図　東側遺物包含層出土土器（CL75区・1層(2)・撹乱層）



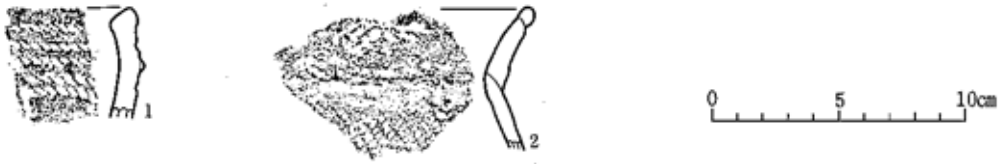
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	一区・包含層掘土	深鉢・F－	胴部：区画隆線文，渦巻状隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（LR）	
2	一区・包含層掘土	深鉢・S11a	口縁部：平縁，無文，胴部：無文	
3	一区・包含層掘土	深鉢・S11a	口縁部：平縁，無文，胴部：無文	

第237図　東側遺物包含層出土土器



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM75区・1層	深鉢・Wb	口縁部：平縁，縄文（LR），胴部：縄文（LR）結節文（片結び一段）	146
2	CM75区・1層	深鉢・D(Ⅱc2)1c	口縁部：波状縁，「の」字状貼付文（波頂部内外面），縦位の押圧縄文（Lr）（上部），区画隆線文，隆線沿う押圧縄文（Lr）	146
3	CM75区・1層	深鉢・D(Ⅰ)−	口縁部：平縁，横位隆帯，連弧状貼付文，弧状押圧縄文（RL），横位押圧縄文（RL,LR）	146
4	CM75区・1層	深鉢・D−	胴部：連続刺突の施される隆帯，胴部：無文	146
5	CM75区・1層	深鉢・U−	口縁部：平縁，横位平行隆線文，横位平行沈線文，弧状区画隆線文，縄文（Lr）	146
6	CM75区・撹乱層	深鉢・D(Ⅰ)1b	口縁部：平縁，横位平行押引き文，擦部による縦位のなでつけ，縄文（RL）	146
7a,b	CM75区・撹乱層	深鉢・N10	口縁部：波状縁，「の」字状貼付文（内外面），胴部：「Y」字状懸垂隆線文，連弧状沈線文，渦巻状沈線文，縄文（LR），結節文（片結び一段），胎土：金雲母を多く含む	146
8a,b,c	CM75区・撹乱層	深鉢・F−(?)	胴部：「Y」字状懸垂隆線文，連弧状沈線文，渦巻状沈線文，縄文（LR），胎土：金雲母を多く含む	146
9	CM75区・撹乱層	深鉢・D(Ⅱa)−	口縁部：波状縁，「Y」字状懸垂隆線文，縄文（LR）	146
10	CM75区・撹乱層	深鉢・D−	口縁部：沈線文（弧状，渦巻状），縄文（LR），胎土：金雲母を多く含む	146
11	CM75区・撹乱層	深鉢・D(Ⅰ)10c(?)	口縁部：平縁，半截竹管による連続刺突文，区画隆線文，隆線に沿う押引き文，縄文（LR）	146
12	CM75区・撹乱層	深鉢・S−	口縁部：小突起のつく平縁，連弧状貼付文，横位押圧縄文（RL），縄文（RL）	146
13	CM75区・撹乱層	深鉢・W−	口縁部：小突起のつく平縁，「の」字状貼付文（内外面），「ｘ」字状区画隆線文（剥落）	146
14	CM75区・撹乱層	深鉢・Y−	口縁部：縦位の押圧縄文（Lr），胴部：無文	146

第238図　東側遺物包含層出土土器（CM75区・１層・撹乱層）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CN75区・撹乱層	深鉢・U－	口縁部：平縁、横位押圧縄文（Lr）	147
2	CN75区・撹乱層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：小波状縁、縄文（LR）、胴部：縄文（LR）	147

第239図　東側遺物包含層出土土器（CN75区・撹乱層）

（13）76列（ＣＪ76区・ＣＬ76区）

ＣＪ76区

第1層：第240図

第240図1～2：頸部がゆるい「く」字状を呈し、口縁部が外傾する器形である。隆線文と沈線文による文様が構成されている。

第240図3：口縁部がゆるく外傾している。地文として縄文結節文が施されている。

第240図4：胴部破片である。胴部上半に隆線文と沈線文によって文様が構成されている。

ＣＬ76区

第2層：第241図1～4

第241図1～4：口縁部破片である。いずれも文様意匠は施されていない。

第1層：第241図5～6

第241図5：口縁部は複合口縁状を呈している。縄文が施されている。

第241図6：口縁部は内弯し、キャリパー状を呈している。隆線文と沈線文によって文様が構成されている。

番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CJ76区・1層 CM73区・2層	深鉢・D(Ⅰ)4a	口縁部：平縁，区画隆線文，隆線に沿う沈線文，弧状沈線文，交互刺突文～＝CM73区・2層参照	147
2	CJ76区・1層	深鉢・D(Ⅱc2(？))1a	口縁部：波状縁，区画隆線文，隆線に沿う沈線文	147
3	CJ76区・1層	深鉢・W3b	口縁部：平縁，縄文（LR）結節文（片結び一環）	147
4	CJ76区・1層	深鉢・N4a	胴部：横位蛇行，弧状沈線文，交互刺突文，縄文（LR）結節文（片結び一環）	147

第240図　東側遺物包含層出土土器（CJ76区・1層）

番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL76区・2層	深鉢・S10－	口縁部：平縁，無文，胴部：結束（第1種）羽状縄文（RL×LR）	147
2	CL76区・2層	深鉢・D(Ⅱc2)5(？)	口縁部：波状縁，縄文（Lr）結節文（両結び一逆）	147
3	CL76区・2層	深鉢・S11b	口縁部：平縁，無文	147
4	CL76区・2層	深鉢・S11a	口縁部：小波状縁，無文	147
5	CL76区・1層	深鉢・S10b	口縁部：波状縁，縄文（RL）	147
6	CL76区・1層	深鉢・E(Ⅰ)5	口縁部：平縁，区画隆線文，隆線に沿う沈線文，鋸歯状押引き文，刻目のつく楕円形貼付文	147

第241図　東側遺物包含層出土土器（CL76区・2層・1層）

（14）77 列（ＣＩ77 区・ＣＪ77 区）

ＣＩ77 区

第１層：第 242 図

第 242 図 1～2：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部はわずかに内弯しながら外傾する器形である。押圧縄文によって文様が施されている。

ＣＪ77 区

第１層：第 243 図

第 243 図 1～3：頸部がゆるやかに外反し、口縁部は肥厚して外傾する器形と思われる。口縁部は太い沈線文が、頸部は半截竹管による平行沈線文によって文様が描かれている。

第 243 図 4：口縁部がゆるやかに内弯しながら外傾する器形である。押圧縄文によって文様が施されている。

第 243 図 5～6：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部は外傾する器形と思われる。隆線文と沈線文によって文様が施されている。

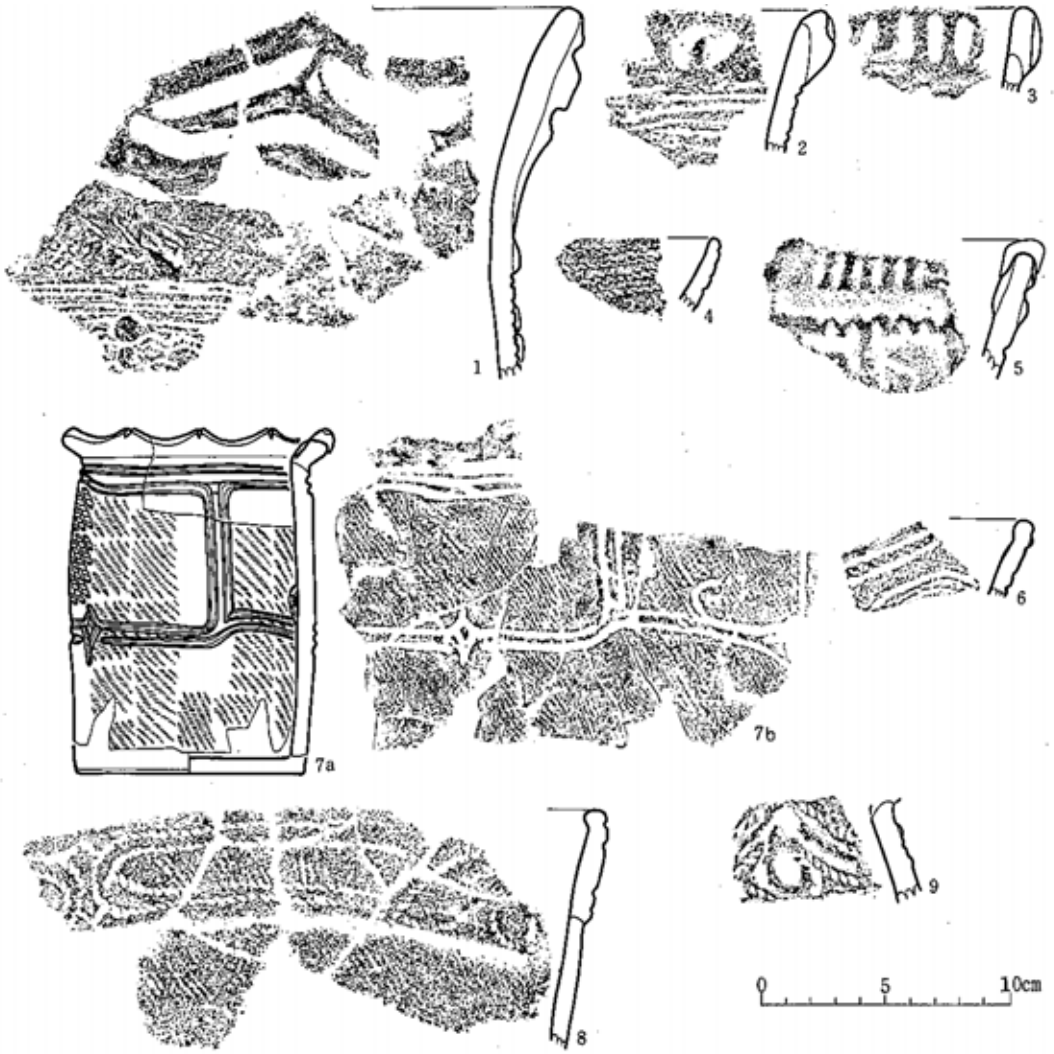
第 243 図 7：頸部がつよくくびれ、口縁部が短く外傾し、円筒状の胴部が接続する器形である。胴部に沈線文によって文様が施されている。

第 243 図 8：胴部から口縁部まで直線的に外傾する器形である。口縁部に押圧縄文によって文様が施されている。

第 243 図 9：胴部破片である。隆線文と沈線文によって文様が構成されている。

番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CI77区・1層	深鉢・D(Ⅰ)6d	口縁部：平縁，横位押圧縄文（Lr），弧状押圧縄文（Lr）	147
2	CI77区・1層	深鉢・D(Ⅱb)2	口縁部：波状縁，楕円形の渦状貼付文（波頂部所所），口縁に沿う押圧縄文(LR,RL)，半截竹管による連続刺突文	147

第242図　東側遺物包含層出土土器（CI77区・１層）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CJ77区・1層	深鉢・A(II)−	口縁部：波状線，山形沈線文，頸部：部位判別文の施される隆帯，胴部：半截竹管による横位平行沈線文・波状文，円形刺突文，縄文（LR）	147
2	CJ77区・1層	深鉢・A(I)2	口縁部：平線，弧状沈線文，頸部：半截竹管による横位平行沈線文	147
3	CJ77区・1層	深鉢・A(I)1a(?)	口縁部：平線，縦位沈線文	147
4	CJ77区・1層	深鉢・E(I)1a	口縁部：平線，横位平行押圧縄文（LR）	147
5	CJ77区・1層	深鉢・D(IIc2)1a	口縁部：波状線，区画隆線文，交互刺突文（隆線上），隆線に沿う沈線文，縦位沈線文（波頂部）	147
6	CJ77区・1層	深鉢・D(IIc2(?))1a	口縁部：波状線，区画隆線文，隆線に沿う沈線文，弧状沈線文，縄文（RL）	147
7a,b	CJ77区・1層	深鉢・S6	口縁部：波状線，無文，胴部：区画沈線文，菱形沈線文，渦巻状沈線文，縄文（LR・Lr）	
8	CJ77区・1層，CL76区・2層	深鉢・D(I)6d	口縁部：平線，楕円形押圧縄文（LR），縄文（LR），胴部：縄文（LR）	147
9	CJ77区・1層	深鉢・J1a	胴部：相対する半円形区画隆線文，渦巻状隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR）	147

第243図　東側遺物包含層出土土器（CJ77区・1層）

（15）78 列（ＣＪ78 区・ＣＫ78 区）

ＣＪ78 区

第４層：第 244 図 1～3

第 244 図 1：口縁部で膨み、若干内弯気味に立ちあがる器形である。波状の押引き文、刺突文が施されている。

第 244 図 2：頸部がつよくくびれ、胴部が膨む器形である。沈線文によって文様が描かれている。

第 244 図 3：浅鉢形土器である。縄文が施されている。

第１層：第 244 図 4～13、第 1～2 層を併示。

第 244 図 4：頸胴部破片である。頸部隆帯が付され、沈線文によって文様が描かれている。

第 244 図 5：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部がゆるやかに内弯しながら外傾する器形と思われる。沈線文と円形竹管文によって文様が施されている。

第 244 図 6：口縁部は複合口縁状を呈している。頸部に連続して円形竹管が施されている。

第 244 図 7～9：口縁部～胴部破片である。押引き文や沈線文、隆線文が施されている。

第 244 図 10～11：口縁部破片である。押圧縄文によって文様が構成されている。

第 244 図 12～13：口縁部破片である。半截竹管による連続刺突文が施されている。

ＣＫ78 区

第１層：第 245 図

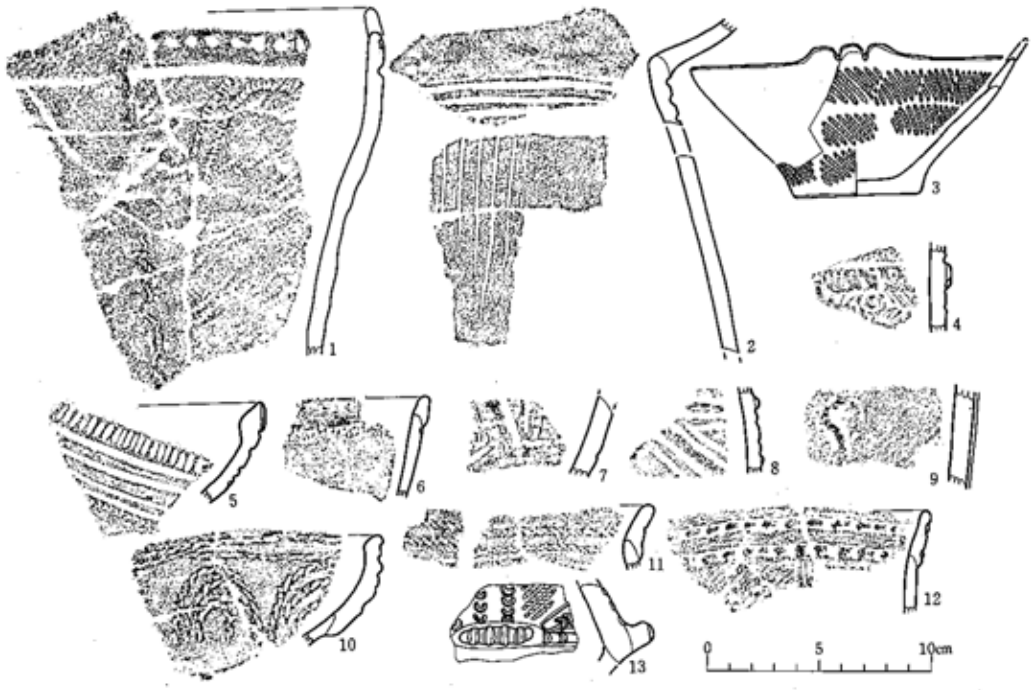
第 245 図 1：胴部破片である。沈線文によって文様が描かれている。

第 245 図 2：口縁部は外傾している。複合口縁状を呈している。

第 245 図 3：浅鉢形土器と思われる。隆線文によって文様が施されている。

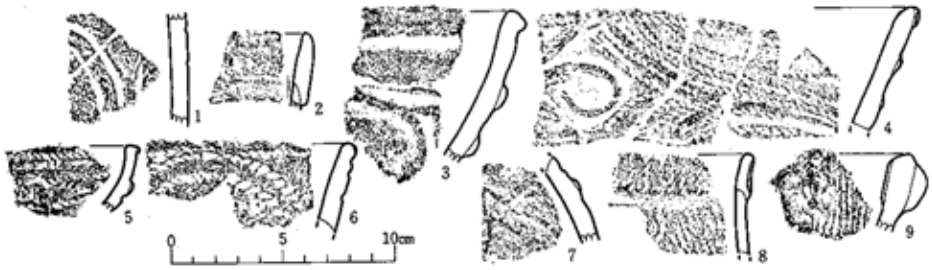
第 245 図 4～8：頸部がゆるい「く」字状にくびれる器形と思われる。押圧縄文が施されている。

第 245 図 9：頸部がゆるい「く」字状にくびれる器形と思われる。波頂部に縦位の楕円形貼付文が付されている。



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CJ78区・4・2・1層	深鉢・S8	口縁部：小突起のつく平縁，円形竹管文，頸部：横位沈線文，胴部：縦位貼付文，波状押引き文，縄文（RL），結束文（ドッ結び一類）	148
2	CJ78区・4層	深鉢・K−	口縁部：無文，頸部：横位平行沈線文，胴部：縦位平行沈線文，除土：金雲母を多く含む	148
3	CJ78区・4層	浅鉢・A8b	口縁部：波状縁，縄文（RL），胴部：縄文（RL）	14−3
4	CJ78区・1層	深鉢・S2	口縁部：円形刺突文，横位沈線文，頸部：横位隆帯，縦位回沈線文，三角形の彫去，胴部：渦巻状沈線文	148
5	CJ78区・2−1層	深鉢・D(IIa(?))1	口縁部：波状縁，縦位回沈線文，口縁に沿う平行沈線文，連続円形竹管文	148
6	CJ78区・2−1層	深鉢・S9a	口縁部：平縁，無文，頸部：円形刺突文，胴部：無文	148
7	CJ78区・2−1層	深鉢・D−	口縁部：区画隆線文，隆線に沿う押引き文，斜位沈線文，斜押引き文	148
8	CJ78区・1層	深鉢・N5a	胴部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（LR）	148
9	CJ78区・1層	深鉢・−	胴部：縦位隆線文，縄文（RL）	148
10	CJ78区・2−1層	深鉢・D(I)5a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（RL），弧状押圧縄文（RL）	148
11	CJ78区・1層	深鉢・E(I)1a	口縁部：小突起のつく平縁：横位平行押圧縄文	148
12	CJ78区・1層，CK78区・1層，CK79区・1層	深鉢・D(I)1e	口縁部：平縁，半截竹管による横位平行押引き文，縄文（RL），胴部：半截竹管による縦位平行押引き文，縄文（RL）	148
13	CJ78区・2−1層	深鉢・J1a	口縁部：半截竹管による連続刺突文，区画隆線文，縄文（RL），刺目のつく楕円形貼付文	148

第244図　東側遺物包含層出土土器（CJ78区・4・1層）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CK78区・1層	深鉢・N7a	胴部：弧状沈線文，縄文（RL）	148
2	CK78区・1層	深鉢・S11a	口縁部：平縁，無文	148
3	CK78区・1層	浅鉢・A−	口縁部：平縁，相対する弧状区画隆線文，「ハ」字状隆線文	148
4	CK78区・1層	深鉢・D(I)10a	口縁部：平縁，相対する弧状区画隆線文，馬蹄状隆線文，縦位の押圧縄文(LR)の施される楕円形貼付文，隆線に沿う押圧縄文（LR）	148
5	CK78区・1層	深鉢・D(I)10a	口縁部：平縁，相対する弧状区画隆線文，縦位の押圧縄文（LR）の施される楕円形貼付文，隆線に沿う押圧縄文（LR）	148
6	CK78区・1層	深鉢・D(I)	口縁部：平縁，指頭状圧痕（口唇部），横位押圧縄文（Rd），弧状押圧縄文（Rd）	148
7	CK78区・1層	深鉢・J1b	胴部：区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR）	148
8	CK78区・1層	深鉢・S−	口縁部：平縁，縦位の押圧縄文（LR），縄文（LR）結節文（ドッ結び一類）	148
9	CK78区・1層	深鉢・D(IIa)6a	口縁部：波状縁，縦位楕円形貼付文，縄文（Lr）	148

第245図　東側遺物包含層出土土器（CK78区・1層）

（16）79 列（ＣＪ79 区・ＣＫ79 区）

ＣＪ79 区

第３層：第 246 図 1～2

第 246 図 1～2：胴部破片である。1 は半截竹管による平行沈線文によって文様が描かれている。2 は隆線文・沈線文によって文様が構成されている。

第２層：第 246 図 3～10

第 246 図 3～4：胴部破片である。3 は沈線文が施されている。4 は隆線文と半截竹管による押引き文が施されている。

第 246 図 5：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部はわずかに内弯しながら外傾している。細い粘土紐によって文様が構成されている。

第 246 図 6～8：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部は内弯しながら外傾している。隆線文や沈線文によって文様が構成されている。

第 246 図 9：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部は外傾している。口縁部には押圧縄文が施されている。

第 246 図 10：口縁部は内弯しキャリパー状の器形である。口縁部は半截竹管による連続刺突文、押圧縄文によって構成されている。

第２層上面：第 246 図 11

第 246 図 11：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部は外傾し、胴部は円筒状の器形である。口縁部には押圧縄文が施されている。

第１層：第 247 図～第 248 図

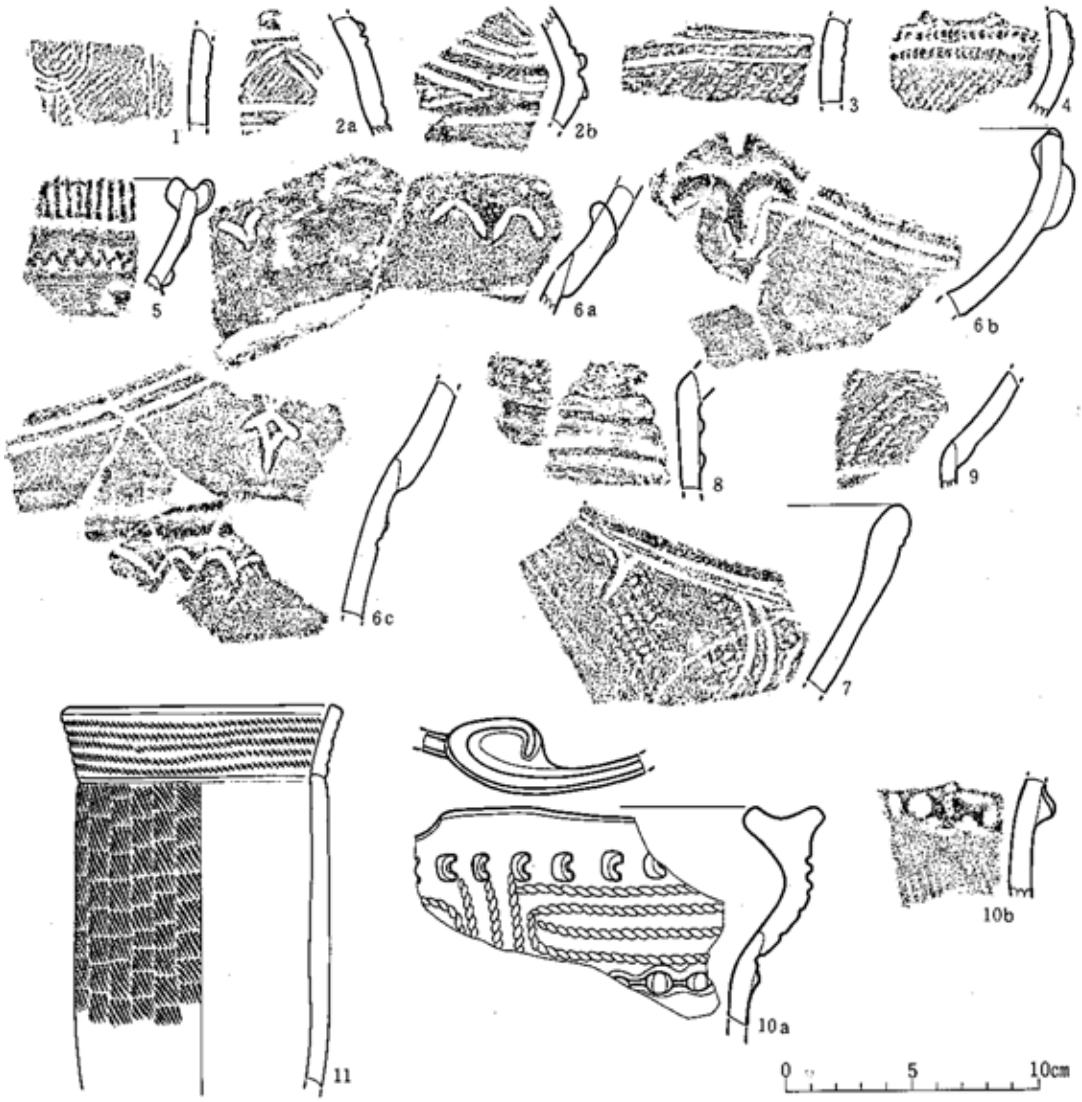
第 247 図 1～6：胴部破片である。隆線文や沈線文、刺突文によって文様が構成されている。

第 247 図 7～8：口縁部は外傾している。文様意匠は施されない。

第 247 図 9～13：第 248 図 1～2：頸部がゆるやかにくびれ、口縁部は外傾する器形である。押圧縄文あるいは隆線文と押圧縄文によって文様が構成されている。

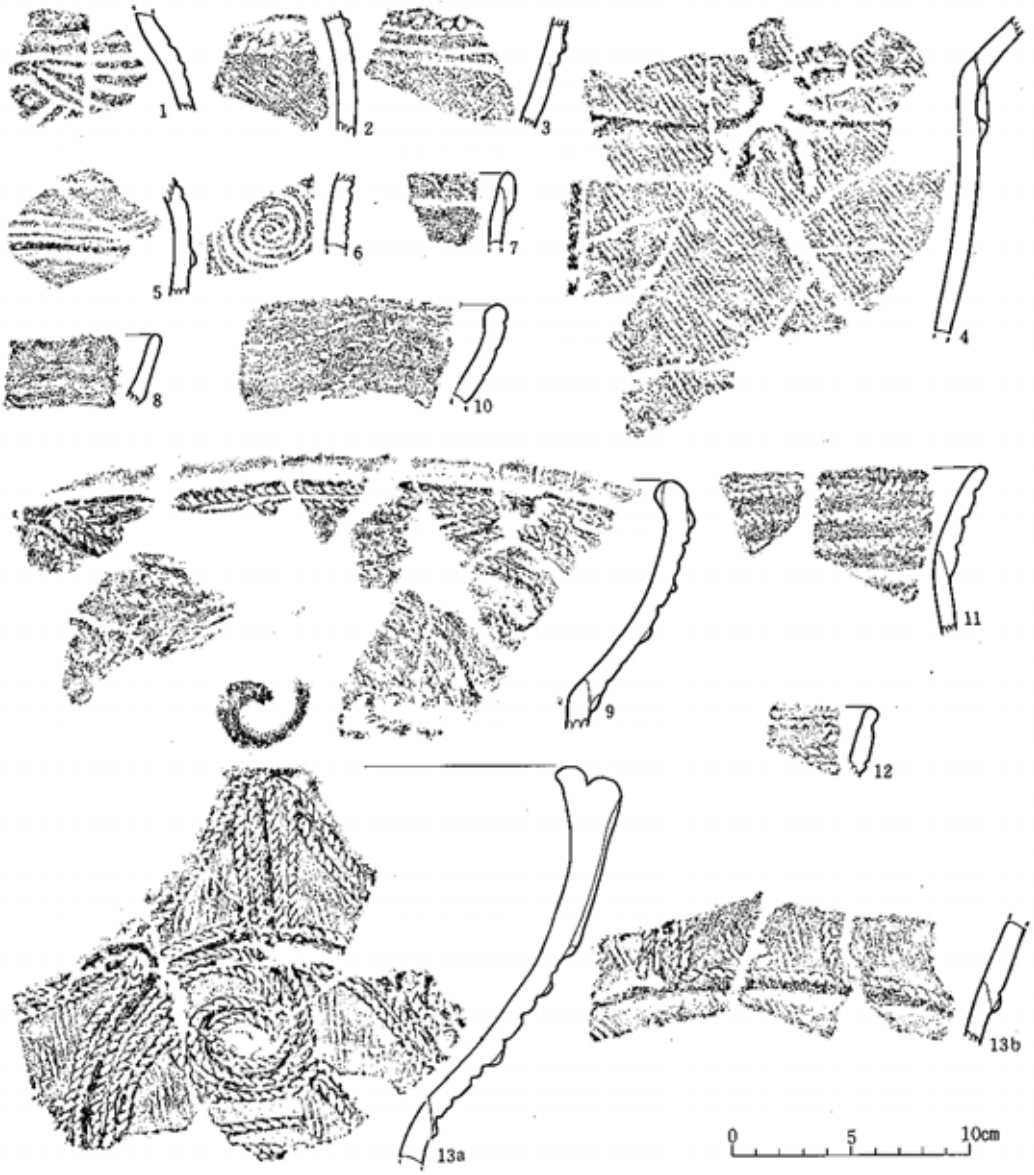
第 248 図 3：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部は外傾する器形である。

第 248 図 4：口縁部が内弯し、キャリパー状の器形をしている。隆線文、押圧縄文、刺突文



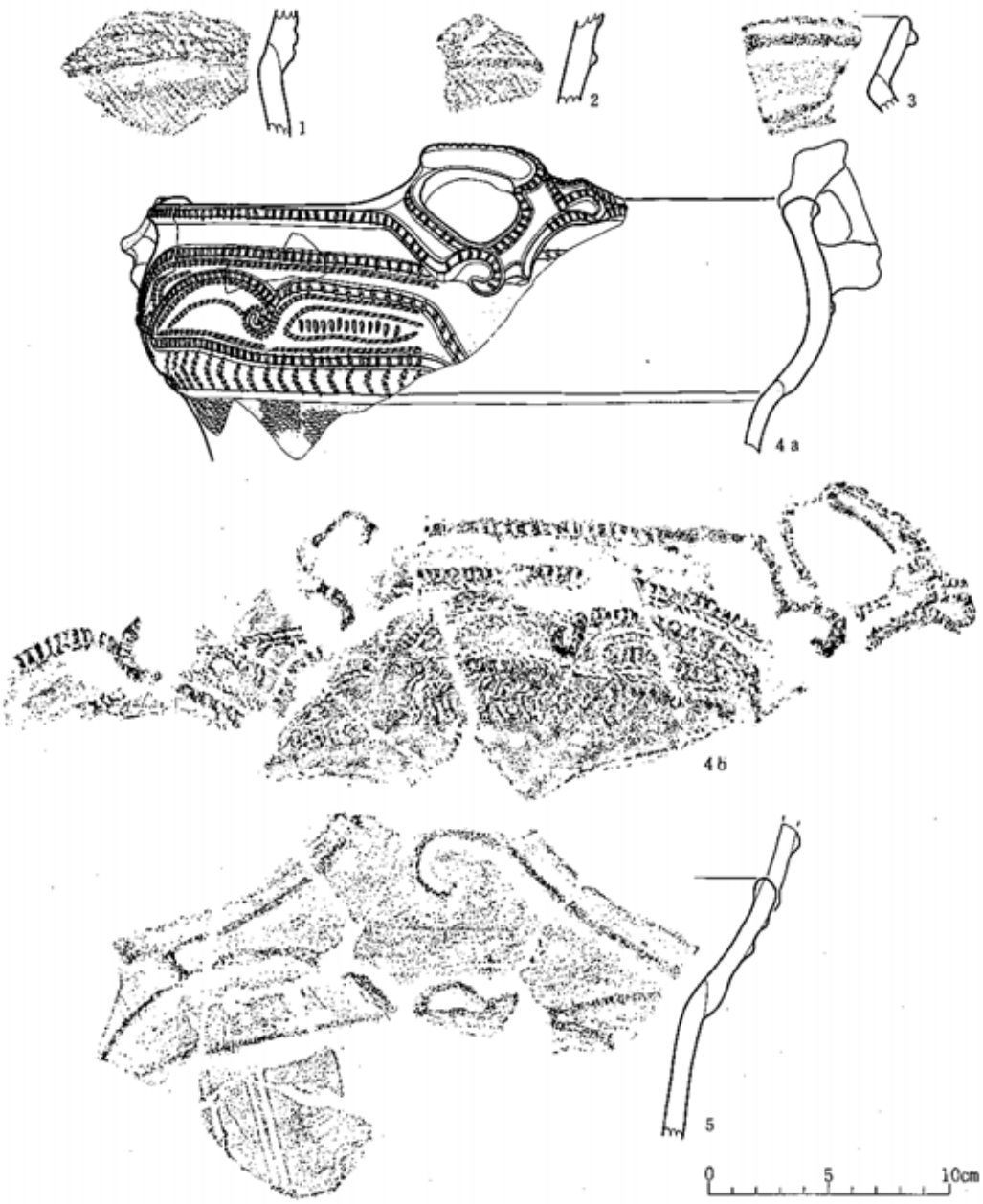
番号	地区・層位	器形・分類	文　様　の　特　徴	図版
1	CJ79区・3層	深鉢・S−	胴部：半截竹管による平行沈線文，縄文（LR）	149
2a,b	CJ79区・3層	深鉢・N5a	胴部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文，山形沈線文，縄文（LR）	149
3	CJ79区・2層	深鉢・A−	胴部：横位平行沈線文，縄文（LR）	149
4	CJ79区・2層	深鉢・H2a	胴部：横位平行隆線文，半截竹管による押引き文（隆線上）	149
5	CJ79区・2層	深鉢・H6b	口縁部：平縁，縦位粘土紐貼付文，楕円状粘土紐貼付文，胴部：横位隆帯	149
6a,b,c	CJ79区・2層・1層	深鉢・D(IIa)4a	口縁部：波状縁，渦巻文（横渦部），連弧状貼付文，口縁に沿う沈線文，連弧状沈線文，胴部：連弧状沈線文，縄文（Lr）結節文（隆線ぞい帯）	149
7	CJ79区・2層	深鉢・D(II−)−	口縁部：波状縁，口縁に沿う沈線文，弧状沈線文，縄文（LR）	149
8	CJ79区・2層	深鉢・D−	頸部：横位隆帯	149
9	CJ79区・2層	深鉢・D(I(?))6a	口縁部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文	149
10a,b	CJ79区・2層	深鉢・L−	口縁部：突起のつく平縁，「の」字状貼付文（突起），半截竹管による連続刺突文，楕円状状押圧縄文(Lr)，頸部：波状状圧痕の施される横位隆帯	149
11	CJ79区・2層上面	深鉢・R(I)3a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（LR），胴部：縄文（LR）	14−3

第246図　東側遺物包含出土土器（CJ79区・3層・2層・2層上面）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CJ79区・1層	深鉢・N4a	胴部：弧状沈線文，縄文（RL）	150
2	CJ79区・1層	深鉢・N9a	胴部：横位隆線文，横位平行沈線文，交互刺突文，縄文（LR）	150
3	CJ79区・1層	深鉢・N9a	胴部：横位隆線文，横位平行沈線文，交互刺突文，縄文（LR）結節文（片結び一組）	150
4	CJ79区・1層	深鉢・E(Ⅰ)4d	口縁部：縄文（LR），胴部：「＊」字状隆線文，縄文（LR），胴部：「Y」字状懸垂隆線文，「介」字状貼付文，縄文（LR）	150
5	CJ79区・1層	深鉢・N4a	胴部：半截竹管による弧状平行沈線文，横位隆帯	150
6	CJ79区・1層	深鉢・S—	胴部：渦巻状沈線文，縄文	150
7	CJ79区・1層	深鉢・S10b	口縁部：無文，胴部：縄文（LR）	150
8	CJ79区・1層	深鉢・W5(？)	口縁部：無文	150
9	CJ79区・1層	深鉢・D(Ⅰ)10a	口縁部：平縁，相対する楕円形区画隆線文，楕円形貼付文，渦巻状隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR），「C」字状押圧縄文（LR）	150
10	CJ79区・1層	深鉢・D(Ⅰ)10a	口縁部：平縁，横位押圧縄文（LR），弧状押圧縄文（LR）	150
11	CJ79区・1層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（RL×LR－結束（第1種）），胴部：縄文（RL）	150
12	CJ79区・1層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（LR）	150
13a,b	CJ79区・1層，CK79区・2層	深鉢・D(Ⅱc2)4C	口縁部：波状縁，「の」字状貼付文（鋭角形），区画隆線文，渦巻状隆線文，隆線に沿う押圧縄文（Lr），縄文（Lr），縄文（Lr）	151

第247図　東側遺物包含層出土土器（CJ79区・1層(1)）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CJ79区・1層	深鉢・D(1)8c	口縁部：弧状区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR），胴部：縄文（LR）	151
2	CJ79区・1層	深鉢・N4b	胴部：区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR），縄文（LR）	151
3	CJ79区・1層	深鉢・V－	胴部：無文	151
4a,b	CJ79区・1層，CK78区・1層，CK80区・1－2層	深鉢・L8	口縁部：把手のつく平縁，縦状把手，弧状区画隆線文，瘤状の押圧縄文(LR)・瘤状刺突文（隆線上），横巻状隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR），「C」字状押圧縄文（LR），胴部：縄文（LR）	17－1
5	CJ79区・1層	深鉢・D(II c2)4c	口縁部：波状縁，弧状区画隆線文，「ｊ」字状隆線文，胴部：平截竹管による波状平行沈線文，平截竹管による波状平行沈線文	151

第248図　東側遺物包含層出土土器（CJ79区・1層(2)）

によって文様が構成されている。

第 248 図 5：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部はわずかに内弯しながら外傾している。口縁部は隆線文によって胴部は半截竹管による平行沈線文によって文様が施されている。

ＣＫ79 区

第３層：第 249 図 1～2

第 249 図 1：胴部破片である。沈線文によって文様が施されている。

第 249 図 2：口縁部は複合口縁状をなしている。

第２層：第 249 図 3～6

第 249 図 3～4：口縁部破片である。3 は押引き文、4 は沈線文によって文様が施されている。

第 249 図 5：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部はわずかに内弯しながら外傾する器形と思われる。隆線文、沈線文によって文様が施されている。

第 249 図 6：胴部から口縁部まで直線的に外傾する器形である。口縁部は複合口縁状を呈している。胴部には隆線文、沈線文によって文様が構成されている。

第２層上面：第 249 図 7、第 250 図

第 249 図 7：浅鉢形土器である。頸部には横位押圧縄文が施されている。

第 250 図 1：胴上部で膨み、口縁部で外反気味にすぼむ器形である。胴部には隆線文によって文様が構成されている。

第１層：第 249 図 8～17

第 249 図 8～9：口縁部は外傾している。沈線文によって文様が構成されている。

第 249 図 10：胴部破片である。沈線文・刺突文が施されている。

第 249 図 11～14：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部は内弯しながら外傾する器形と思われる。11～13 は押圧縄文が施されている。14 は沈線文が描かれている。

第 249 図 15：口縁部は内傾している。口縁上部には鍔状の凸帯がめぐっている。胴部は隆線文によって文様が構成されている。

第 249 図 16：口縁部破片である。半截竹管による連続刺突文と沈線文によって文様が構成されている。

第 249 図 17：無文の浅鉢形土器である。

（17）80 列（ＣＪ80 区・ＣＫ80 区・ＣＬ80 区）

ＣＪ80 区

第１層：第 251 図

第 251 図 1～2：胴部破片である。1 は半截竹管による平行沈線文と刺突文によって、2 は隆線文と沈線文、刺突文によって文様が施されている。

第 251 図 3～8：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部が外傾する器形と思われる。口縁部は押圧縄文が施されている。

第 251 図 9：口縁部は内弯している。半截竹管による平行沈線文、連続刺突文によって文様が施されている。

第 251 図 10：浅鉢形土器と思われる。隆線文と押圧縄文によって文様が構成されている。

ＣＫ80 区

第３層：第 252 図～第 254 図

第 252 図 1：口縁部は肥厚して外傾する器形である。沈線文が施されている。

第 252 図 2：頸部が「く」字状につよくくびれ、沈線文、彫去によって文様が構成されている。

第 252 図 3：胴部から口縁部にかけて直線的に外傾している。複合口縁状をなす口縁部には半截竹管による押引き文が施されている。

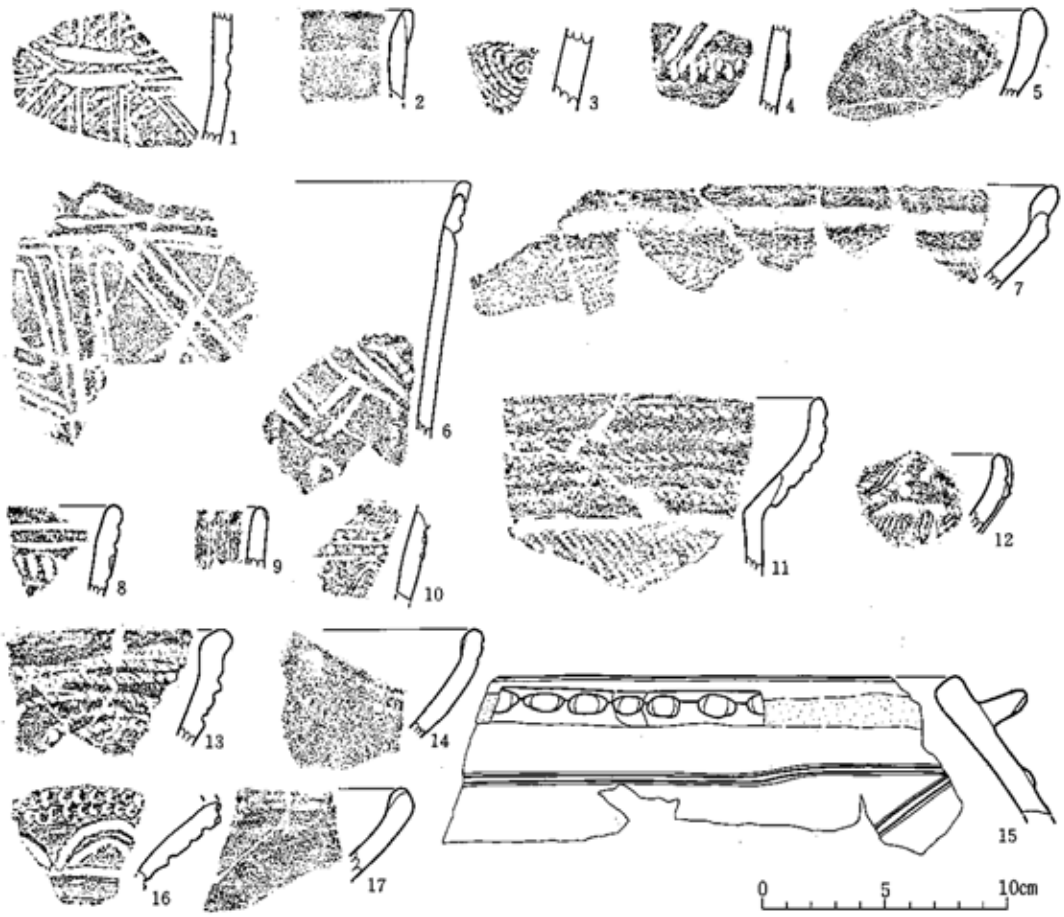
第 252 図 4～5：胴部破片である。隆線文、沈線文が施されている。

第 252 図 6：頸部からゆるやかに外反している。文様意匠は施されていない。

第 253 図 1：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部はわずかに内弯しながら外傾する器形である。胴部は若干膨んでいる隆線文と沈線文によって文様が構成されている。

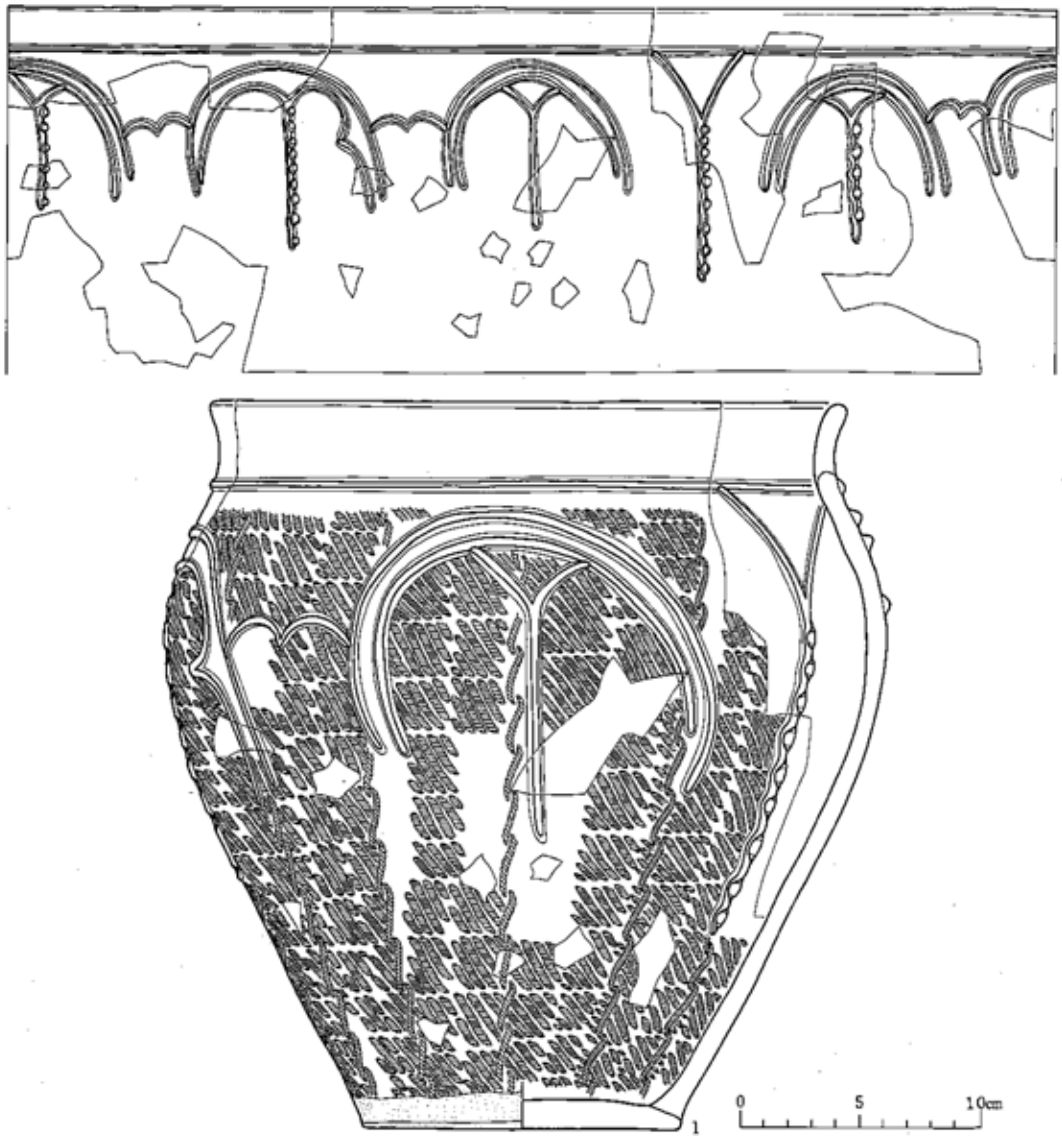
第 254 図 1：頸部がゆるやかにくびれ、口縁部は外傾する器形である。突起には「の」字状貼付文が付されている。小波状部には、盲孔が配されている。

第 254 図 2：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部は外傾する器形である。隆線文と押圧縄文によって、口頸部に文様が構成されている。



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CK79区・3層	深鉢・A	胴部：半截竹管による平行沈線文，弧状沈線文，縄文（LR）	152
2	CK79区・3層	深鉢・S11a	口縁部：平縁，無文，胴部：無文	152
3	CK79区・2層	深鉢・－	口縁部：渦巻状押引き文	152
4	CK79区・2層	深鉢・S－	口縁部：弧状沈線文，頸部：横位隆帯，交互刺突文〔隆帯上〕	152
5	CK79区・2層・1層	深鉢・WS	口縁部：渦巻状隆線文，隆線に沿う沈線文	152
6	CK79区・2層	深鉢・S6	口縁部：小突起のつく平縁，横位沈線文，胴部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文	152
7	CK79区・2層上面	浅鉢・A3C	口縁部：平縁，無文，頸部：横位押圧縄文（LR），胴部：縄文（LR）	152
8	CK79区・1層	深鉢・S3a	口縁部：平縁，横位平行沈線文，縦位短沈線文	152
9	CK79区・1層	深鉢・S－	口縁部：平縁，指頭状圧痕〔上端〕，縦位沈線文	152
10	CK79区・1層	深鉢・D－(？)	胴部：横位平行沈線文，交互刺突文，波状沈線文	152
11	CK79区・1層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（LR），胴部：縄文（LR）	152
12	CK79区・1層	浅鉢・D(Ⅱa)6a	口縁部：平縁，渦巻状隆線文，横位平行押圧縄文（LR），胴部：懸垂隆線文，縄文（LR）	152
13	CK79区・1層	深鉢・D(Ⅰ)5a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（Lr），弧状押圧縄文（Lr）	152
14	CK79区・1層	深鉢・B4	口縁部：波状縁，口縁に沿う沈線文	152
15	CK79区・1層	深鉢・O2	口縁部：平縁，無文，頸部：横位隆帯，指頭状圧痕〔隆帯上〕，胴部：区画隆線文	152
16	CK79区・1層	深鉢・K3a	口縁部：半截竹管による横位連続刺突文，弧状沈線文，横位沈線文	152
17	CK79区・1層	浅鉢・A8e	口縁部：平縁，無文	152

第249図　東側遺物包含層出土土器（CK79区・3層・2層・1層）

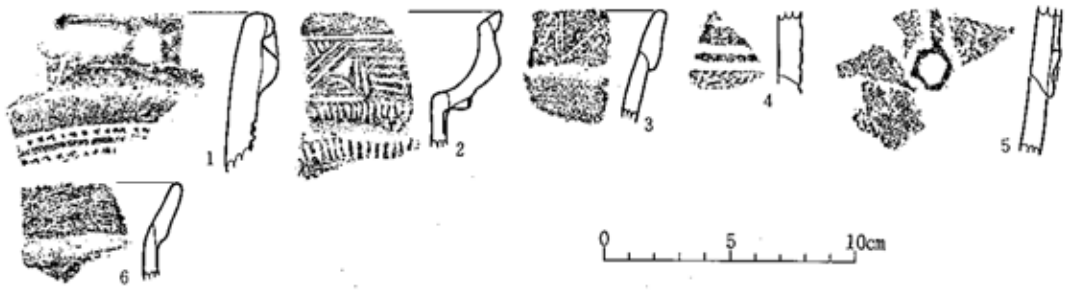


番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CK79区・2層上面	壺類・N7a	口縁部：平縁、無文、頸部：横位羽巻、胴部：馬蹄形状の弧状隆線文、逆弧状隆線文、「V」字状隆線隆線文、縄文（LR）結節文（竹結び一種）	16－2

第250図　東側遺物包含層出土土器（CK79区・2層上面）

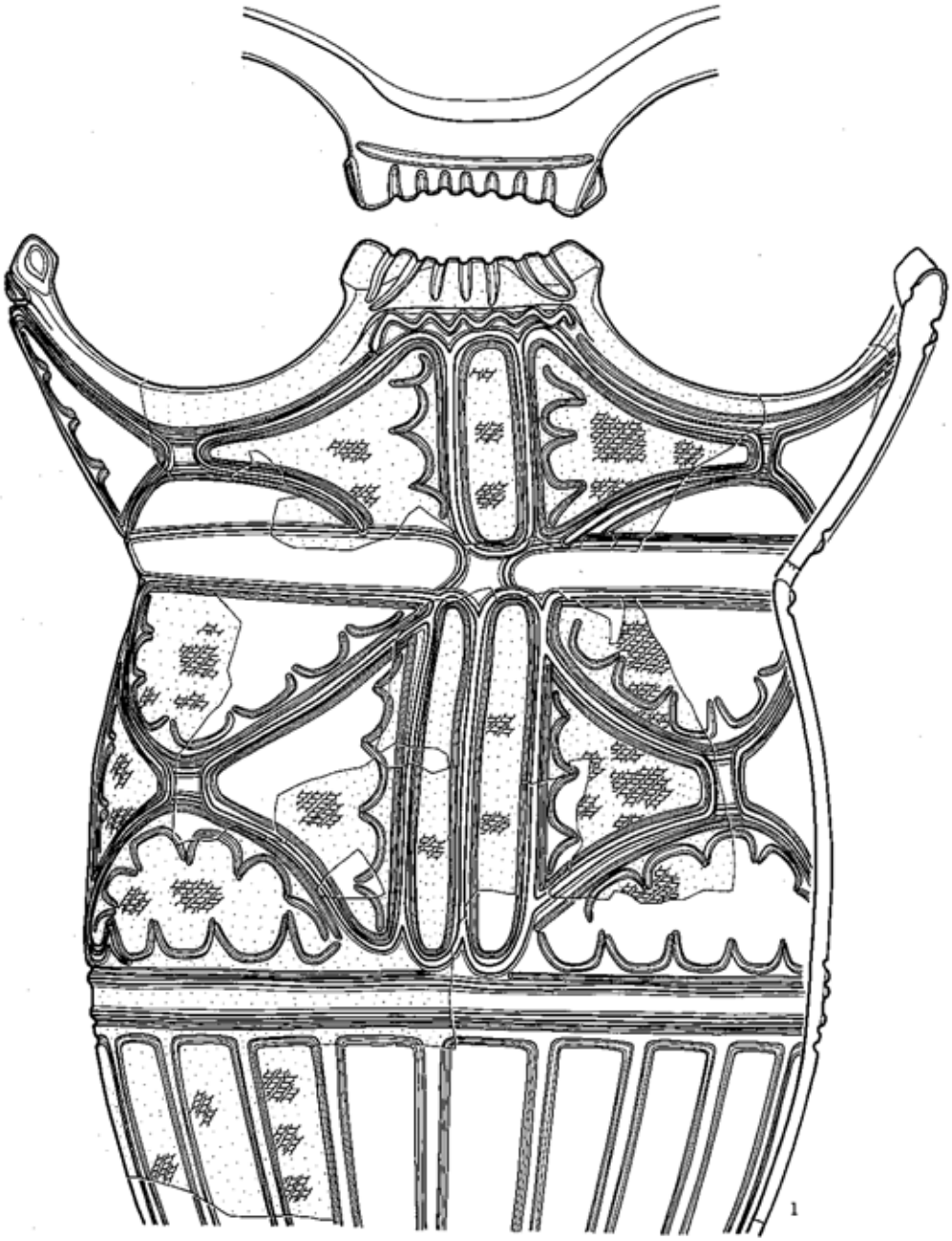
番号	地区・層位	器形・分類	文　様　の　特　徴	図版
1	CJ80区・1層	深鉢・N—	胴部：半截竹管による横位平行沈線文，三角形の刺突文，縄文（LR）	153
2	CJ80区・1層	深鉢・N7a	頸部：無文，胴部：区画隆線文，渦巻状隆線文，隆線に沿う沈線文，交互刺突文，縄文（LR）	153
3	CJ80区・1層	深鉢・E(Ⅰ)d	口縁部：区画隆線文，区画に沿う押圧縄文（LR）	153
4	CJ80区・1層	深鉢・D(Ⅰ)5a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（LR），弧状押圧縄文（LR）	153
5	CJ80区・1層	深鉢・D(Ⅰ)8c	口縁部：平縁，区画隆線文，区画に沿う押圧縄文（LR），連弧状押圧縄文（LR）	153
6	CJ80区・1層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（RL）	153
7	CJ80区・1層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（LR）	153
8	CJ80区・1層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（LR）	153
9	CJ80区・1層	深鉢・D(Ⅰ)1e	口縁部：平縁，弧状隆線文，半截竹管による連続刺突文	153
10	CJ80区・1層	浅鉢・D(Ⅱc2)1c	口縁部：波状線，横位の押圧縄文，胴部：区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（Lr）	153

第251図　東側遺物包含層出土土器（CJ80区）



番号	地区・層位	器形・分類	文　様　の　特　徴	図版
1	CK80区・3層	深鉢・A(Ⅰ)2	口縁部：平縁，横位沈線文，円形の盲孔，頸部：半截竹管による横位平行押引き文	153
2	CK80区・3層	深鉢・H2b	口縁部：平縁，円形及び山形の組みあわせ沈線文，三角形の彫去，梯子状縦沈線文，頸部・胴部：縦位縦沈線文	153
3	CK80区・3層	深鉢・S3b	口縁部：平縁，半截竹管による山形状押引き文，胴部，無文	153
4	CK80区・3層	深鉢・S—	胴部：横位平行沈線文，縄文（RL）	153
5	CK80区・3層	深鉢・—	胴部：縦位隆線文，円形貼付文	153
6	CK80区・3層	深鉢・W5	胴部：平縁，無文	153

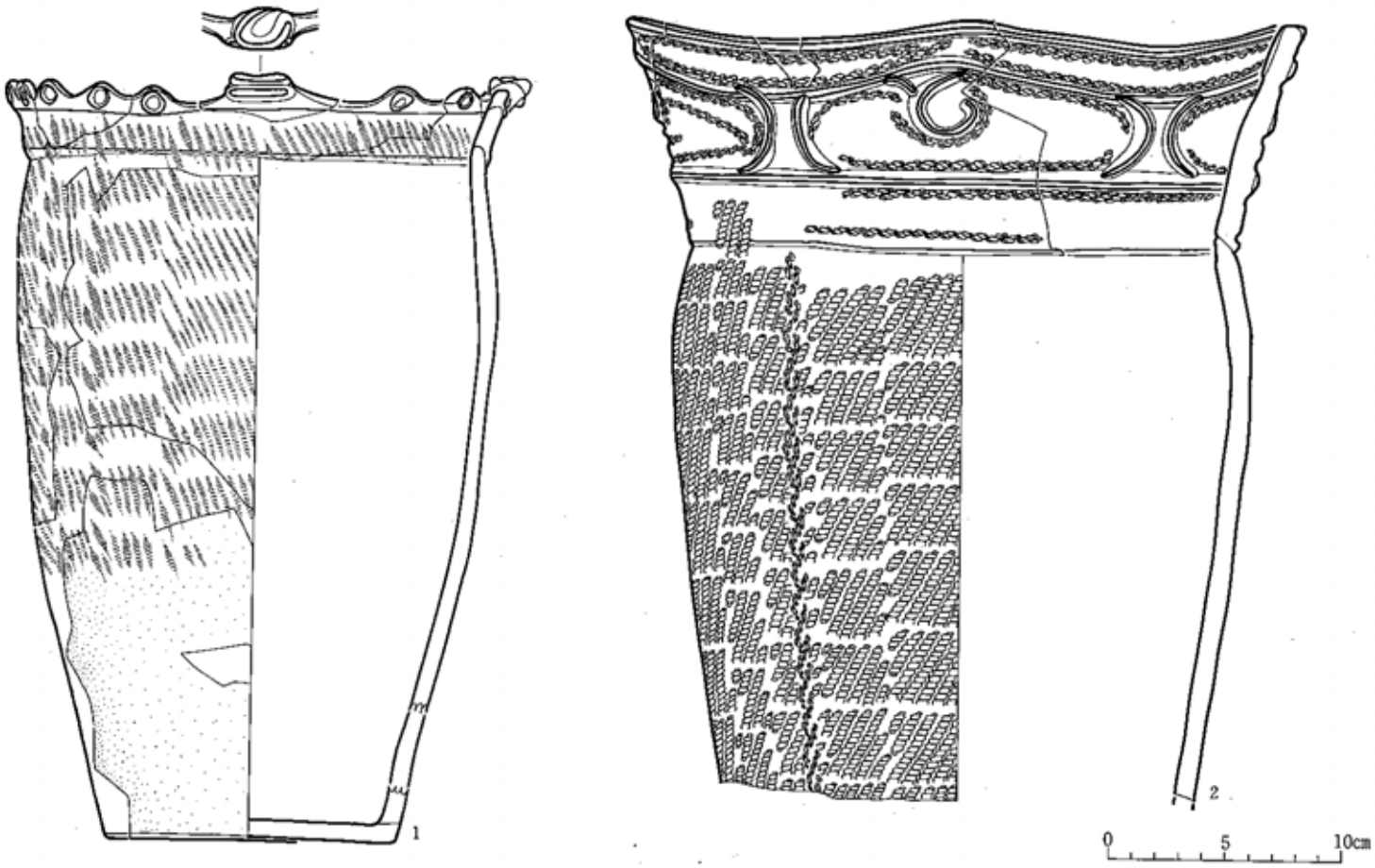
第252図　東側遺物包含層出土土器（CK80区・3層(1)）



0 5 10cm

番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CK80区・3層・2層・1層、CL80区・1層	深鉢・F(II)1	口縁部：波状縁、区画隆線文、隆線に沿う沈線文、連弧状沈線文、縄文(RL)、胴部：「ｘ」字状隆線文、胴部上半：区画隆線文、隆線に沿う沈線文、連弧状沈線文、縄文(RL)、胴部下半：「∩」状沈線文、縄文（RL）	17－2

第253図　東側遺物包含層出土土器（CK80区・3層(2)）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CK80区・3層、CP81区・1層	深鉢・W3b	口縁部：突起のつく小波状縁，「の」字状貼付文（突起），盲孔（小波状部），縄文(Lr)，胴部：縄文(Lr)	19－3
2	CK80区・3層・復礼層	深鉢・D or S－	口縁部：波状縁，区画縦線文，鳥巻状縦線文，隆線に沿う押圧縄文(RL)，胴部：縄文（RL）結節文（間延び－縦）	18－1

第254図　東側遺物包含層出土土器（CK80区・3層(3)）

第2層：第255図～第256図

第255図1：口縁部は外傾している。沈線文と三角形の彫去が施されている。

第255図2～4：頸部が「く」字状を呈し、口縁部は内弯気味に外傾する器形と思われる。隆線文や沈線文、刺突文によって文様が構成されている。

第255図5～10：頸部が「く」字状を呈し、口縁部は内弯気味に外傾する器形と思われる。隆線文と押圧縄文あるいは押圧縄文のみによって文様が構成されている。

第255図11：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が短く外傾し、胴部が膨む器形である。口縁部は押引き文が、胴部は隆線文と押圧縄文が施されている。

第255図12～17：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部が外傾する器形である。文様意匠は施されていない。

第255図18：浅鉢形土器と思われる。隆線文と押圧縄文によって文様が構成されている。

第255図19：無文の浅鉢形土器である。

第256図1：胴部破片である。半截竹管による平行沈線文によって文様が描かれている。

第256図2～3：口縁部破片である。

第1層：第257図

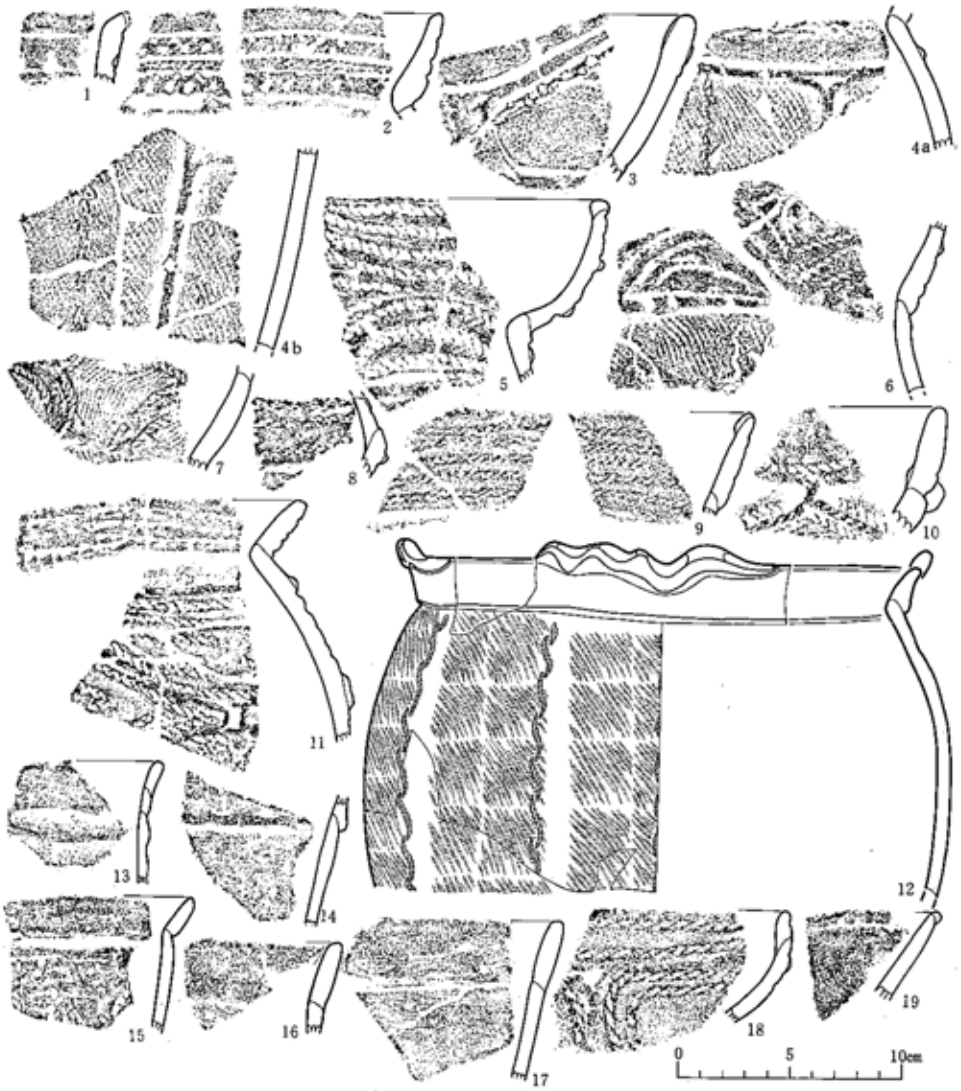
第257図1：口縁部破片と思われる。隆線文と沈線文が施されている。

ＣＬ80区

第1層：第258図

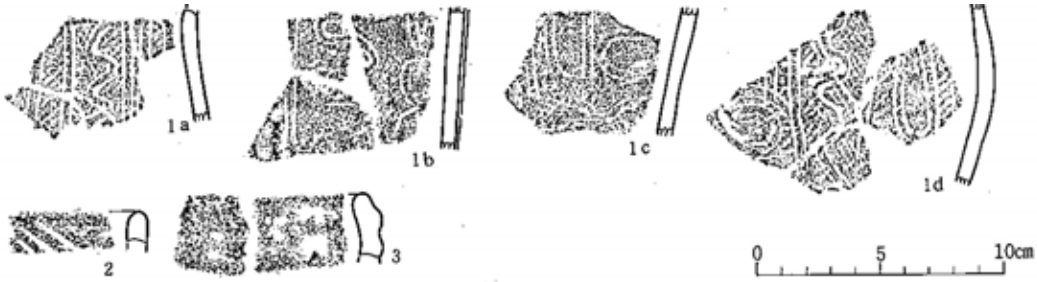
第258図1：口縁部は外傾している。沈線文と刺突文が施されている。

第258図2～3：口縁部破片である。文様意匠は施されていない。



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CK80区・2層	深鉢・S3a(？)	口縁部：横位平行沈線文，三角形の彫去	154
2	CK80区・2層，CJ79区・2層	深鉢・D(Ⅰ)1d	口縁部：平線，横位平行沈線文，交互刺突文，縄文（RL）	154
3	CK80区・2層	深鉢・D(Ⅱc2)1a	口縁部：波状線，区画隆線文，隆線に沿う沈線文，交互刺突文，縄文（Lr）	154
4ab	CK80区・2層・1－2層	深鉢・N9a	胴部：区画隆線文，縄文（LR），結節文（片結び一組）	154
5	CK80区・2層	深鉢・D(Ⅰ)10a	口縁部：平線，区画隆線文，隆線に沿う押正縄文（Lr）	154
6	CK80区・2層	深鉢・D(Ⅰ(？))10a	口縁部：区画隆線文，渦巻状隆線文，隆線に沿う押正縄文(LR)，胴部：縄文（LR)結節文（片結び一組）	154
7	CK80区・2層	深鉢・D(Ⅰ(？))10a	口縁部：区画隆線文，隆線に沿う押正縄文（LR），縄文（LR）	154
8	CK80区・2層	深鉢・J1b	口縁部：区画隆線文，隆線に沿う押正縄文（LR）	154
9	CK80区・2層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平線，横位平行押正縄文（LR）	154
10	CK80区・2層	深鉢・D(Ⅱa)4b	口縁部：波状線，区画隆線文，隆線に沿う押正縄文（LR）	154
11	CK80区・2層	深鉢・N5b	口縁部：平線，単軸竹管による横位平行押引き文，胴部：相対する弧状区画隆線文，隆線に沿う押正縄文(LR)	154
12	CK80区・2層，CL81区・ベルト2層	深鉢・V2	口縁部：波状線，無文，胴部：縄文（LLr）結節文（片結び一組)(RL)	19－1
13	CK80区・2層	深鉢・S11a	口縁部：波状線，無文，胴部：無文	154
14	CK80区・2層	深鉢・S11a	口縁部：無文，胴部：無文	154
15	CK80区・2層	深鉢・W5	口縁部：平線，無文，胴部：縄文（LR）結節文（片結び一組）	154
16	CK80区・2層	深鉢・W5	口縁部：平線，無文，胴部：無文	154
17	CK80区・2層	深鉢・S11b	口縁部：平線，無文，胴部：無文	154
18	CK80区・2層，CL84区・4層	浅鉢・A－	口縁部：平線，横位平行押正縄文（RL），胴部：区画隆線文，隆線に沿う押正縄文（RL）～＊CK84区・4層参照	154
19	CK80区・1－2層	浅鉢・A8a	口縁部：平線，無文	154

第255図　東側遺物包含層出土土器（CK80区・2層(1)）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1a,b,c,d	CK80区・2層・1−2層	深鉢・W4	胴部：懸垂隆線文，半截竹管による弧状沈線文，半截竹管による波状沈線文，縄文（LR）	155
2	CK80区・2層	深鉢・S−(?)	口縁部：平線，斜位沈線文	155
3	CK80区・2層	深鉢・S3b	口縁部：平線，半截竹管による連続刺突文	155

第256図　東側遺物包含層出土土器（CK80区・2層(2)）

番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CK80区・ベルト1層	深鉢・D(IIc2(?))1a	口縁部：波状線，区画隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（LR）	155
2	CK80区・攪乱層	深鉢・E(1)1a	口縁部：平線，横位平行押圧縄文（LR）	155

第257図　東側遺物包含層出土土器（CK80区・1層）

番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL80区・1層	深鉢・D(I)−	口縁部：平線，横位沈線文，三角形の刺突文，半截竹管による横位平行沈線文，縄文（RL）	155
2	CL80区・1層	深鉢・D(IIc2)5	口縁部：波状線，縄文（RL）	155
3	CL80区・1層	深鉢・S11a	口縁部：無文，胴部：無文	155

第258図　東側遺物包含層出土土器（CL80区）

（18）81列（ＣＫ81区・ＣＬ81区）

ＣＫ81区

第1層：第259図

第259図1：胴部破片である。半截竹管による平行沈線文が描かれ、円形の貼付文が付されている。

第 259 図 2〜9：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部が外傾する器形と思われる。隆線文や沈線文、刺突文によって文構が構成されている。

第 259 図 10〜11：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部が外傾する器形である。文様意匠は施されていない。

第 259 図 12〜13：攪乱層出土である。押圧縄文が施されている。

第 259 図 14：無文の浅鉢形土器である。

ＣＬ81 区

第 3〜2 層：第 260 図

第 260 図 1〜2：頸部がゆるやかに外反し、口縁部は肥厚して外傾する器形である。

第 260 図 3：口縁部はゆるやかに外反している。口縁上端には横位隆帯が付されている。

第 260 図 4〜5：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が外傾する器形である。隆線文と沈線文によって文様が描かれている。

第 2 層：第 261 図

第 261 図 1：頸部がつよくくびれ、口縁部が外傾する器形である。文様意匠は施されていない。

第 261 図 2：口縁部はゆるやかに外反している。半截竹管による平行沈線文、連続刺突文が施されている。

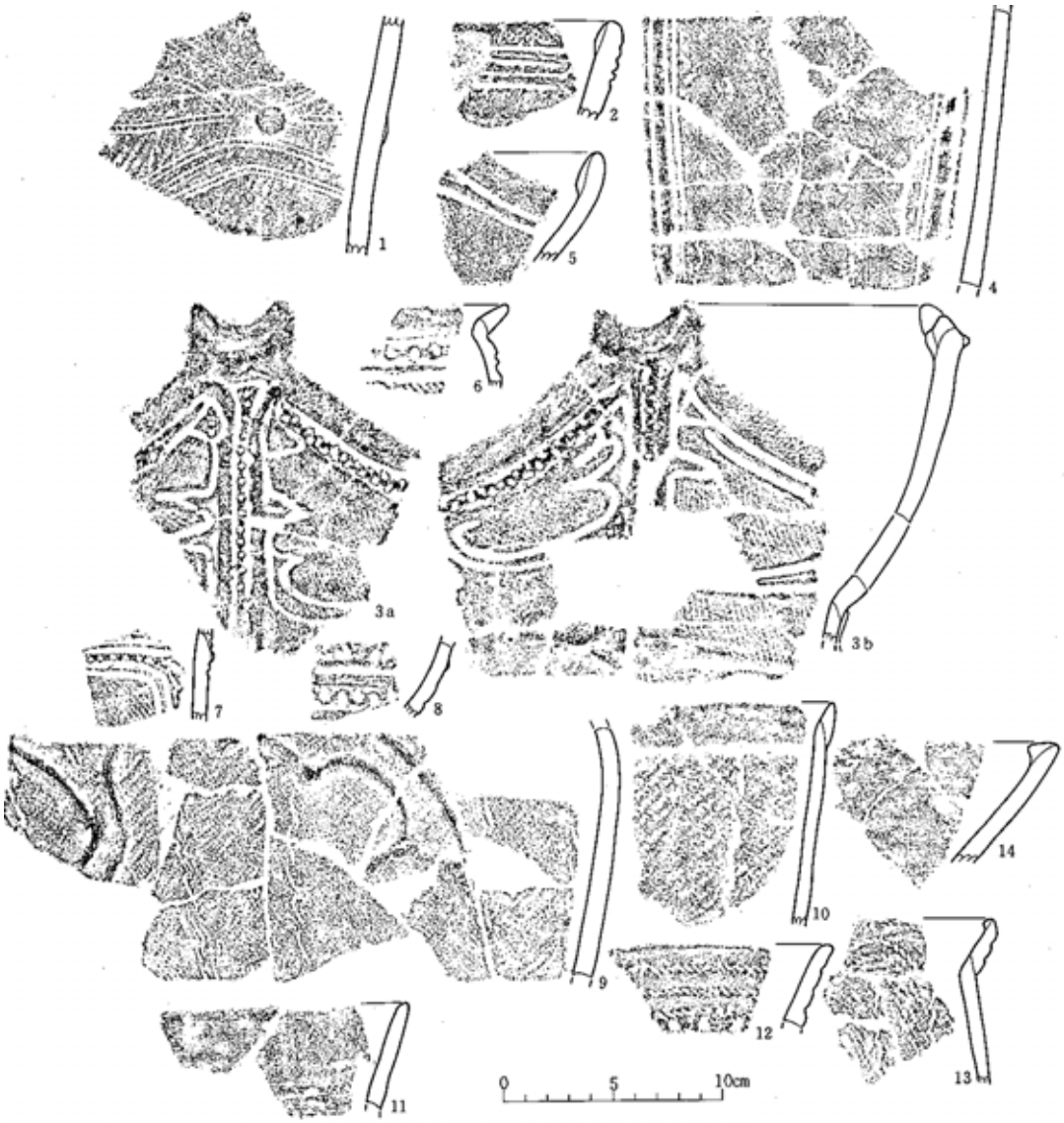
第 1 層：第 262 図

第 262 図 1〜2：頸部がゆるやかに外反し、口縁部は肥厚して外傾する器形と思われる。沈線文が施されている。

第 262 図 3〜4：口縁部は外傾している。押圧縄文が施されている。

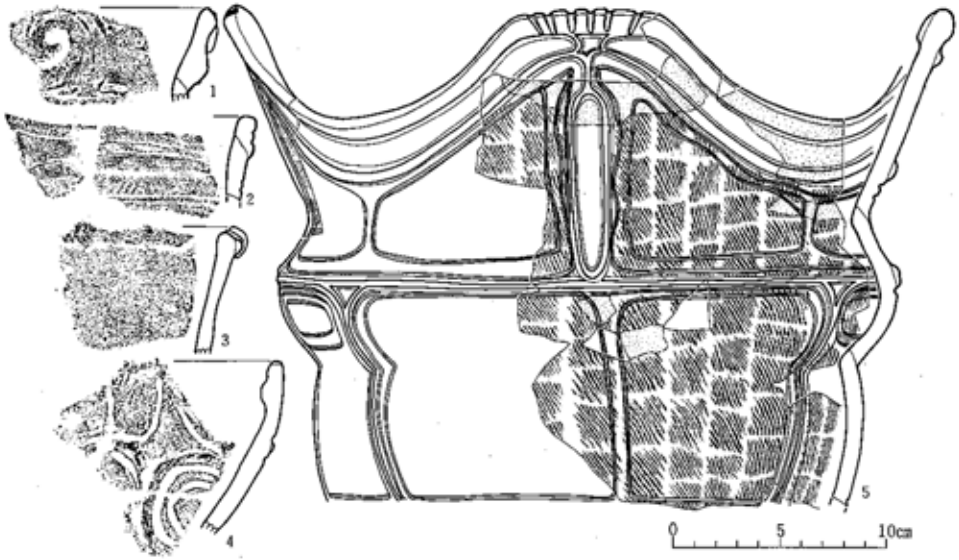
第 262 図 5：頸部がゆるくくびれる器形と思われる。波頂部内外面に「の」字状貼付文が施されている。

第 262 図 6：頸部がゆるくくびれ、口縁部は外傾している。文様意匠は施されていない。



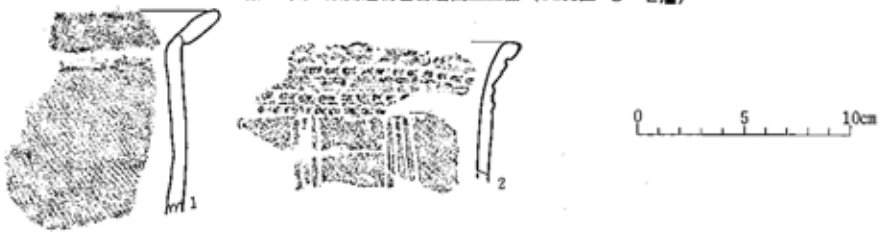
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CK81区・1層	深鉢・A一	胴部：半截竹管による平行沈線文，円形貼付文	155
2	CK81区・撹乱層	深鉢・E(Ⅰ)5	口縁部：平縁，弧状沈線文，縄文（RL），胎土：金雲母を多く含む	155
3a,b	CK81区・1層	深鉢・D(Ⅲd)2	口縁部：波状縁，「U」字状貼付文（波頂部），区画隆線文，連弧状沈線文，交互刺突文，縄文（LRr），胴部：「Y」字状隆線文，縄文（LRr）	155
4	CK81区・1層，CK80区・2層	深鉢・一	胴部：懸垂隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（Lr）結節文（同結び一単）	156
5	CK81区・1層	深鉢・D(Ⅲa(？))1	口縁部：波状縁，弧状沈線文，縄文（RL）	156
6	CK81区，1層	深鉢・N9a	口縁部：平縁，無文（上半），横位平行沈線文，交互刺突文，弧状沈線文，縄文（LR）	156
7	CK81区・1層	深鉢・S4b	胴部：「Y」字状懸垂隆線文，円形竹管文（隆線上），隆線に沿う沈線文，縄文（Lr）	156
8	CK81区・1層	深鉢・D(Ⅰ)d	口縁部：横位平行沈線文，交互刺突文	156
9	CK81区・1層	深鉢・N7a	胴部：馬蹄形状の弧状隆線文，逆孔状隆線文，縄文（RL）結節文（片結び一単）	156
10	CK81区・1層	深鉢・S10b	口縁部：平縁，無文，胴部：縄文（RL）結節文（片結び一単）	156
11	CK81区・1層	深鉢・S11a	口縁部：平縁，無文，胴部：無文	156
12	CK81区・撹乱	深鉢・S5a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（LR），指頭状圧痕（下端）	156
13	CK81区・撹乱	深鉢・D(Ⅰ)5a	口縁部：平縁，横位押圧縄文（LR），弧状押圧縄文（LR），胴部：縄文（LR）結節文（片結び一単）	156
14	CK81区・1層	浅鉢・A8c	口縁部：平縁，無文，胴部：無文	156

第259図　東側遺物包含層出土土器（CK81区）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL81区・3～2層	深鉢・A(II)−	口縁部：波状縁、鳥物状貼付文、円盤状粘土貼付文、横位粘土紐貼付文	157
2	CL81区・3～2層	深鉢・A(II)3	口縁部：波状縁、半截竹管による平行沈線文、胴部：半截竹管による横位平行沈線文、縄文（LR）	157
3	CL81区・3～2層	深鉢・S1a	口縁部：小突起のつく平縁、横位隆帯、胴部：無文	157
4	CL81区・3～2層、CL81区・ベルト1層	深鉢・D(IIc2(?))a	口縁部：波状縁、刻目文（欠損部）、区画隆線に沿う沈線文、縄文（RL）、胴部：区画隆線文、隆線に沿う沈線文、縄文（RL）	157
5	CL81区・3～2層、CL81区・4層上部	深鉢・J1a	口縁部：波状縁、刻目文（欠損部）、区画隆線文、隆線に沿う沈線文、縄文（Lr）、胴部：区画隆線文、区画沈線文、縄文（Lr）	18−4

第260図　東側遺物包含層出土土器（CL81区・3～2層）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL81区・ベルト2層	深鉢・W2b	口縁部：平縁、無文、胴部：縄文（Lr）	157
2	CL81区・2層	深鉢・S5e	口縁部：平縁、隆線状沈線（上端）、半截竹管による横位平行沈線文、半截竹管による連続刺突文、胴部：半截竹管による横位沈線文、縄文（LR）	157

第261図　東側遺物包含層出土土器（CL81区・2層）

番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL81区・1層	深鉢・A−	胴部：半截竹管による平行沈線文、円形貼付文、縄文（LR）	157
2	CL81区・1層	深鉢・A(I)3	口縁部：平縁、連弧状沈線文（Lr）、胴部：横位平行沈線文	157
3	CL81区・1層	深鉢・D(II−)−	口縁部：波状縁、「の」字状貼付文（内外面）、横位押圧縄文（Lr）、弧状押圧縄文（Lr）	157
4	CL81区・ベルト1層	深鉢・E(I)1a	口縁部：平縁、横位平行押圧縄文（Lr）	157
5	CL81区・1層	深鉢・D(IIa)6a	口縁部：波状縁、「の」字状貼付文（内外面）、縄文（Lr）	157
6	CL81区・1層	深鉢・W3b	口縁部：波状縁、縄文（RL）、胴部：縄文（RL）、胎土：金雲母を多く含む	157

第262図　東側遺物包含層出土土器（CL81区・1層）

（19）82 列（ＣＫ82 区・ＣＬ82 区・ＣＭ82 区）

ＣＫ82 区

第１層：第 263 図

第 263 図 1～3：口縁部破片である。隆線文や沈線文が施されている。

ＣＬ82 区

第４層上面：第 264 図 1～4

第 264 図 1～4：頸部がゆるやかに外反し、口縁部が肥厚して外傾する器形である。胴部は若干の膨みをもっている。1～2 は沈線文で文様が構成されている。

第３層：第 264 図 5～10

第 264 図 5～9：頸部がゆるやかに外反し、口縁部が肥厚して外傾する器形である。半截竹管による押引き文、平行沈線文が施されている。

第 264 図 10：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部は外傾している。

第３層上面：第 265 図～第 266 図

第 265 図 1：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部は内弯しながら外傾する器形である。胴下部は膨んでいる。口縁部は半円状の沈線文と横位の沈線文が施されている。胴上部には長方形状をなす区画隆線文・弧状隆線文が施され、さらに隆線上には半截竹管による連続刺突文が施されている。沈線文は、隆線文に沿って描かれている。胴下部は無文である。

第 266 図 1：頸部がゆるやかに外反し、口縁部が肥厚して外傾する器形である。口縁部には沈線文によって文様が描かれている。

第 266 図 2：口縁部はわずかに内弯しながら外傾する器形である。半截竹管による連続刺突文が施されている。

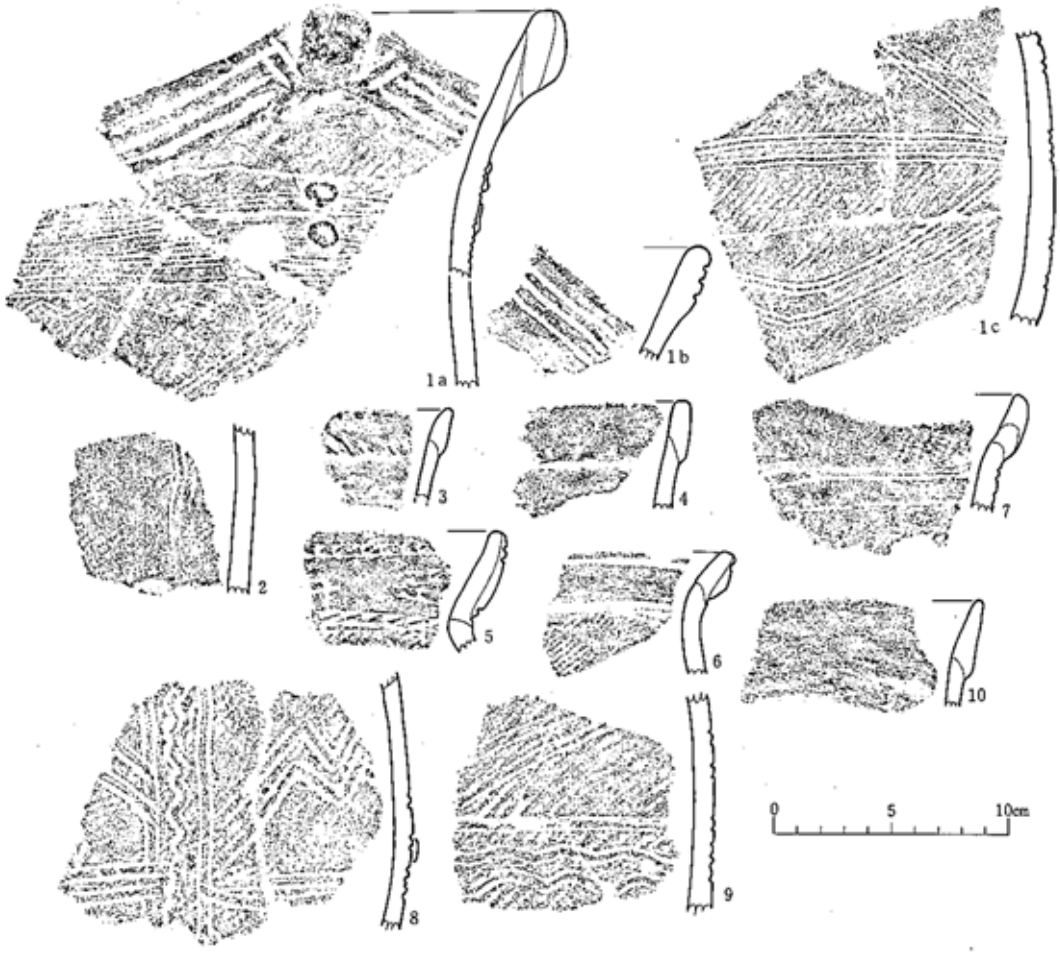
第 266 図 3：胴部破片である。菱形状の文様が描かれている。

第 266 図 4～5：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部はわずかに内弯しながら外傾する器形と思われる。4 は隆線文と沈線文によって文様が描かれている。

第 266 図 6～8：口縁部が複合口縁状を呈し外傾している。文様意匠は施されていない。

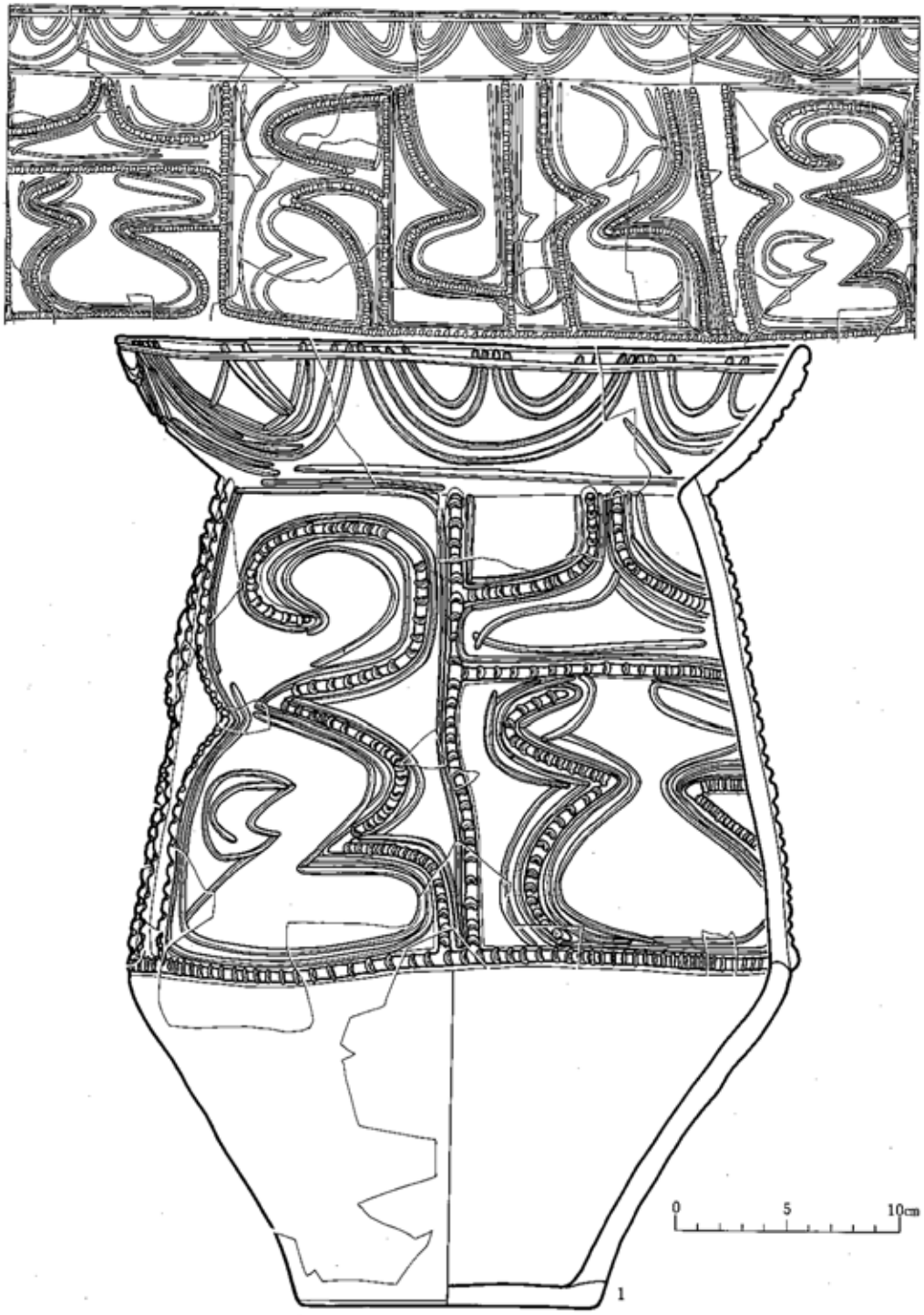
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CK82区・1層	深鉢・－	口縁部：区画陸線文，波頂状圧痕，陸線に沿う沈線文	157
2	CK82区・1層	深鉢・N4a(？)	口縁部：波状線，「の」字状貼付文（内外面），縄文（Rℓ）	157
3	CK82区・1層	深鉢・D－	口縁部：斜位沈線文，胴部：区画陸線文，陸線に沿う沈線文	157

第263図　東側遺物包含層出土土器（CK82区・1層）



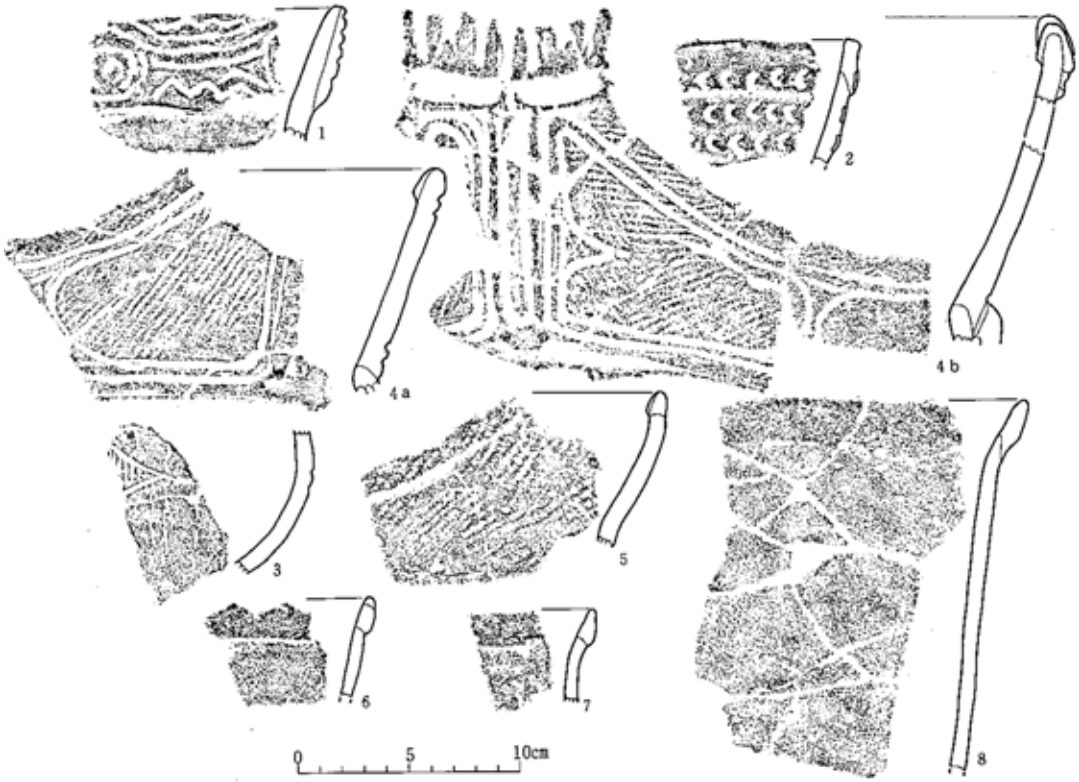
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1a,b,c	CL82区・4層上面・3層・2層	深鉢・A(II)1	口縁部：波状線，縦位結束文（内面側），斜位沈線文，口縁に沿う沈線文，頸部・胴部：半截竹管による平行沈線文，円形貼付文，縄文（LR）	158
2	CL82区・4層上面	深鉢・A－	胴部：半截竹管による平行沈線文，縄文（LR）	158
3	CL82区・4層上面	深鉢・S9a	口縁部：平縁，連続刺突文（下唇），胴部：縄文（Lr(？)）	158
4	CL82区・4層上面	深鉢・S10b	口縁部：平縁，無文，胴部：無文，胎土：金雲母を多く含む	158
5	CL82区・3層	深鉢・N1 or 2(？)	口縁部：平縁，半截竹管による押引き文	158
6	CL82区・3層	深鉢・A(I)－	口縁部：平縁，横位沈線文，胴部：縄文（LR）	158
7	CL82区・3層	深鉢・A(II)5－	口縁部：波状線，縄文（LR），頸部：半截竹管による横位平行沈線文，胴部：縄文（LR）	158
8	CL82区・3層	深鉢・A－	胴部：半截竹管による平行沈線文，縄文（LR）	158
9	CL82区・3層	深鉢・A－	胴部：半截竹管による平行沈線文，縄文（LR）	158
10	CL82区・3層	深鉢・S10b	口縁部：平縁，無文，胴部：縄文（LR）結節文（両結び一環）	158

第264図　東側遺物包含層出土土器（CL82区・4層上面・3層）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL82区・3層上面、CS82区・1層	深鉢・F(Ⅰ)2	口縁部：平縁；赤円状沈線文、横位沈線文、胴部：長方形状区画隆線文、弧状隆線文、平行行管による連続刺突文、隆線に沿う沈線文	20－3

第265図　東側遺物包含層出土土器（CL82区・3層上面(1)）

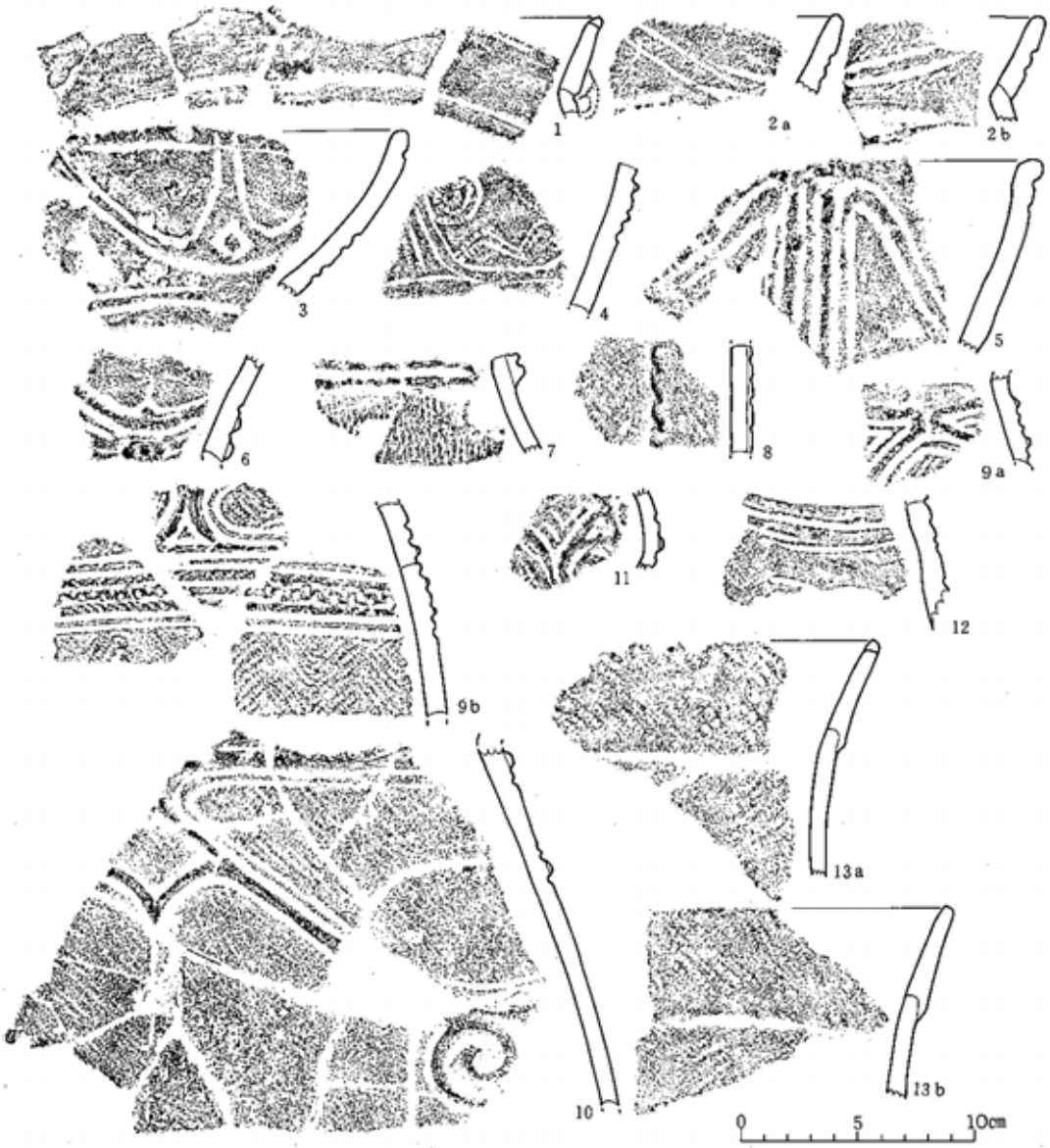


番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL82区・3層上面	深鉢・A(Ⅰ)一	口縁部：平縁，渦巻状沈線文，鋸歯状沈線文，頸部：無文，胎土：金雲母を多く含む	159
2	CL82区・3層上面	深鉢・E(Ⅰ)4c(？)	口縁部：平縁，半截竹管による連続刺突文	159
3	CL82区・3層上面	深鉢・H2b	胴部：懸垂沈線文，縦位沈線文，縄文（Rｌ）結節文（片結び一類）	159
4a,b	CL82区・3層上面・2層	深鉢・D(Ⅱc2)1a	口縁部：波状線，刺目文（波頂部），「ｌ」字状結節文，縦位沈線文，区画沈線文，連弧状沈線文，縄文（RＬ）	159
5	CL82区・3層上面	深鉢・D(Ⅱc2(？))5	口縁部：波状線，縄文（LR）	159
6	CL82区・3層上面	深鉢・S10b	口縁部：小突起のつく平縁，無文，胴部：結束（第1種）縄文（Lr×Rｌ）	159
7	CL82区・3層上面	深鉢・S10b	口縁部：波状線，無文，胴部：縄文（RL）結節文（片結び一類）	159
8	CL82区・3層上面，CS88区・1層	深鉢・WS	口縁部：平縁，無文，胴部：無文	159

第266図　東側遺物包含層出土土器（CL82区・3層上面(2)）

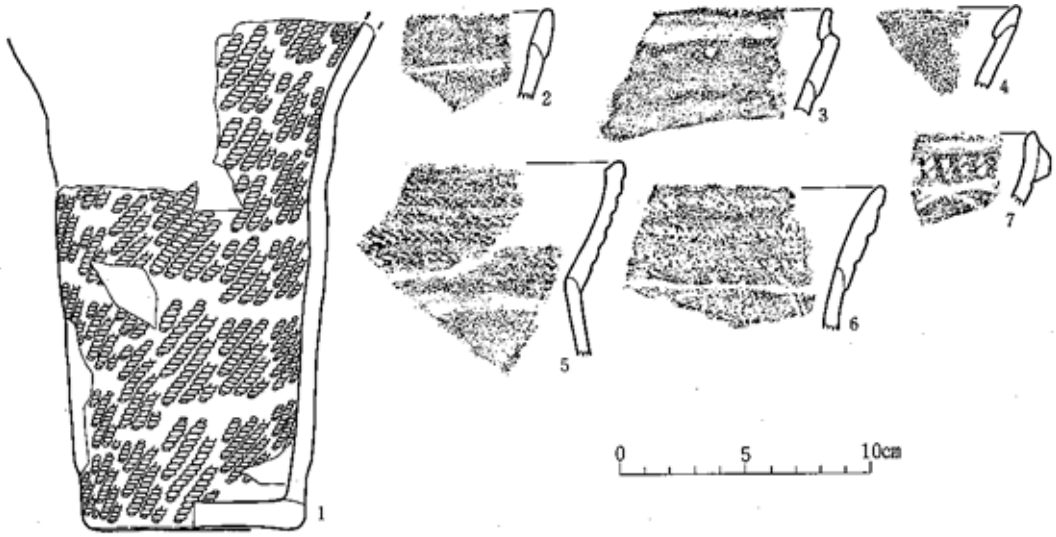
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL82区・2層	深鉢・一	胴部：縄文（LR,RL），胎土：繊維混入	160
2	CL82区・2層	深鉢・A一	胴部：半截竹管による平行沈線文	160
3	CL82区・2層，CL82区・ポルト1層	深鉢・H4	胴部：懸垂沈線文，半截竹管による連続刺突文・指頭状圧痕（隆帯上），縄文（RL），胎土：金雲母を多く含む	160
4	CL82区・2層	深鉢・S10b	口縁部：平縁，無文（上端），縄文（Lr）結節文（片結び一類）	160

第267図　東側遺物包含層出土土器（CL82区・2層(1)）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL82区・2層	深鉢・H−(?)	口縁部：平縁，無文，頸部：横位沈線文，横状把手	160
2a,b	CL82区・2層	深鉢・E(Ⅰ)5	口縁部：平縁，弧状沈線文，縄文（Lr）	160
3	CL82区・2層	深鉢・E(Ⅰ)5	口縁部：平縁，横位沈線文，弧状沈線文，円形沈線文	160
4	CL82区・2層	深鉢・D→	口縁部：楕円形沈線文，渦巻状押引き文，鋸歯状押引き文	160
5	CL82区・2層	深鉢・D(IIc2)1a	口縁部：波状縁，区画隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（RL），胎土：金雲母を多く含む	160
6	CL82区・2層	深鉢・D(IIc2(?))1a	口縁部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文，弧状沈線文，楕円形貼付文	160
7	CL82区・2層	深鉢・−	頸部：横位隆帯，横位沈線文，胴部：撚糸文（R）	160
8	CL82区・2層	深鉢・−	胴部：波状隆起線文，縄文（Lr）	160
9a,b	CL82区・2層・1層，CL82区・西ベルト1層	深鉢・N4a	胴部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文，交互刺突文，結束（第1種）縄文(RL×LR)，胎土：金雲母を多く含む	161
10	CL82区・2層，CL84区・5層上面・4層，CL84区・西ベルト1層	深鉢・F(Ⅰ(?))1	胴部：区画隆線文，渦巻状隆線文，隆線に沿う沈線文，〜※CL84区・5層上面参照	161
11	CL82区・2層	深鉢・N7a	胴部，区画隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（LR）	160
12	CL82区・2層	深鉢・D−(?)	頸部：横位平行沈線文，胴部：縄文（LR），胎土：金雲母を含む	161
13a,b	CL82区・2層	深鉢・W3b	口縁部：小波状部のある平縁，縄文（RL），胴部：縄文（RL）	161

第268図　東側遺物包含層出土土器（CL82区・2層(2)）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL82区・2層	深鉢・－	胴部：縄文（RL），底部：網代底（1－1）	18－3
2	CL82区・2層	深鉢・S11a	口縁部：平縁，無文，胴部：無文	161
3	CL82区・2層	深鉢・S11a	口縁部：平縁，無文	161
4	CL82区・2層	深鉢・S11b	口縁部：平縁，無文	161
5	CL82区・2層	深鉢・E(1)1a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（LR），胴部：縄文（LR）	161
6	CL82区・2層	深鉢・E(1)1a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（Lr），胴部：縄文（Lr），結節文	161
7	CL82区・2層	深鉢・－	口縁部：平縁，横位隆帯，縦位押圧縄文（LR），弧状沈線文	161

第269図　東側遺物包含層出土土器（CL82区・2層(3)）

第2層：第267図～第269図

第267図1：胴部破片である。胎土に繊維が含まれている。

第267図2～3：胴部破片である。半截竹管によって文様が施されている。

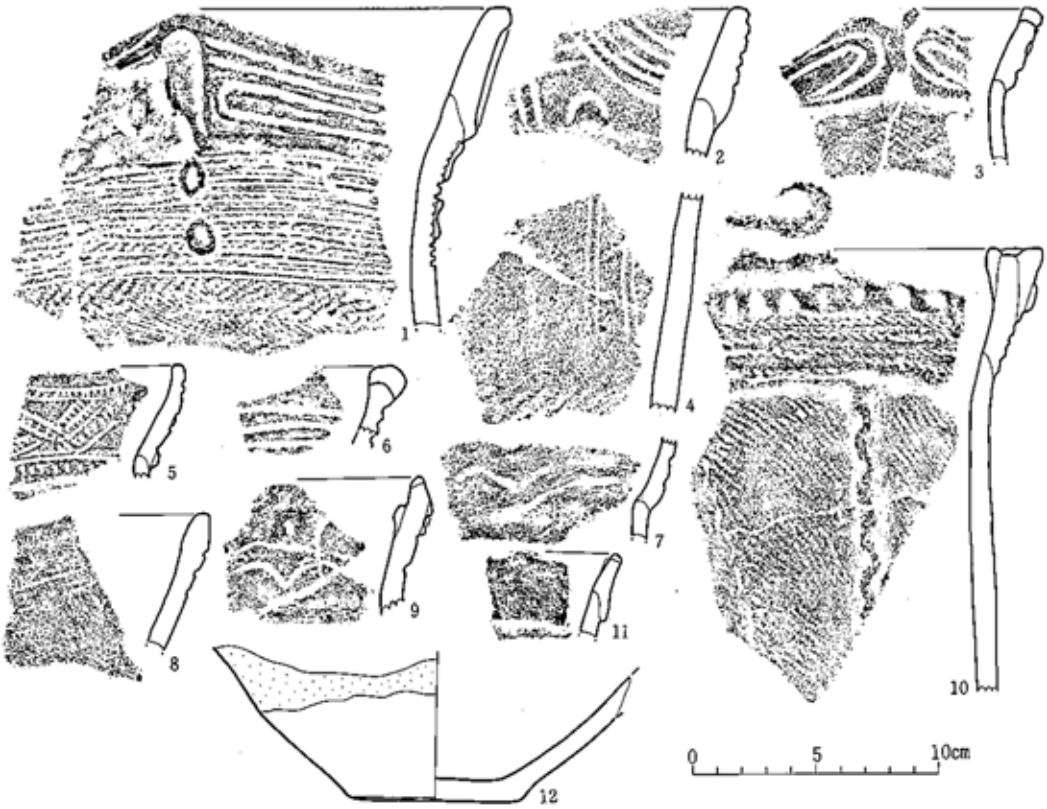
第267図4：口縁部が複合口縁状を呈している。文様意匠は施されていない。

第268図1～12：頸部が「く」字状につよくくびれ、口縁部がやや内弯気味に外傾し、胴部が膨む器形と思われる。第268図1の頸部には橋状把手が付されている。隆線文と沈線文あるいは沈線文によって文様が施されている。

第268図13、第269図2～4：頸部がゆるくくびれ、口縁部が外傾する器形である。文様意匠は施されていない。

第269図5～6：口縁部は外傾している。口縁部に横位平行押圧縄文が施されている。

第259図7：口縁部破片である。口縁部に隆帯がめぐり、縦位押圧縄文が施されている。口縁部には弧状の沈線文が描かれている。



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL82区・西ベルト1層	深鉢・A(II)1	口縁部：波状縁，細径楕円形文，口縁に沿う沈線文，頸部：半截竹管による横位平行沈線文，円形貼付文，結束（第1類）羽状縄文（LR×RR）	162
2	CL82区・1層	深鉢・A(II)4	口縁部：波状縁，円形状沈線文，半円形沈線文，縦位沈線文	162
3	CL82区・西ベルト1層	深鉢・A(II)1	口縁部：波状縁，楕円形状沈線文，胴部：縄文（RL）	162
4	CL82区・ベルト1層	深鉢・A－	胴部：半截竹管による縦位平行沈線文，縄文（LR）	162
5	CL82区・1層	深鉢・C1	口縁部：平縁，山形状沈線文，梯子状沈線文，頸部：横位隆帯，縦位沈線文	162
6	CL82区・1層	深鉢・D(I)1a	口縁部：小突起のつく平縁，横位平行沈線文	162
7	CL82区・1層	深鉢・E(I)5	口縁部：弧状区画隆線文，隆線に沿う沈線文，胴部：縄文（LR）	162
8	CL82区・1層	深鉢・D(IIa(?))2	口縁部：波状縁，区画沈線文，縄文（Lr）	162
9	CL82区・1層	深鉢・D(II－)－	口縁部：波状縁，円形状貼付文（波頂部内外面），口縁に沿う沈線文，連弧状沈線文	162
10	CL82区・ベルト1層	深鉢・E(I)1b(?)	口縁部：突起のつく平縁，「の」字状貼付文（突起内面），深鉢状胴部（上端），横位平行押圧縄文(LR)，波状隆線文，縄文（LR），結束文（肥後Ⅰ－類）	162
11	CL82区・西ベルト1層	深鉢・S11a	口縁部：小波状部のある平縁，無文，胴部：無文	162
12	CL82区・1層	浅鉢・A8－	胴部：無文，底部：↓ガキ調整	

第270図　東側遺物包含層出土土器（CL82区・1層）

第1層：第270図

第270図1～4：頸部がゆるやかに外反し、口縁部が肥厚して外傾する器形である。口縁部は沈線文、頸胴部は半截竹管による平行沈線文が施されている。

第270図5：頸部がつよくくびれ、口縁部はわずかに内弯しながら外傾する器形である。梯子状に沈線文が描かれている。

第270図6～9：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部は外傾している。隆線文・沈線文

によって文様が描かれている。

第 270 図 10：頸部がゆるく外反し、口縁部は外傾する器形である。口縁部には横位平行押圧縄文が施されている。

第 270 図 11：口縁部は複合口縁状を呈している。文様意匠は施されていない。

第 270 図 12：底部資料である。浅鉢形土器の底部と思われる。

C M82 区

第 2～1 層：第 271 図

第 271 図 1：口縁部は肥厚して外傾している。沈線文・連続刺突文が施されている。

第 1 層：第 271 図 2～13

第 271 図 2：口縁部は肥厚して外傾している。沈線文が施されている。

第 271 図 3：頸部がつよく屈曲し、口縁部が外傾する器形である。沈線文、三角形の彫去が口縁部から胴部にかけて施されている。

第 271 図 4～5：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部が外傾する器形である。沈線文によって文様が描かれている。

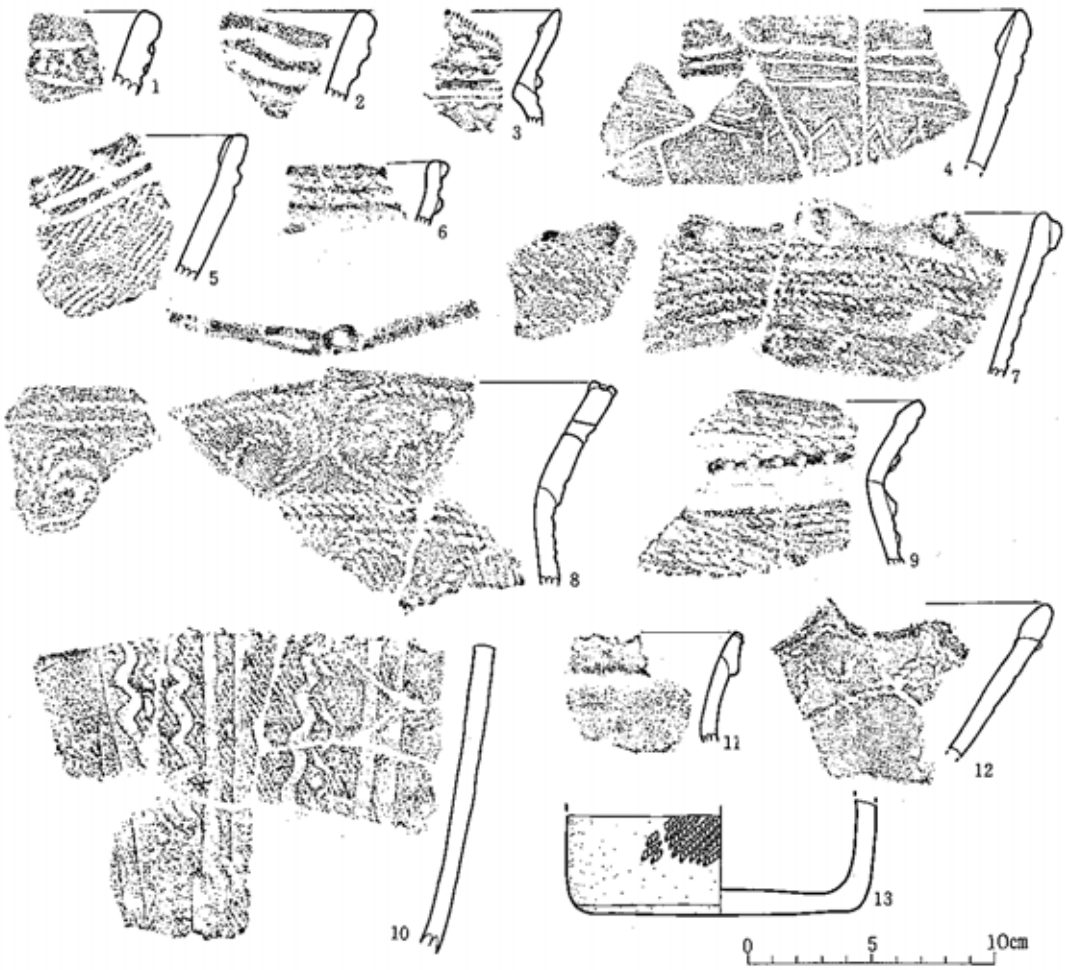
第 271 図 6～9：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部が外傾する器形である。押圧縄文によって文様が構成されている。

第 271 図 10：胴部破片である。縦位の沈線文が描かれている。

第 271 図 11：口縁部は複合口縁状を呈している。文様意匠は施されていない。

第 271 図 12：浅鉢形土器である。押圧縄文が施されている。

第 271 図 13：底部資料である。底面には網代痕が残されている。



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM82区・2－1層	深鉢・A(Ⅰ)－	口縁部：平縁，横位波線文，連続刺突文	163
2	CM82区・1層	深鉢・A(Ⅱ)1	口縁部：波状縁，平行沈線文	163
3	CM82区・1層	深鉢・H2b	口縁部：波状縁，刻目文（上端），三角形の彫去，胴部：横位隆帯，胴部：横位平行沈線文，三角形の彫去	163
4	CM82区・1層	深鉢・E(Ⅰ)5	口縁部：平縁，横位平行沈線文，「Y」字状沈線文	163
5	CM82区・1層	深鉢・D(Ⅱc2(？))1a	口縁部：波状縁，口縁に沿う沈線文，縄文（LR）	163
6	CM82区・1層	深鉢・D(Ⅰ)8c	口縁部：平縁，横位隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR）	163
7	CM82区・1層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：小突起のつく平縁，横位平行押圧縄文（LR），縄文（LR）	163
8	CM82区・1層	深鉢・D(Ⅰ)6d	口縁部：小突起のつく平縁，楕円形状押圧縄文（Lr），胴部：横位平行押圧縄文（Lr），連弧状押圧縄文（Lr），縄文（Lr），補修孔あり	163
9	CM82区・1層	深鉢・N5b	口縁部：波状縁，口縁に沿う押圧縄文(LR)，頸部：横位隆帯，隆線状沈線，胴部：区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR）	163
10	CM82区・1層	深鉢・W4	胴部：縦位沈線文，波状縦位沈線文，縄文（Lr）結節文（両結び－環？）	163
11	CM82区・1層	深鉢・S11a	口縁部：小波状縁，無文，胴部：無文	163
12	CM82区・1層	浅鉢・B－	口縁部：波状縁，口縁に沿う押圧縄文（Lr），波状押圧縄文（Lr）	163
13	CM82区・1層	深鉢・－	胴部：縄文（LR），底部：網代底	

第271図　東側遺物包含層出土土器（CM82区・２～１・１層）

（20）83 列（ＣＬ83 区・ＣＭ83 区）

ＣＬ83 区

第６層上面：第 272 図

第 272 図 1：胴部破片である。半截竹管による平行沈線文によって描かれている。

第 272 図 2：胴下部にくびれ部をもつ器形である。胴上部は、沈線文によって文様が構成されている。

第５層：第 273 図

第 273 図 1：胴部破片である。隆線文と半截竹管による押引き文によって文様が構成されている。

第４層：第 274 図 1～4

第 274 図 1～2：頸部がゆるやかにくびれ、口縁部が肥厚して外傾する器形である。

第 274 図 3：胴部破片である。半截竹管による平行沈線文が描かれている。

第 274 図 4：浅鉢形土器である。波頂部内面には渦巻状貼付文が付されている。

第４層上面：第 274 図 5～8、第 275 図～第 277 図

第 274 図 5～7：頸部がゆるやかにくびれ、口縁部が肥厚して外傾する器形である。沈線文によって文様が描かれている。

第 274 図 8：口縁部は複合口縁状を呈している。口縁部下端には連続して指頭状圧痕が付され、胴部には半截竹管による平行沈線文が描かれている。

第 275 図 1：頸部と胴下部に屈曲部をもつ器形である。口縁部には円形竹管による連続刺突文が施され、胴部には半截竹管による平行沈線文・連続刺突文が施されている。さらに、貼付文が付されている。

第 275 図 2：頸部は「く」字状にくびれ、口縁部は内弯し、キャリパー状の器形である。隆線文と沈線文によって文様が構成されている。

第 275 図 3～4：頸部がゆるく「く」字状にくびれ、口縁部は外傾している。文様意匠は施されていない。

第 276 図 1：頸部でゆるく外反し、口縁部は内弯し、キャリパー状の器形である。突起の内

外面には「の」字状貼付文が付されている。口縁部は隆線文、沈線文によって文様が構成されている。

第 276 図 2：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部は外傾する器形である。縄文結節文が施されている。

第 277 図 1〜3：浅鉢形土器である。1 は口縁部に横位の交互刺突帯が設けられている。

第 3 層：第 278 図

第 278 図 1〜2：頸部がゆるやかに外反し、口縁部は肥厚して外傾する器形である。1 は半截竹管による押引き文によって、2 は沈線文によって文様が構成されている。

第 278 図 3：口縁部はわずかに内弯しながら外傾している。連続刺突文が施されている。

第 278 図 4：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部は外傾している。隆線文と沈線文によって文様が構成されている。

第 278 図 5〜7：口縁部は複合口縁状を呈している。文様意匠は施されていない。

第 278 図 8：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部はわずかに内弯しながら外傾している。口縁部には押圧縄文が施されている。

第 2 層：第 279 図 1〜11

第 279 図 1：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が外傾する器形である。隆線文と沈線文によって文様が描かれている。

第 279 図 2〜3：隆線文と沈線文によって文様が構成されている。2 は口縁部が内弯している。

第 279 図 4：胴部から口縁部までゆるやかに内弯しながら外傾する器形である。口縁部には弧状の沈線文が描かれている。

第 279 図 5〜6：頸部がゆるい「く」字状にくびれる器形である。弧状の隆線文と沈線文によって文様が構成されている。

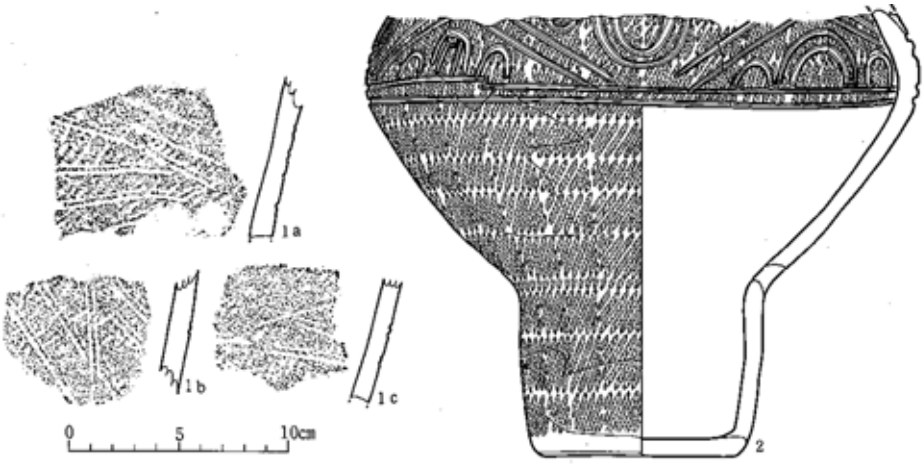
第 279 図 7〜9：口縁部は外傾している。文様意匠は施されていない。

第 279 図 10：口縁部破片である。連弧状貼付文が付されている。

第 279 図 11：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部は外傾している。突起内外面には、「の」字状貼付文、口縁部には縦位押圧縄文が施されている。

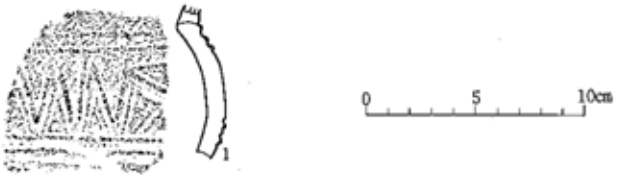
第 1 層：第 279 図 12〜13

第 279 図 12：口縁部破片である。沈線文が施されている。



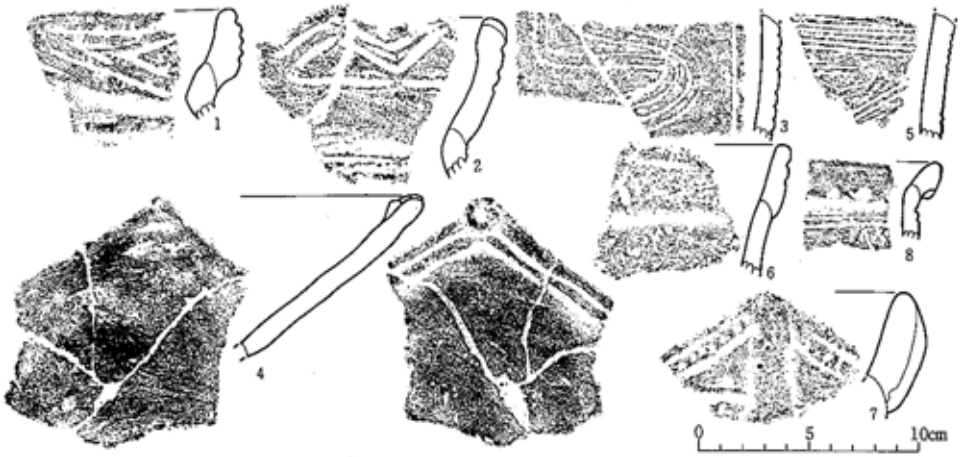
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1a,b,c	CL83区・6層上面、CL84区・表ベルト	深鉢・A−	胴部：半截竹管による平行沈線文，縄文（LR）	164
2	CL83区・6層上面	深鉢・H2a	胴部：山形状沈線文，半円形沈線文，横位平行沈線文，縄文（LR）	20−1

第272図　東側遺物包含層出土土器　（CL83区・6層上面）



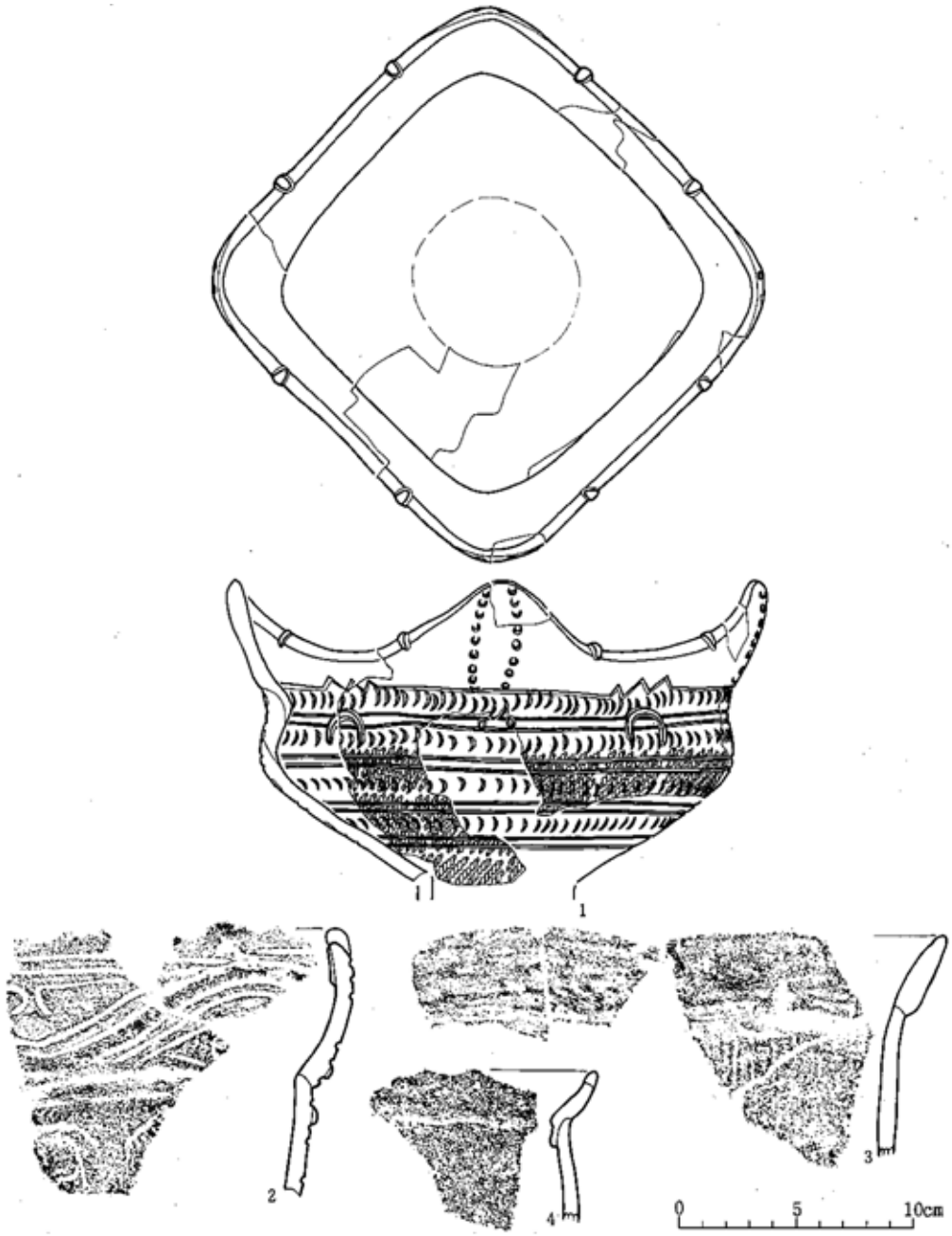
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL83区・5層	深鉢・N1	胴部：横位平行粘土紐貼付文，山形状粘土紐貼付文，半截竹管による押引き文（貼付文上），縄文（LR）	164

第273図　東側遺物包含層出土土器（CL83区・5層）



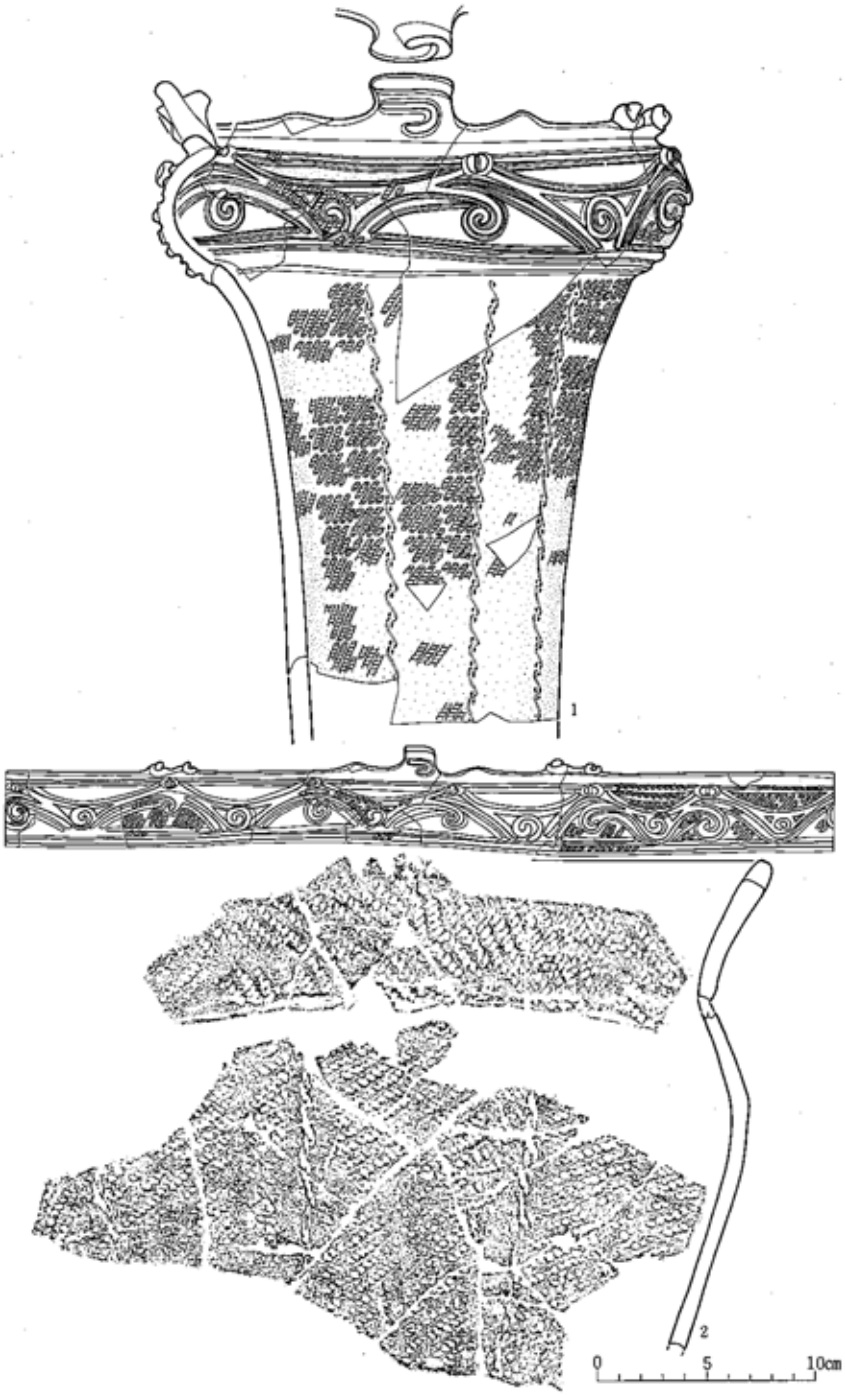
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL83区・4層	深鉢・A(1)2	口縁部：平縁，区画沈線文	164
2	CL83区・4層・4層上面	深鉢・A(II)−	口縁部：波状縁，山形状沈線文，頸部：横位沈線文	164
3	CL83区・4層	深鉢・S4a(?)	胴部：半截竹管による縦位平行沈線文，半截竹管による波状平行沈線文	164
4	CL83区・4層、CL84区・表ベルト1層	浅鉢・−	口縁部：波状縁，渦巻状貼付文，口縁に沿う沈線文（内面）	19−2
5	CL83区・4層上面	深鉢・A−	頸部：半截竹管による横位平行沈線文，胴部：半截竹管による平行沈線文，縄文（LR）	164
6	CL83区・4層上面	深鉢・A(II)−	口縁部：波状縁，口縁に沿う沈線文，半円形沈線文，胴部：無文	164
7	CL83区・4層上面	深鉢・D−(?)	口縁部：波状縁，縦位貼付文，口縁に沿う沈線文，横位沈線文，半截竹管による刺突文	164
8	CL83区・4層上面	深鉢・A(1)−	口縁部：平縁，後期次圧痕（下端），胴部：半截竹管による横位平行沈線文，斜位沈線文，縄文（LR）	164

第274図　東側遺物包含層出土土器（CL83区・4層・4層上面(1)）



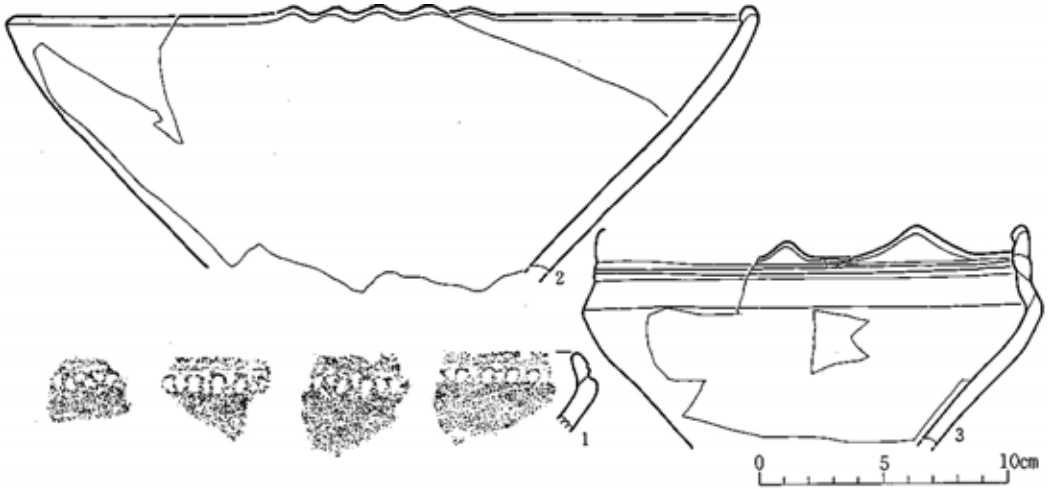
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL83区・4層上面、CN84区・3層・1層、CM86区・西ベルト3層、CM85区・西ベルト4層・1層	深鉢・H5	口縁部：波状線、横位貼付文（上端）、縦位円形竹管文、三角形の彫出（下端）、胴部：半截竹管による横位平行沈線文、半截竹管による連続刺突文、「Π」字状貼付文、縄文（LR）	19－6
2	CL83区・4層上面	深鉢・D(Ⅰ)8b	口縁部：小波状のつく平縁、半円形区画隆線文、横位沈線文、隆線に沿う沈線文、角巻状沈線文、縄文（RL）、胴部：「Y」字状無節隆線文、隆線に沿う沈線文	164
3	CL83区・4層上面	深鉢・S10b	口縁部：平縁、無文、胴部：縄文（LR）	164
4	CL83区・4層上面	深鉢・W2b	口縁部：小波状縁、無文、胴部：縄文（RL）	164

第275図　東側遺物包含層出土土器（CL83区・4層上面(2)）



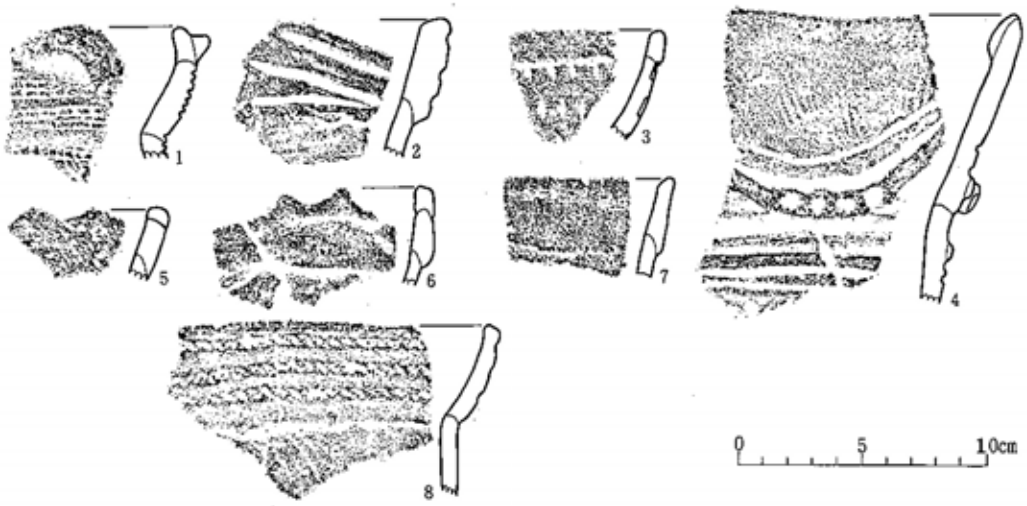
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	C L83区・4層上面・3層・3層上加	深鉢・L4a	口縁部：突起のつく平縁，「の」字状貼付文（突起内外面），手向形区画隆線文，渦巻状隆線文，隆線に沿う凸線文，別行の施される幾何学的貼付文，縄文（RL），胴部：（RL）結節文（片結び一類）（LR）	22－2
2	C L83区・4層上面，C L83区・西ベルト1層，C M83区・南ベルト1層，C N83区・1層	深鉢・V3	口縁部：突起のつく平縁，縄文（RL），胴部：縄文（RL）結節文（片結び一類）	165

第276図　東側遺物包含層出土土器（C L 83区・4層上面(3)）



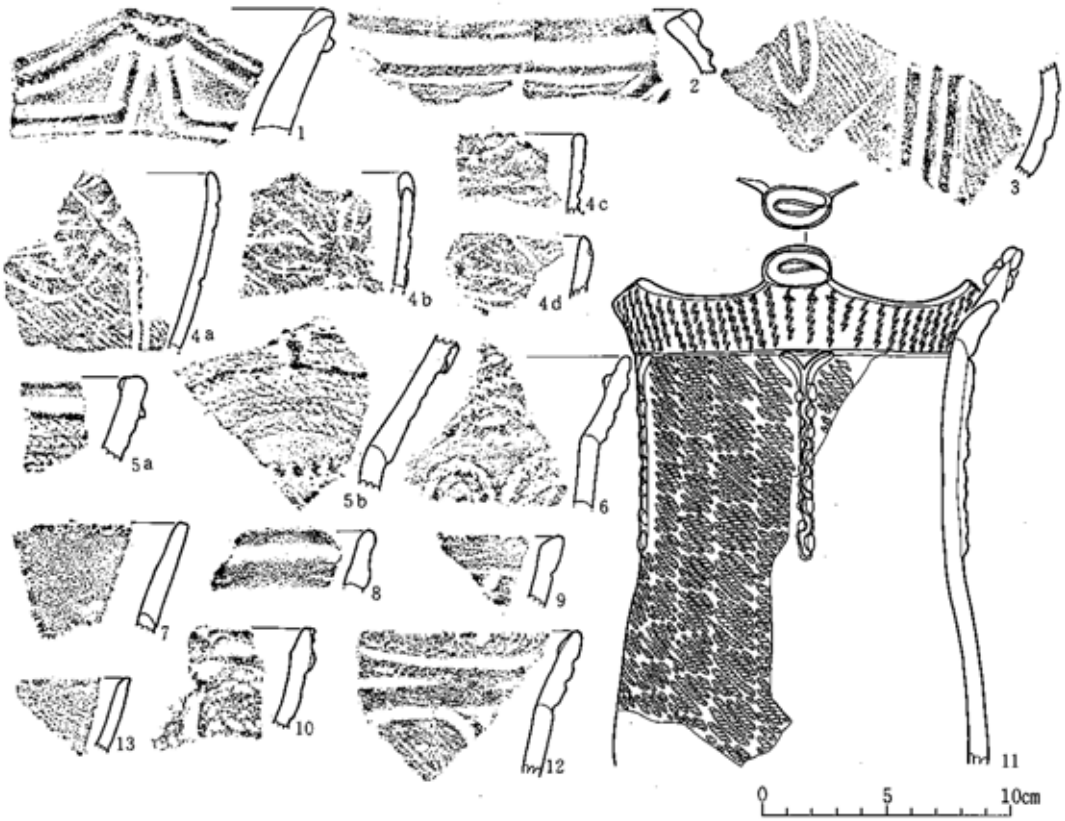
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL83区・4層上面・2層、CN82区2－1層	浅鉢・A3a	口縁部：平縁、横位平行沈線文、交互刺突文、胴部：無文	165
2	CL83区・4層上面・3層上面	浅鉢・A8b	口縁部：小波状部のある平縁、無文、胴部：無文	
3	CL83区・4層上面、CL83区・西ベルト1層、CL82区・西ベルト1層、CN83区・1層	浅鉢・A8b	口縁部：小突起のつく平縁、無文、胴部：無文	18－2

第277図　東側遺物包含層出土土器（ＣＬ83区・４層上面(4)）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL83区・西ベルト3層	深鉢・H2a(？)	口縁部：小突起のつく平縁、半截竹管による横位押引き文、胴部：半截竹管による横位押引き文	165
2	CL83区・3層	深鉢・A(II)3	口縁部：波状縁、口縁に沿う沈線文、横位沈線文、胴部：無文	165
3	CL83区・3層	深鉢・E(I)4b	口縁部：平縁、横位沈線文、連続刺突文	165
4	CL83区・3層	深鉢・D(IIc2(？))1a	口縁部：波状縁、区画隆線文、指頭状圧痕、隆線に沿う沈線文、縄文（LR）	165
5	CL83区・3層	深鉢・W3b	口縁部：小波状縁、縄文（RL）結節文（片結び一原）	165
6	CL83区・3層	深鉢・S11a	口縁部：小波状部のある平縁、無文、胴部：無文	165
7	CL83区・3層	深鉢・S11a	口縁部：平縁、無文、胴部：無文	165
8	CL83区・3層	深鉢・E(I)1a	口縁部：平縁、横位平行押圧縄文（LR）、胴部：縄文（LR）	165

第278図　東側遺物包含層出土土器（CL83区・３層）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	ＣＬ83区・２層	深鉢・N－	口縁部：波状縁，区画隆線文，隆線に沿う沈線文	166
2	ＣＬ83区・２層	深鉢・N6b	口縁部：平縁，弧状区画隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（LL）	166
3	ＣＬ83区・２層	深鉢・T－	胴部：楕円隆線文，隆線に沿う沈線文，弧状沈線文，縄文（Lr）	166
4a,b,c	ＣＬ83区・2層，西ベルト・2層，ＣＬ84区・南ベルト層・２層	深鉢・S6	口縁部：平縁，楕円形状貼付文，貼付文に沿う沈線文，横位沈線文，縄文（LR）（上端），胴部：楕円沈線文，縄文（LL）．	166
5a,b	ＣＬ83区・２層	深鉢・D(Ⅰ)10a	口縁部：平縁，相対する弧状区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文(LR)，縦位押圧縄文（下端），胴部：縄文(LR)	166
6	ＣＬ83区・２層	深鉢・W－	口縁部：波状縁，口縁に沿う押圧縄文（LR），重弧状押圧縄文（LR），胴部：連弧状押圧縄文（LR）	166
7	ＣＬ83区・２層	深鉢・S11b	口縁部：平縁，無文	166
8	ＣＬ83区・２層	深鉢・S11a	口縁部：平縁，無文	166
9	ＣＬ83区・２層	深鉢・S10b	口縁部：平縁，無文，胴部：結節文（両結び一組）	166
10	ＣＬ83区・２層	深鉢・D(Ⅰ)6c	口縁部：平縁，連弧状貼付文，連弧状押圧縄文（Lr）（上部），楕円形状区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR）	166
11	ＣＬ83区・２層・１層，ＣＬ83区・西ベルト１層	深鉢・E(Ⅱ)2a	口縁部：小突起のつく平縁，「の」字状貼付文（突起内外面），縦位押圧縄文（LR），胴部：「Y」字状隆線，隆線文，縄文（LR）	19－4
12	ＣＬ83区・西ベルト１層	深鉢・D(Ⅱc2(？))1a	口縁部：波状縁，口縁に沿う沈線文，横位沈線文，縄文（LR），胴部：弧状沈線文，縄文（LR）	166
13	ＣＬ83区・１層	深鉢・S10a	口縁部：平縁，縄文（RL）結節文（片結び一注）	166

第279図　東側遺物包含層出土土器（ＣＬ83区・２層・１層）

第 279 図 13：口縁部の破片である。文様意匠は施されていない。

ＣＭ83 区

第５層上面：第 280 図

第 280 図 1：口頸部がゆるやかに外反する器形である。半截竹管によって文様が施されている。

第 280 図 2：頸部が「く」字状につよく屈曲する器形である。胴部上半に半截竹管によって文様が描かれ、三角形の彫去が施されている。

第 280 図 3：口頸部がゆるやかに外反する器形である。縄文が施されている。

第４層：第 281 図

第 281 図 1：胴部から口縁部まで直線的に外傾する器形である。半截竹管によって文様が描かれている。

第 281 図 2：頸部で外側に屈曲し、口縁部が肥厚する器形である。胴上部でわずかに膨んでいる。貼付文、半截竹管による押引き文が施されている。

第４層上面：第 282 図～第 283 図

第 282 図 1：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部はわずかに内弯しながら外傾する器形である。胴部に懸垂区画が隆線文によって施され、弧状の押圧縄文が口縁部に施されている。

第 282 図 2：頸部がゆるい「く」字状にくびれる器形である。胴部は隆線文と沈線文によって文様が構成されている。

第 282 図 3：胴底部資料である。胴部には縄文が施されている。

第 283 図 1：わずかに膨みをもって立ちあがる胴部資料である。胴上部に弧状の隆線文と沈線文が施されている。底面には網代痕が残されている。

第 283 図 2：口縁部は複合口縁状を呈している。縄文が施されている。

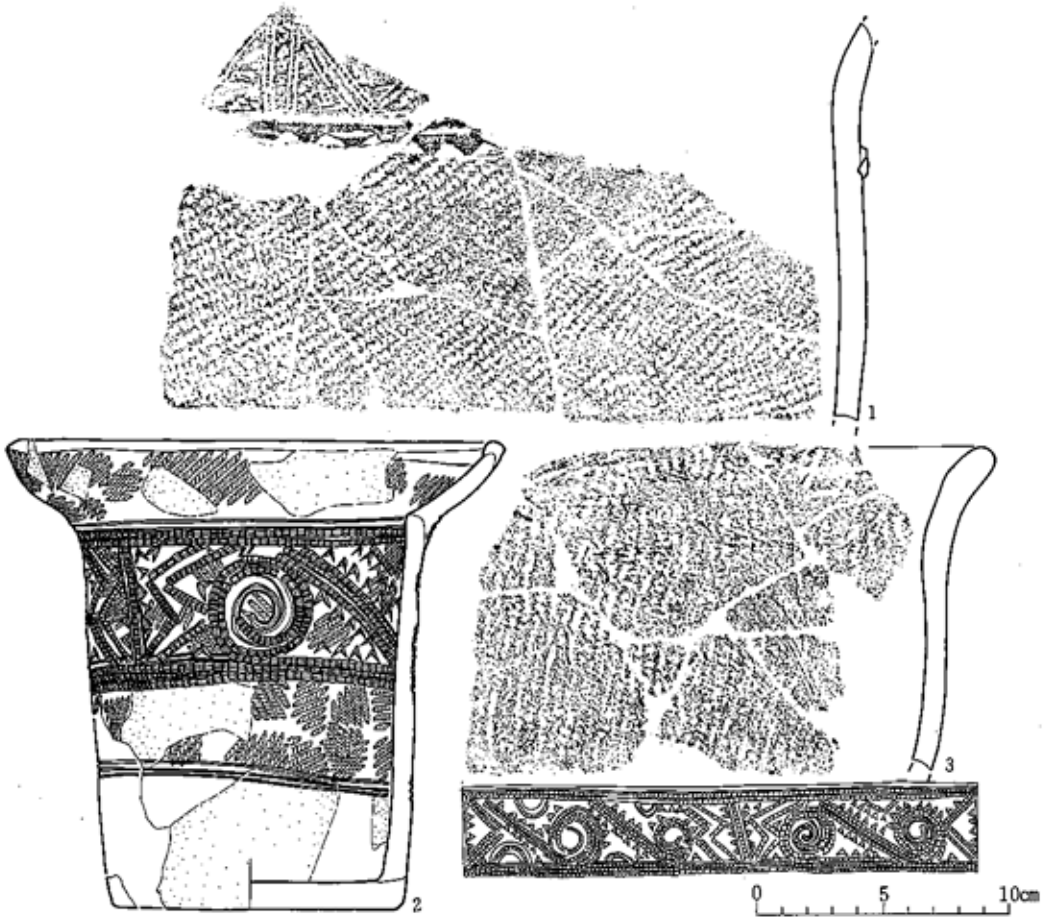
第３層：第 284 図

第 284 図 1～3：頸部がゆるやかに外反する器形である。2 の頸部には横位の押引き文が施されている。

第 294 図 4：頸部が「く」字状につよくくびれ、口縁部はわずかに内弯しながら外傾する器形である。

第 284 図 5：口縁部破片である。横位の平行沈線文が施されている。

第 284 図 6：無文の浅鉢形土器である。

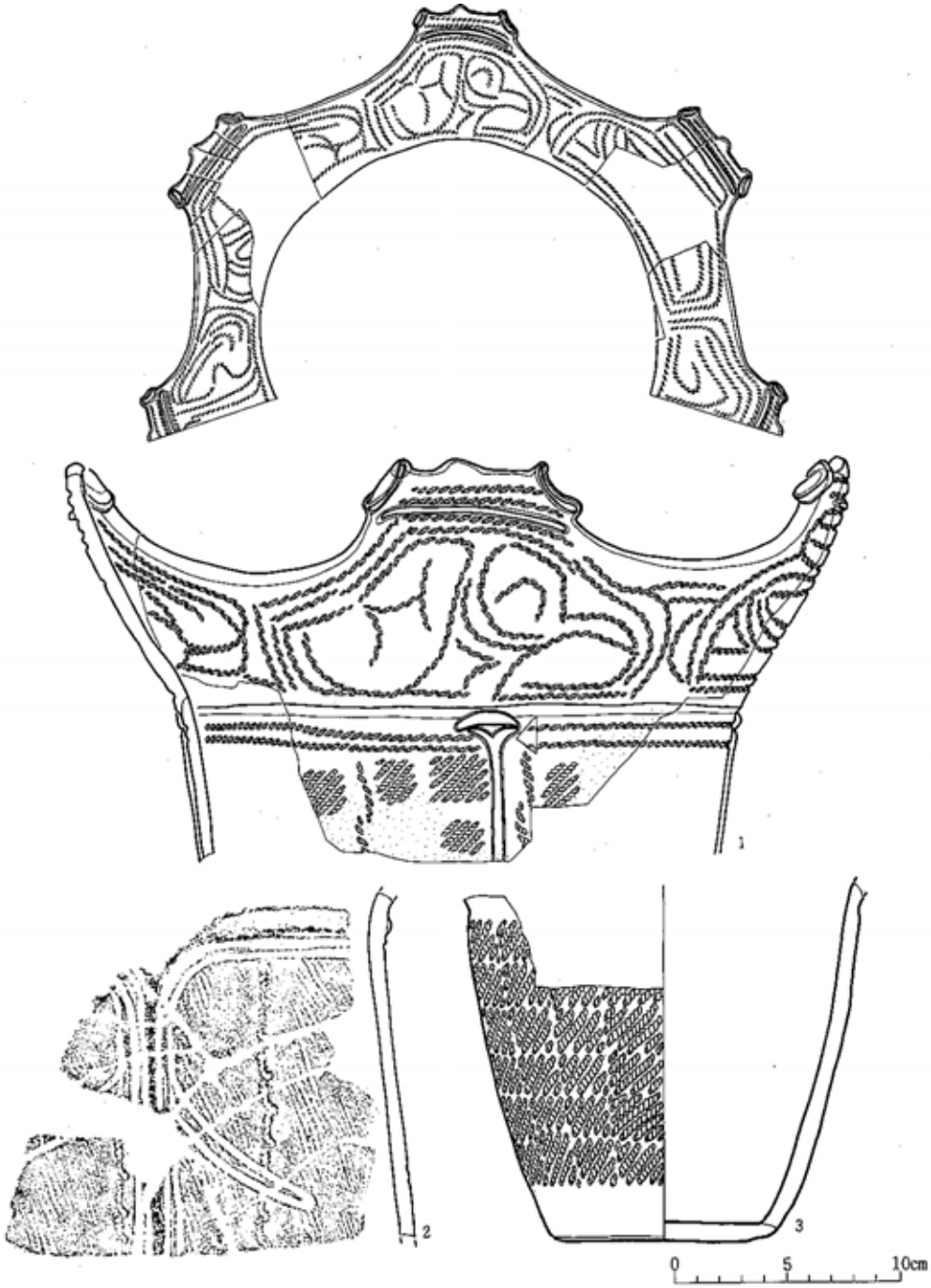


番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM83区・5層上面	深鉢・Q1	口縁部：平敷竹管による縦位押引き文，平敷竹管による連続山形状押引き文，縄文(LR)，横位隆帯・三角形の貼付（頸部），胴部：縄文（LR）	167
2	CM83区・5層上面	深鉢・Q1	口縁部：平線，縄文(LR)，胴部：平敷竹管による押引き文，渦巻状沈線文，三角形の貼付，平敷竹管による平行沈線文，縄文（LR）	20－2
3	CM83区・5層上面	深鉢・A(Ⅰ)5b	口縁部：平線，縄文（LR）	167

第280図　東側遺物包含層出土土器（CM83区・5層上面）

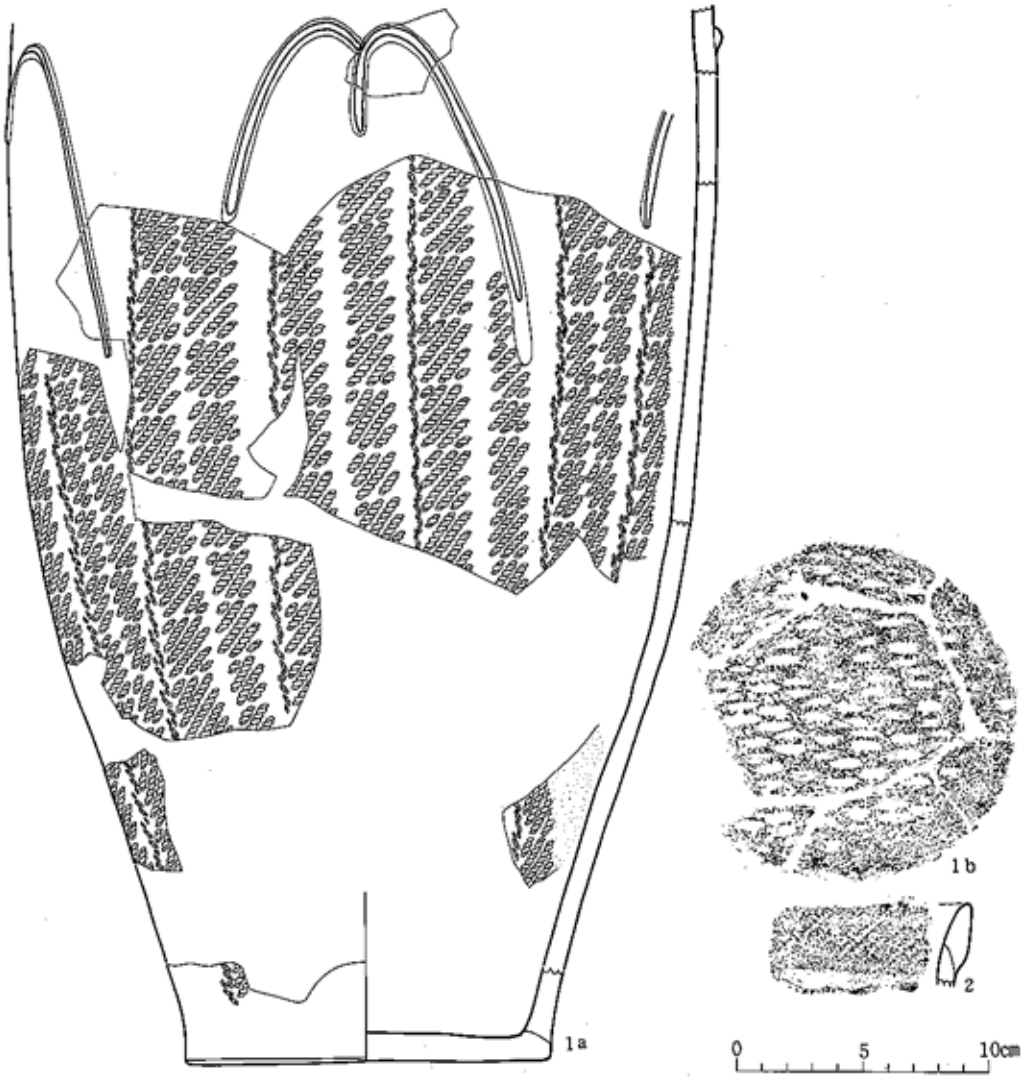
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM83区・4層	深鉢・R(Ⅰ)1	口縁部：波状線，細径粘土紐貼付文（上端），平敷竹管による連続山形状平行沈線文，押引き文，頸部：平敷竹管による横位押引き文，胴部：縄文（LR）	167
2	CM83区・4層	深鉢・N1	口縁部：平線，細径粘土紐貼付文（上端），平敷竹管による横位押引き文，頸部：横位隆帯・三角形の貼付，平敷竹管による連続状押引き文，円形沈線文，横位沈線文	167

第281図　東側遺物包含層出土土器（CM83区・4層）



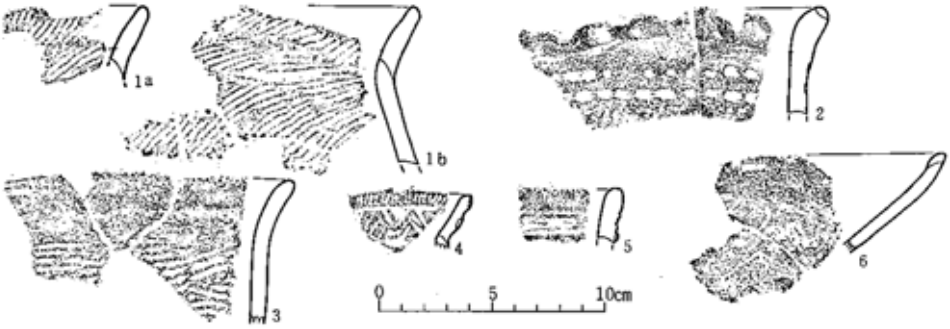
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM83区・4層上面、CM83区・南ベルト1層、CL84区・4層	深鉢・D(IIc2)3	口縁部：波状縁、横位隆線文、弧状押圧縄文（RL）、頸部：横位押圧縄文（RL）、楕円形結節文、胴部：「Y」字状懸垂隆線文、縄文（RL）	21－3
2	CM83区・4層上面・2層	深鉢・F－	胴部：「Y」字状懸垂隆線文、隆線に沿う沈線文、弧状沈線文、縄文（Lr）結節文（同結び一原）	168
3	CM83区・4層上面・3層	深鉢・－	胴部：縄文（LR）、底部：ナデ調整	

第282図　東側遺物包含層出土土器（CM83区・4層上面(1)）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1a.b	CM83区・4層上面	深鉢・N7a or W−	胴部：馬蹄形状の弧状貼付文，縄文（RL）結節文（両結び−逆），底部：網代底（2−4c）	22−1
2	CM83区・4層上面	深鉢・W3b(？)	口縁部：平縁，縄文（LR）	168

第283図　東側遺物包含層出土土器（CM83区・4層上面(2)）

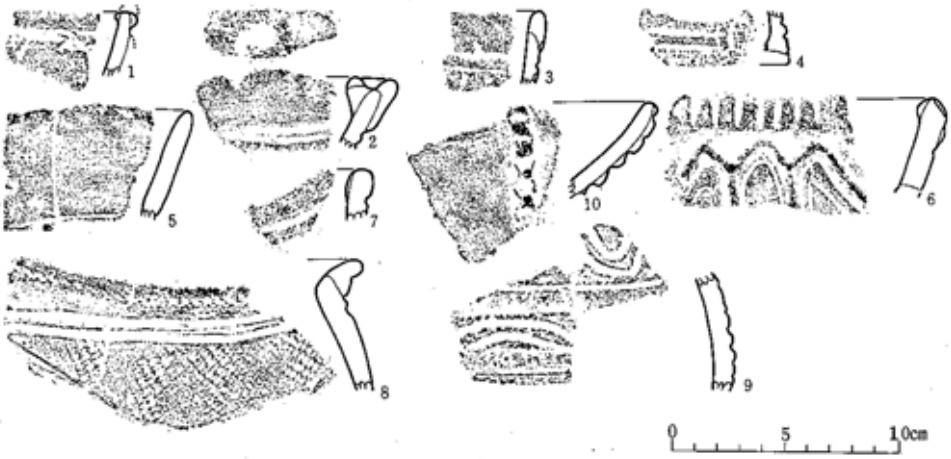


番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1ab	CM83区・3層・2層	深鉢・A(Ⅰ)5a	口縁部：小突起のつく平縁，縄文（Lr），胴部：縄文（Lr）	168
2	CM83区・西ベルト3層，CN83区・2層	深鉢・A(Ⅰ)−	口縁部：小波状縁，横位押引き文，縄文（LR）	168
3	CM83区・3層	深鉢・A(Ⅰ)5b	口縁部：平縁，無文，胴部：縄文（Lr）	168
4	CM83区・3層	深鉢・H2b	口縁部：平縁，横位沈線文，縦位短沈線文，山形状沈線文，三角形の彫去	168
5	CM83区・3層	深鉢・S3a	口縁部：平縁，横位平行沈線文	168
6	CM83区・3層	浅鉢・A8e	口縁部：平縁，無文	168

第284図　東側遺物包含層出土土器（CM83区・3層）

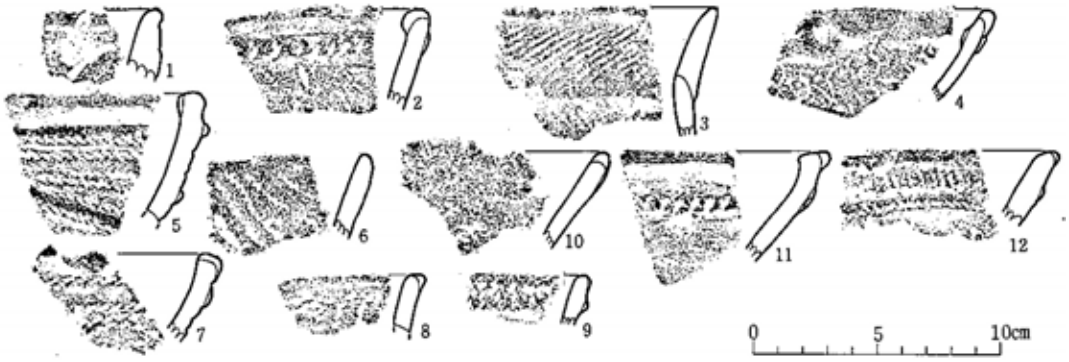
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM83区・2層	深鉢・W3b	口縁部：平縁，無文（上半），縄文（LR）（下半）	168
2	CM83区・2層	深鉢・F−	胴部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（Lr）	168

第285図　東側遺物包含層出土土器（CM83区・2層）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM83区・1層	深鉢・D(Ⅰ)−	口縁部：小突起（斜線）のつく平縁，横位沈線文，縦位沈線文，円形沈線文	168
2	CM83区・1層	深鉢・D(Ⅰ)−	胴部：突起（「の」字状貼付文）のつく平縁，無文（上半），横位平行沈線文（下半）	168
3	CM83区・1層	深鉢・S3a	口縁部：平縁，三角形の彫去，横位平行沈線，縦位短沈線文	168
4	CM83区・1層	深鉢・K3b	胴部：半截竹管による平行沈線文，格子目状沈線文	168
5	CM83区・1層	深鉢・W2b(？)	口縁部：無文，頸部：横位沈線文	168
6	CM83区・1層	深鉢・D(IIc2)1a	口縁部：波状縁，刻目文（波頂部），区画隆線文，隆線に沿う沈線文	168
7	CM83区・1層	深鉢・D(IIc2(？))1a	口縁部：波状縁，口縁に沿う沈線文，縄文（RL）	168
8	CM83区・1層	深鉢・N6a	口縁部：波状縁，口縁に沿う押圧縄文（LR），胴部：区画沈線文	168
9	CM83区・1層	深鉢・N5a	胴部：弧状沈線文，横位平行沈線文，重弧状沈線文	168
10	CM83区・1層	浅鉢・A−	口縁部：波状縁，半截竹管による押引きの施される縦位隆線文	168

第286図　東側遺物包含層出土土器（CM83区・1層(1)）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM83区・1層	深鉢・A－(？)	口縁部：平縁，横位沈線文，弧状沈線文	169
2	CM83区・1層	深鉢・S－	頸部：横位隆帯，縦位押圧縄文（LR），胴部：縄文（LR）結節文（片結び一類）	169
3	CM83区・1層	深鉢・W3b	口縁部：平縁，縄文（LR），胴部：縄文（LR）	169
4	CM83区・1層	浅鉢・A7	口縁部：平縁，「の」字状貼付文（上端），胴部：縄文（Lr）結節文（片結び一類）	169
5	CM83区・1層	深鉢・D(Ⅰ)8c	口縁部：平縁，相対する弧状区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR）	169
6	CM83区・1層	深鉢・D(Ⅰ)8c	口縁部：平縁，弧状区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR）	169
7	CM83区・1層	深鉢・D(Ⅰ)8c	口縁部：小波状縁，横位隆線文，横位押圧縄文（RL），弧状押圧縄文（RL）	169
8	CM83区・1層	深鉢・S－(？)	口縁部：平縁，縦位弧状押圧縄文（？）	169
9	CM83区・1層	深鉢・S5e(？)	口縁部：平縁，縦位押圧縄文，頸部：横位隆帯	169
10	CM83区・1層	浅鉢・A5－	口縁部：小波状縁，無文	169
11	CM83区・1層	浅鉢・A3e	口縁部：平縁，無文，頸部：横位隆帯，連続刺突文，胴部：無文	169
12	CM83区・1層	浅鉢・A6	口縁部：平縁，縦位押圧縄文（Lr），頸部：横位隆帯，胴部：横位押圧縄文（Lr）	169

第287図　東側遺物包含層出土土器（CM83区・1層(2)）

第2層：第285図

第285図1：頸部がゆるい「く」字状にくびれる器形である。縄文が施されている。

第285図2：胴部破片である。隆線文、沈線文が施されている。

第1層：第286図～第287図

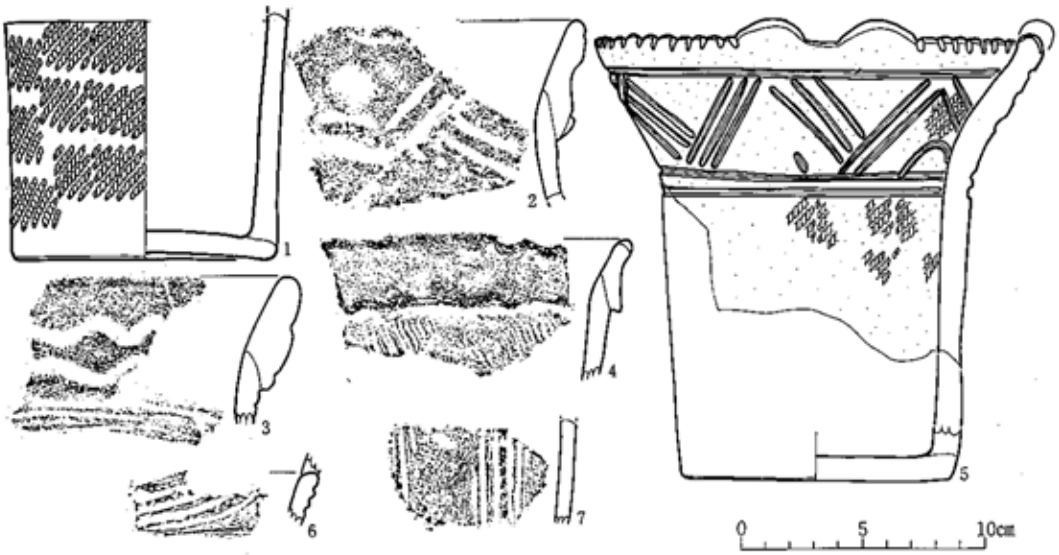
第286図1～2：頸部が「く」字状につよくくびれ、口縁部はわずかに内弯しながら外傾する器形と思われる。文様は沈線文によって施されている。2 の口縁上端には「の」字状貼付文が付されている。

第286図3：口縁部は直線的に外傾している。横位平行沈線文と縦位短沈線文が口縁部に施されている。

第286図4：胴部破片である。半截竹管による平行沈線文によって文様を描いた後に、格子目状の細い沈線文を充填している。

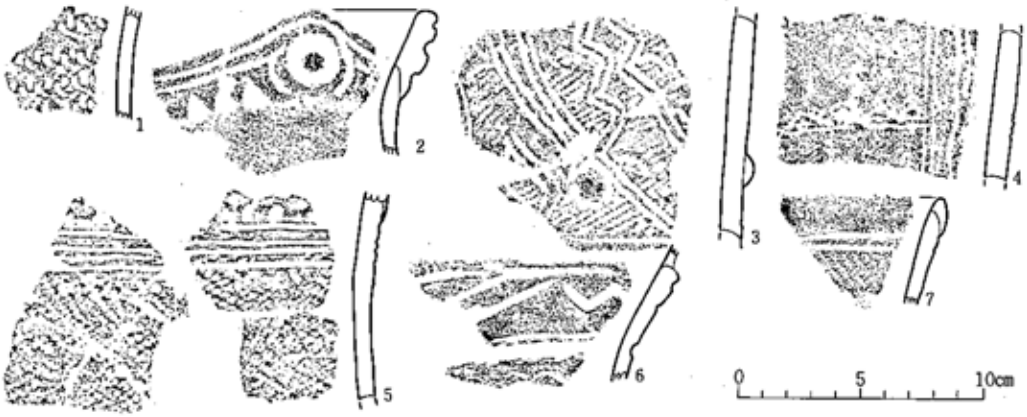
第286図5：口縁部は外傾している。頸部には横位沈線文が施されている。

第286図6～9：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部が外傾する器形と思われる。隆



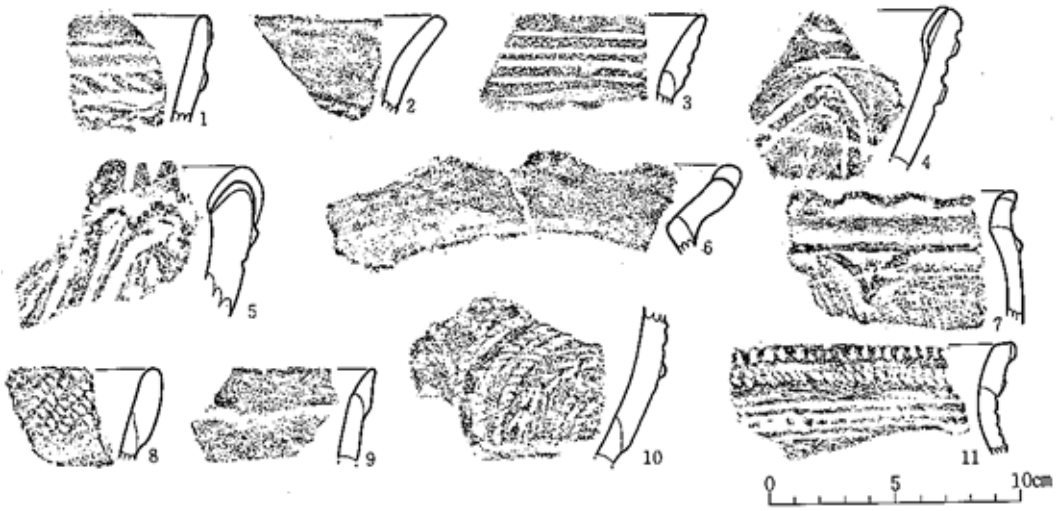
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL83区・ベルト5層	深鉢・－	胴部：縄文（LR），底部：－	
2	CM83区・ベルト4層	深鉢・A(Ⅱ)2	口縁部：波状縁，円形の窪み，横位沈線文，口縁に沿う平行沈線文，半截竹管による横位連続刺突文，胴部：無文	170
3	CM83区・ベルト4層	深鉢・A(Ⅰ)3	口縁部：平縁，山形状沈線文，頸部：半截竹管による横位平行沈線文	170
4	CL83区・ベルト4層	深鉢・S10b	口縁部：小波状部のある平縁，無文，胴部：撚糸文（R）	170
5	CM83区・ベルト3層	深鉢・Q1	口縁部：小突起のつく平縁，刺目文（上端），横位沈線文，山形状沈線文，半円形沈線文，縄文（LR），胴部：縄文（LR）	19－5
6	CL83区・ベルト3層	深鉢・S－	口縁部：波状縁，口縁に沿う平行沈線文，連続刺突文	170
7	CL83区・ベルト3層	深鉢・－	胴部：懸垂隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（RL）	170

第288図　東側遺物包含層出土土器（CL～CM83区・ベルト５・４・３層）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM83区・ベルト2層	深鉢・－	胴部：結束（第1種）羽状縄文（RL×LR），繊維混入	170
2	CL83区・南ベルト2層	深鉢・A(Ⅱ)3	口縁部：波状縁，口縁に沿う沈線文，円盤状沈線文，三角形の彫去（下端），胴部：縄文（RL）	170
3	CM83区・南ベルト2層，CM83区・南ベルト1層	深鉢・A－	胴部：半截竹管による平行沈線文，円形貼付文，縄文（LR）結節文（両結び一逆）	170
4	CM83区・北ベルト2層	深鉢・－	胴部：半截竹管による平行沈線文	170
5	CM83区・北ベルト2層	深鉢・A－	口縁部：三角形の彫去（下端），頸部：横位平行沈線文，胴部：縄文（RL）	170
6	CM83区・南ベルト2層	深鉢・A－(？)	口縁部：横位沈線文，連続山形状沈線文，胴部：縄文(LR)結節文(片結び一順)，胎土：金雲母を多く含む	170
7	CM83区・ベルト2層	深鉢・W－(？)	口縁部：波状縁，口縁に沿う沈線文，縄文（LR），胎土：金雲母を多く含む	170

第289図　東側遺物包含層出土土器（CL～CM83区・ベルト２層）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM83区・ベルト1層	深鉢・S−	口縁部：平縁，無文，頸部：横位隆帯，斜位刻目文，胴部：縄文（LR）結節文（片結び一環）	170
2	CM83区・前ベルト1層	深鉢・W−(?)	口縁部：波状縁，無文，頸部：横位押引き文	170
3	CM83区・ベルト1層	深鉢・D(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位平行沈線文，縄文（LR）	170
4	CL83区・ベルト1層	深鉢・D(Ⅱc2)1a	口縁部：波状縁，区画隆線文，隆線に沿う沈線文	170
5	CM83区・ベルト1層	深鉢・D(Ⅱc2)1a	口縁部：波状縁，刻目文（波頂部），区画隆線文，隆線に沿う沈線文，円形竹管文，縄文（RL）	170
6	CM83区・ベルト1層	深鉢・N−	口縁部：小突起のつく平縁，無文	170
7	CL83区・ベルト1層	深鉢・N9a	口縁部：小波状縁，無文，頸部：横位隆帯，胴部：「V」字状懸垂隆線文	170
8	CM83区・前ベルト1層	深鉢・W3b	口縁部：平縁，縄文（LR）	170
9	CL83区・ベルト1層	深鉢・S11a	口縁部：平縁，無文，胴部：無文	170
10	CL83区・ベルト1層	深鉢・D(Ⅰ)10a	口縁部：区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（Lr），連弧状押圧縄文（Lr），半截竹管による連続刺突，縄文（Lr）	170
11	CL83区・ベルト1層	深鉢・S−	口縁部：平縁，半截竹管による連続刺突文（上端），横位押圧縄文（LR），頸部：横位隆帯，胴部：半截竹管による平行沈線文，半截竹管による押し引き文	170

第290図　東側遺物包含層出土土器（CL～CM83区・ベルト1層）

線文と沈線文によって文様が構成されている。

第286図10：浅鉢形土器である。縦位隆線文には半截竹管による押引き文が施されている。

第287図1～9：口縁部破片である。いずれも口縁部は外傾するものと思われる。1には沈線文が施されている。2は頸部隆帯が設けられ、押圧縄文が施されている。3～4は文様意匠は施されていない。5～9は押圧縄文が施されている。

第287図10～12：浅鉢形土器である。

（ＣＬ－ＣＭ83区ベルト）

第5層：第288図1

第288図1：底部資料である。胴部には縄文が施されている。

第4層：第288図2〜3

第288図2〜3：頸部がゆるく外反し、口縁部が肥厚して外傾する器形である。沈線文によって文様が構成されている。

第3層：第288図4〜7

第288図4：口縁部は複合口縁状を呈している。胴部には撚糸文が施されている。

第288図5：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部は外傾する器形である。胴部は円筒状を呈している。

第288図6：口縁部破片である。沈線文刺突文が施されている。

第288図7：胴部破片である。隆線文、沈線文によって文様が構成されている。

第2層：第289図

第289図1：胴部破片である。結束羽状縄文の結束部が密に施されている。

第289図2〜6：頸部がゆるやかに外反し、口縁部が肥厚して外傾する器形と思われる。沈線文によって文様が構成されている。

第289図7：口縁部は直線的に外傾している。沈線文が施されている。

第1層：第290図

第290図1〜2：頸部がゆるやかに外反し、口縁部は外傾する器形と思われる。口縁部は無文で、1は頸部に横位隆帯が、2は頸部に押引き文が施されている。

第290図3〜7：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部が外傾する器形である。3〜5は口縁部に、6〜7は胴部に文様が施されるものと思われる。

第290図8〜9：頸部がゆるくくびれ、口縁部は複合口縁状を呈している。文様意匠は施されていない。

第290図10：口縁部は内弯し、キャリパー状の器形を呈するものと思われる。隆線文と押圧縄文によって文様が構成されている。

第290図11：頸部がゆるやかに外反している。押圧縄文、半截竹管によって文様が構成されている。

（21）84 列（C L84 区・CM84 区・C N84 区・C O84 区・C P84 区）

C L84 区

第 5 層：第 291 図

第 291 図 1：頸部はゆるやかに外反し、口縁部が肥厚して外傾する器形である。口縁部には円形、連続山形状の沈線文が描かれ、頸胴部は半截竹管による平行沈線文と円形貼付文が付されている。

第 5 層上面：第 292 図

第 292 図 1：胴部破片である。半截竹管による平行沈線文が施されている。

第 292 図 2：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部は外傾する器形である。沈線文によって文様が描かれている。

第 292 図 3～4：頸部がゆるい「く」字状を呈している。口縁部は横位平行押圧縄文が施されている。

第 292 図 5：浅鉢形土器である。隆線文と沈線文によって文様が構成されている。

第 4 層：第 293 図～第 296 図

第 293 図 1～3：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部はわずかに内弯しながら外傾する器形である。1 は渦巻状の貼付文を施したのちに、円圏状の沈線文が加えられている。2 は横位平行沈線文と斜位平行沈線文が口縁部に施されている。

第 294 図 1～4：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部が外傾する器形である。1～3 は平縁、4 は波状縁である。口縁部に隆線文、沈線文によって文様が構成されている。

第 294 図 5～6：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部は短く外傾し、胴部が膨む器形である。胴部に文様が構成されている。

第 295 図 1、第 296 図 1～2：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部が内弯しながら外傾するキャリパー状の器形である。口縁部に隆線文・押圧縄文によって文様が構成されている。

第 296 図 3～5：口縁部が複合口縁状を呈する器形と思われる。3～4 は口縁部に押圧縄文が施されている。

第 296 図 6：浅鉢形土器と思われる。隆線文、押圧縄文によって文様が構成されている。

第4層上面：第297図～第300図

第297図1～2：頸胴部破片である。1は半截竹管による平行沈線文、円形貼付文が付され、2は横位の平行沈線文が施されている。

第297図3：頸部が「く」字状につよくくびれ、口縁部がわずかに内弯しながら外傾する器形と思われる。半截竹管による連続刺突文が施されている。

第297図4：胴部から口縁部まで直線的に外傾する器形と思われる。口縁部には渦巻状の貼付文が施され、さらに沈線文、三角形の彫去が加えられている。

第297図5～8：頸部がゆるい「く」字状にくびれる器形と思われる。5は円形竹管文が施されている。6は渦巻状の沈線文と三角形の彫去が配されている。

第298図1～5：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部は内弯気味に外傾する器形である。隆線文と押圧縄文、あるいは押圧縄文のみによって文様が構成されている。

第298図6～9：口縁部は複合口縁状を呈している。文様意匠は施されていない。

第299図1～2、第300図1～3：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部は内弯気味に外傾する器形である。口縁部に隆線文と押圧縄文、あるいは押圧縄文のみによって文様が構成されている。

第3層：第302図1～3

第302図1～2：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部はわずかに内弯しながら外傾する器形である。1は押引き文、2は隆線文・沈線文によって文様が構成されている。

第302図3：口縁部は複合口縁状を呈している。無文である。

第3層上面：第301図、第302図4

第301図1：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部が短く外傾し、胴部が膨む器形である。胴部上半に隆線文、押圧縄文によって文様が構成されている。

第302図4：口縁部は内弯し、キャリパー状の器形である。横位の押圧縄文が口縁上部に施されている。

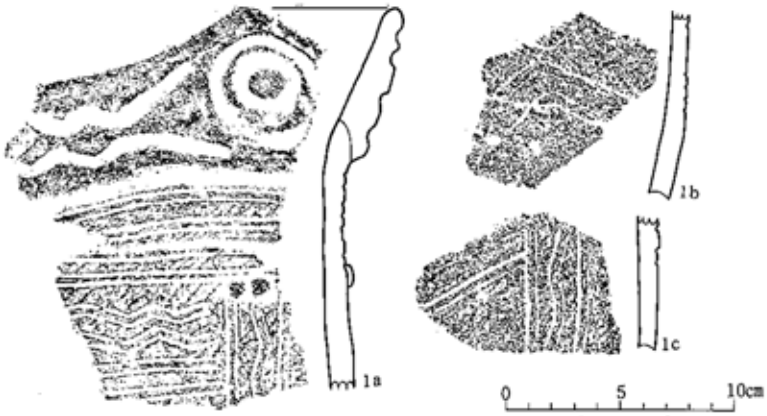
第2層：第303図

第303図1：胴部破片である。半截竹管による平行沈線文が施されている。

第303図2～3：頸部がゆるい「く」字状にくびれる器形である。文様意匠は施されていない。

第303図4：口縁部は複合口縁状を呈している。文様意匠は施されていない。

第303図5～7：口縁部破片である。隆線文が施されている。



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1ahc	CL84区・5層	深鉢・A(II)3	口縁部：波状縁，円形沈線文，連続山形状沈線文，頸部：半截竹管による横位平行沈線文，胴部：半截竹管による平行沈線文，円形貼付文，縄文（LR）	171

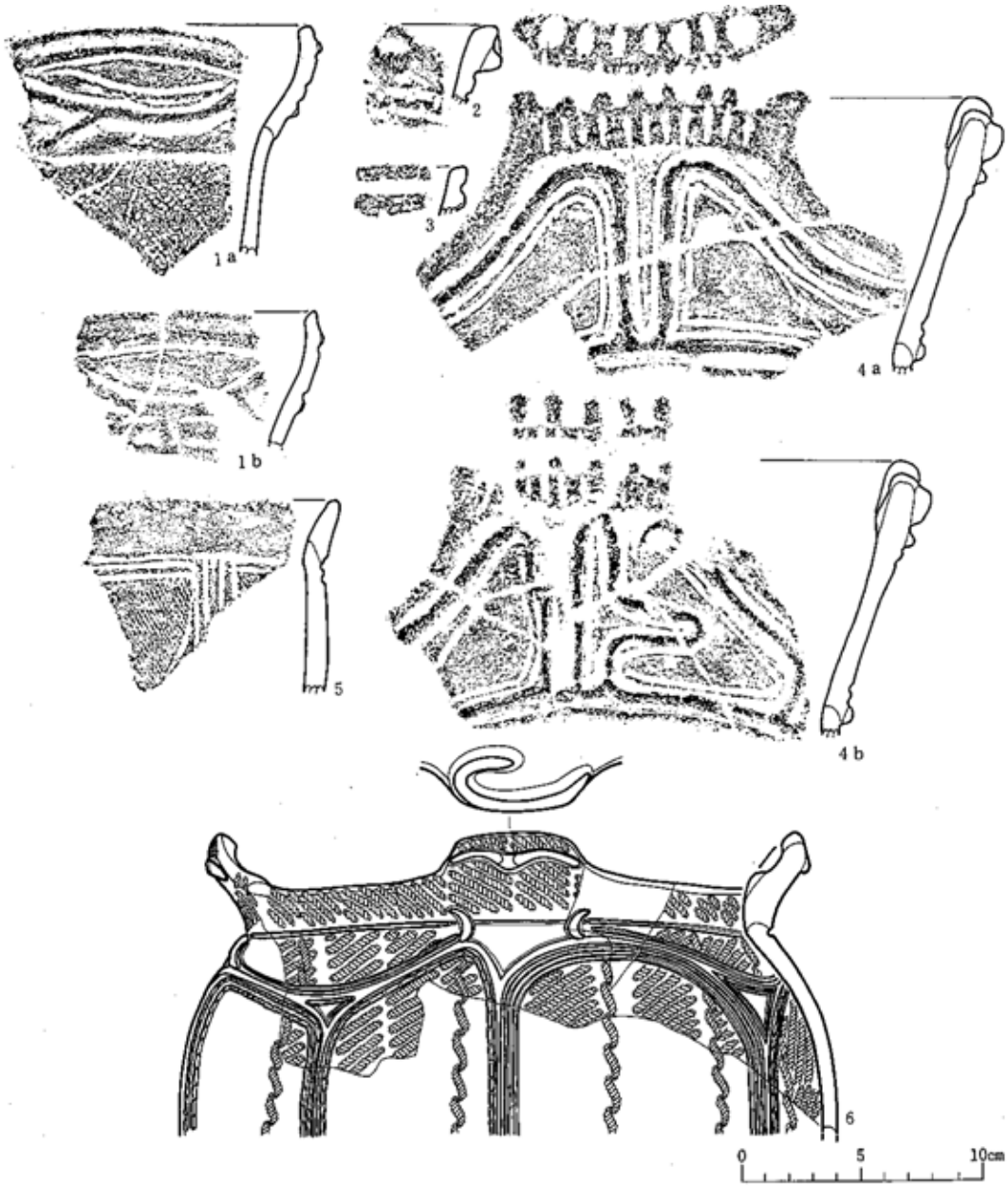
第291図　東側遺物包含層出土土器（CL84区・5層）

番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL84区・5層上面	深鉢・A－	胴部：半截竹管による平行沈線文，縄文（LR）	171
2ahc	CL84区・5層上面 CM86区・南ベルト，4層	深鉢・D(IId)1	口縁部：波状縁（2段）列・4単位，口縁に沿う沈線文，横位沈線文，円形沈線文，縄文（LR），胴部：ケヤキ形状沈線文，縄文（LR）	171
3	CL84区・5層上面	深鉢・E(I)1a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文(Lr)，胴部：縄文(Lr)結節文(片結び一組)，胎土：金雲母を多く含む	171
4	CL84区・5層上面	深鉢・E(I)1a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（Lr）	171
5	CL84区・5層上面	浅鉢・A3c	口縁部：平縁，区画連線文，横位平行押圧縄文（RL），胴部：無文	171

第292図　東側遺物包含層出土土器（CL84区・5層上面）

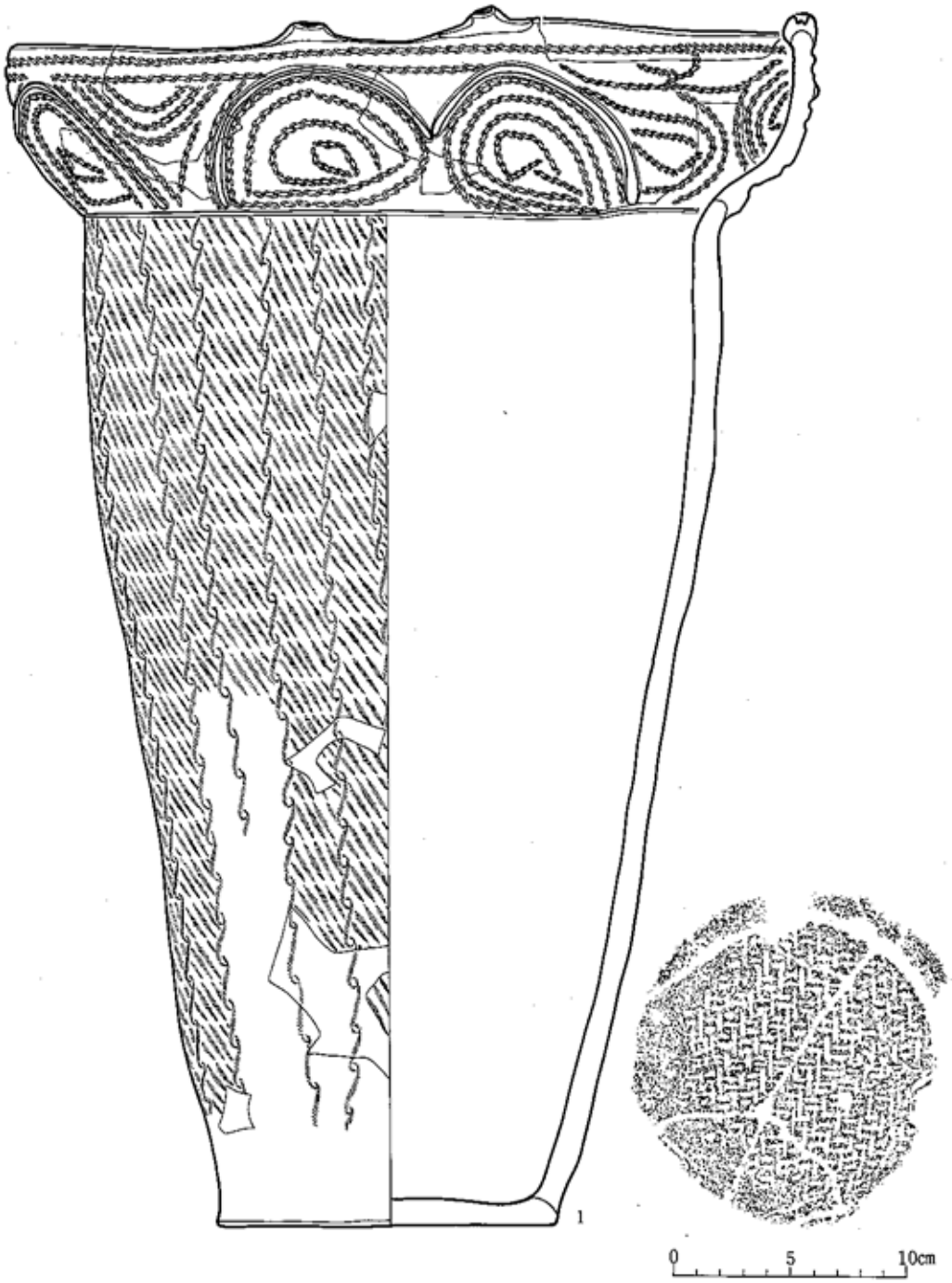
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL84区・4層	深鉢・A(II)4	口縁部：波状縁，隆帯状貼付文，口縁に沿う沈線文，円錐状沈線文，横位平行沈線文，頸部：半截竹管による横位連続渦巻文	171
2	CL84区・4層	深鉢・D(I)－	口縁部：小突起のつく平縁，横位平行沈線文，斜位平行沈線文	171
3	CL84区・4層	深鉢・W3b	口縁部：波状縁，縄文（LR）結節文（片結び一組）	171

第293図　東側遺物包含層出土土器（CL84区・4層(1)）



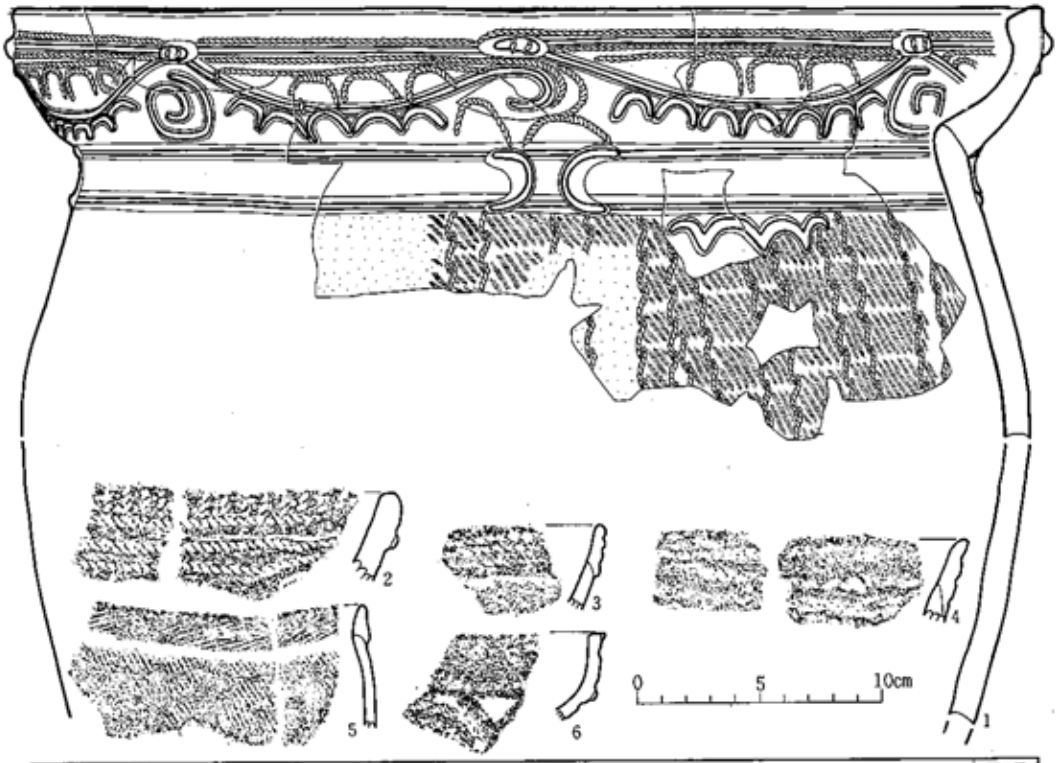
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1a,b	CL84区・4層，CN84区・4層	深鉢・D(Ⅰ)8b	口縁部：平縁，区画陸線文，陸線に沿う沈線文，胴部：縄文（LR）結節文（片結び一類）	172
2	CL84・4層	深鉢・S4a	口縁部：小突起のつく平縁，横位平行沈線文，交互刺突文	172
3	CL84・4層	深鉢・S−	口縁部：平縁，横位平行沈線文，刺突文，胎土：金雲母を多く含む	172
4a,b	CL84区・4層，CN84区・4層上面	深鉢・D(Ⅱc2)1a	口縁部：波状縁，横位粘土紐貼付文（波頂部），横位沈線文（上端），区画陸線文，陸線に沿う沈線文	172
5	CL84区・4層	深鉢・N9a	口縁部：平縁，無文，胴部：区画沈線文，弧状沈線文，縄文（Lr）	172
6	CL84区［4層［4面上面］CL85区・東ベルト1層	深鉢・N7a	口縁部：突起のつく平縁，「の」字状貼付文（突起内面），山形状小突起，縄文(RL)，胴部：馬蹄形状の弧状区画陸線文，陸線	21−1

第294図　東側遺物包含層出土土器（CL84区・4層(2)）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL84区・4層	深鉢・D(1)分	口縁部：小突起のつく平縁、波状区画隆線文、隆線に沿う押出縄文（LR）、胴部：縄文（Lr）結束文（木結び一単）、底部：縄位置（2－4d）	23－1

第295図　東側遺物包含層出土土器（CL84区・4層(3)）

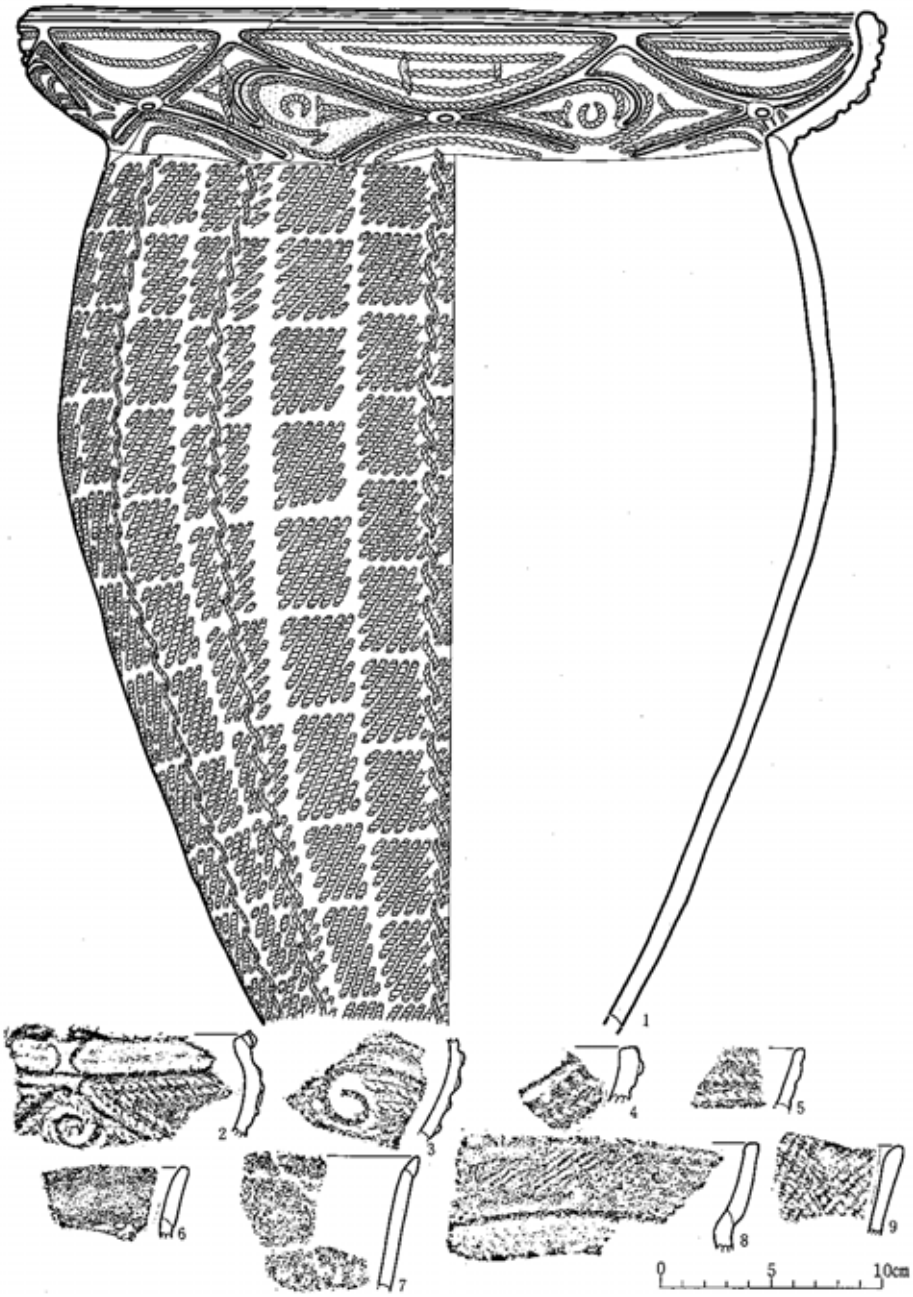


番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL84区・4層、CL85区・第ベルト1層	深鉢・E(Ⅰ)7	口縁部：平縁、水平区画隆線文、隆線に沿う押圧縄文(Lr)、連弧状押圧縄文、連弧状貼付文、頸部：「Y」字状貼付文、胴部：縄文(Lr)結節文(間隙ひろ一塗)(LR)	22－3
2	CL84区・4層、CM84区・1層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：波状縁、縦位押圧縄文(LR)(上端)、区画隆線文、隆線に沿う押圧縄文(LR)	
3	CL84区・4層	深鉢・S5a	口縁部：平縁、横位平行押圧縄文(LR)、胴部：縄文(LR)	172
4	CL84区・4層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平縁、横位平行押圧縄文(RL)、胴部：縄文(RL)	172
5	CL84区・4層	深鉢・V3	口縁部：平縁、縄文(LR)、胴部：縄文(LR)	172
6	CL84区・4層、CK84区・2層	浅鉢・E(Ⅰ)4e	口縁部：平縁、横位平行押圧縄文(RL)、胴部：「Y」字状懸垂隆線文、隆線に沿う押圧縄文(RL)	172

第296図　東側遺物包含層出土土器（CL84区・4層(4)）

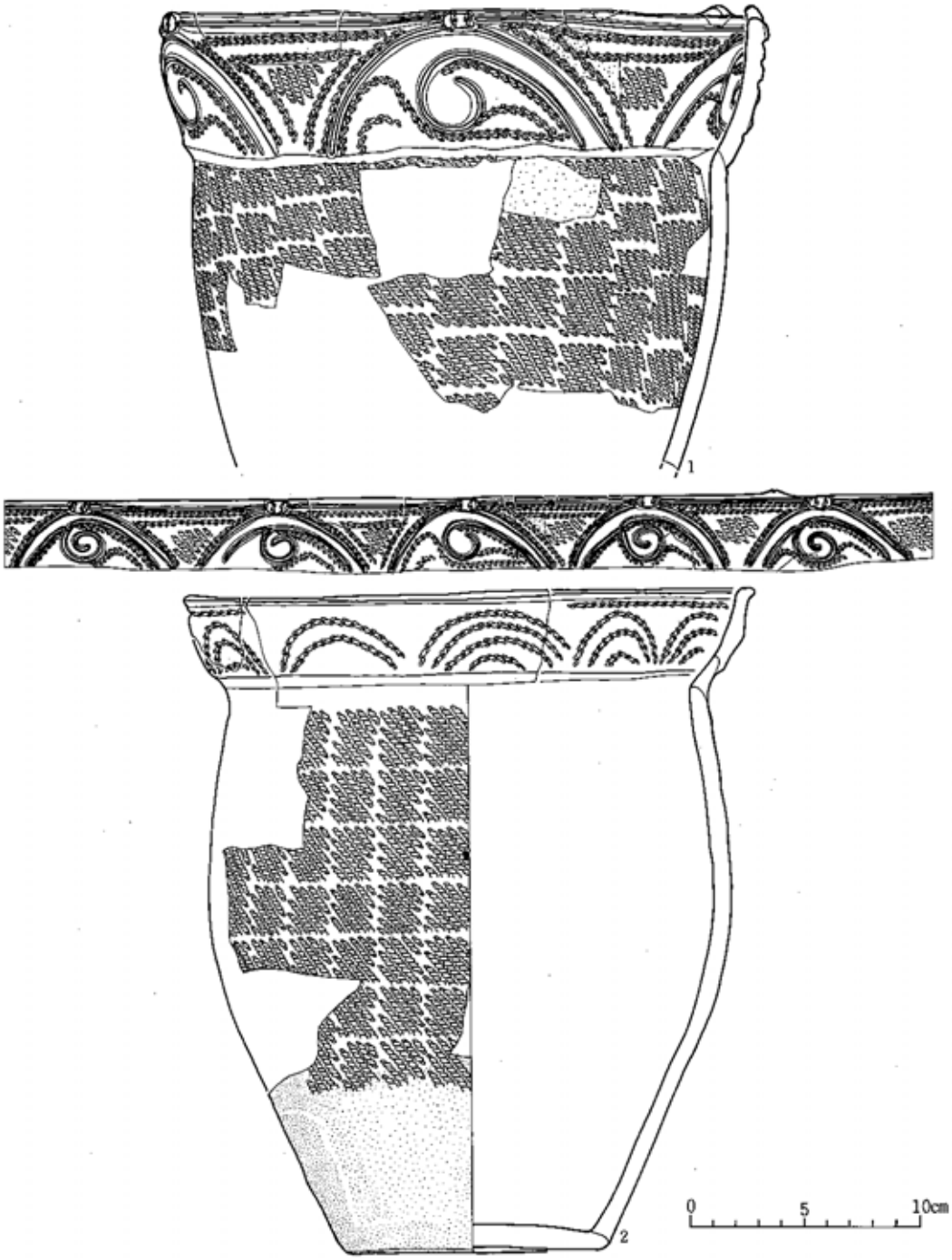
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL84区・4層上面	深鉢・A－	胴部：半截竹管による平行沈線文、円形貼付文、縄文(LR)	173
2	CL84区・4層上面	深鉢・A－	頸部：横位平行沈線文	173
3	CL84区・4層上面、CL84区・南ベルト2層、CM84区・南ベルト2層	深鉢・H4	口縁部：平縁、無文(上部)、半截竹管による連続刺突文	173
4	CL84区・4層上面	深鉢・S2	口縁部：横帯状貼付文、波沈線文、横位平行沈線文、縦位波沈線文、頸部：横位隆帯、縦位波沈線文、三角形の配置、胴部：結節文	173
5	CL84区・4層上面	深鉢・S3b	口縁部：平縁、円形竹管文	173
6	CL84区・4層上面、CP84区・3層	深鉢・N5a	口縁部：波状縁、刺目文(波頂部)、楕状帯(斜部)、縦位波沈線文(上端)、口縁に沿う沈線文、胴巻状沈線文	173
7	CL84区・4層上面	深鉢・E(Ⅱa(?))2a	口縁部：縦位貼付文、横位波沈線文(貼付文)、横位連続刺突文、縦位連続刺突文、胴部：縄文(Lr)結節文(沈線ひろ一塗)	173
8	CL84区・4層上面	深鉢・S4b	口縁部：区画沈線文、頸部：横位隆帯、縦位波沈線文、楕円形貼付文、胴部：懸垂隆線文、横位波沈線文、隆線に沿う沈線文、縄文(LR)	173

第297図　東側遺物包含層出土土器（CL84区・4層上面(1)）



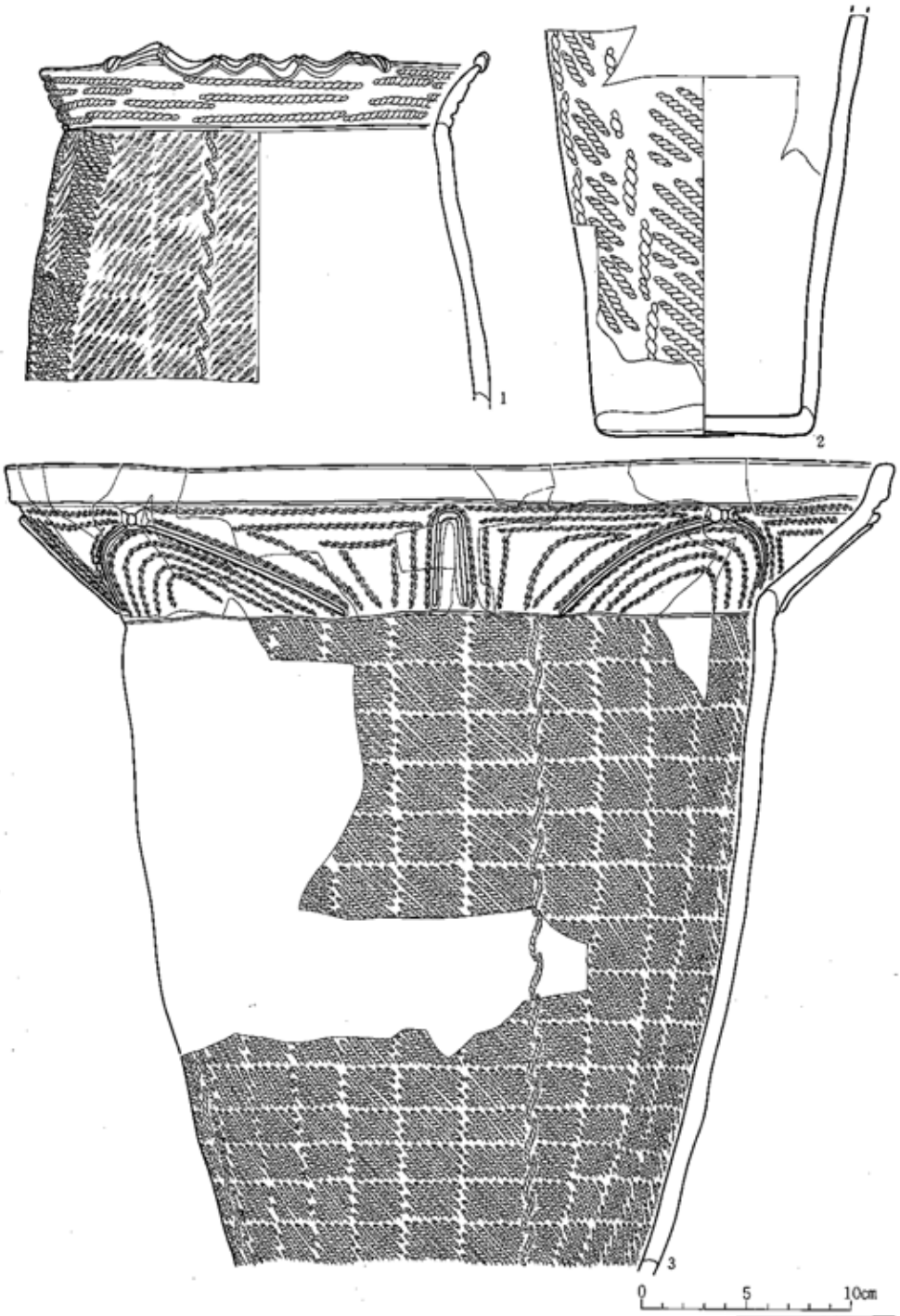
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL84区・4層上面	深鉢・E(Ⅰ)8	口縁帯：平縁，相対する波状面隆線文，渦巻状隆線文，隆線に沿う押圧縄文(LR)，三叉状押圧縄文(LR)，胴部：縄文（RL）結節文（ハ状ボー原）	24－1
2	CL84区・4層上面	深鉢・E(Ⅰ)8	口縁部：小突起のつく平縁，区画隆線文，渦巻状隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR）	173
3	CL84区・4層上面	深鉢・E(Ⅰ)8	口縁部：渦巻状隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR）	173
4	CL84区・4層上面	深鉢・D(Ⅱc2(ア))4c	口縁部：波状縁，口縁に沿う隆線文，指頭状圧痕，隆線に沿う押圧縄文（LR）	173
5	CL84区・4層上面	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（LR）	173
6	CL84区・4層上面	深鉢・W5	口縁部：平縁，無文	173
7	CL84区・4層上面	深鉢・S11a	口縁部：平縁，無文，胴部：無文	173
8	CL84区・4層上面	深鉢・W3b	口縁部：平縁，縄文（LR），胴部：縄文（LR）	173
9	CL84区・4層上面	深鉢・S20a	口縁部：平縁，縄文（LR），胎土：金雲母を多く含む	173

第298図　東側遺物包含層出土土器（CL84区・4層上面(2)）



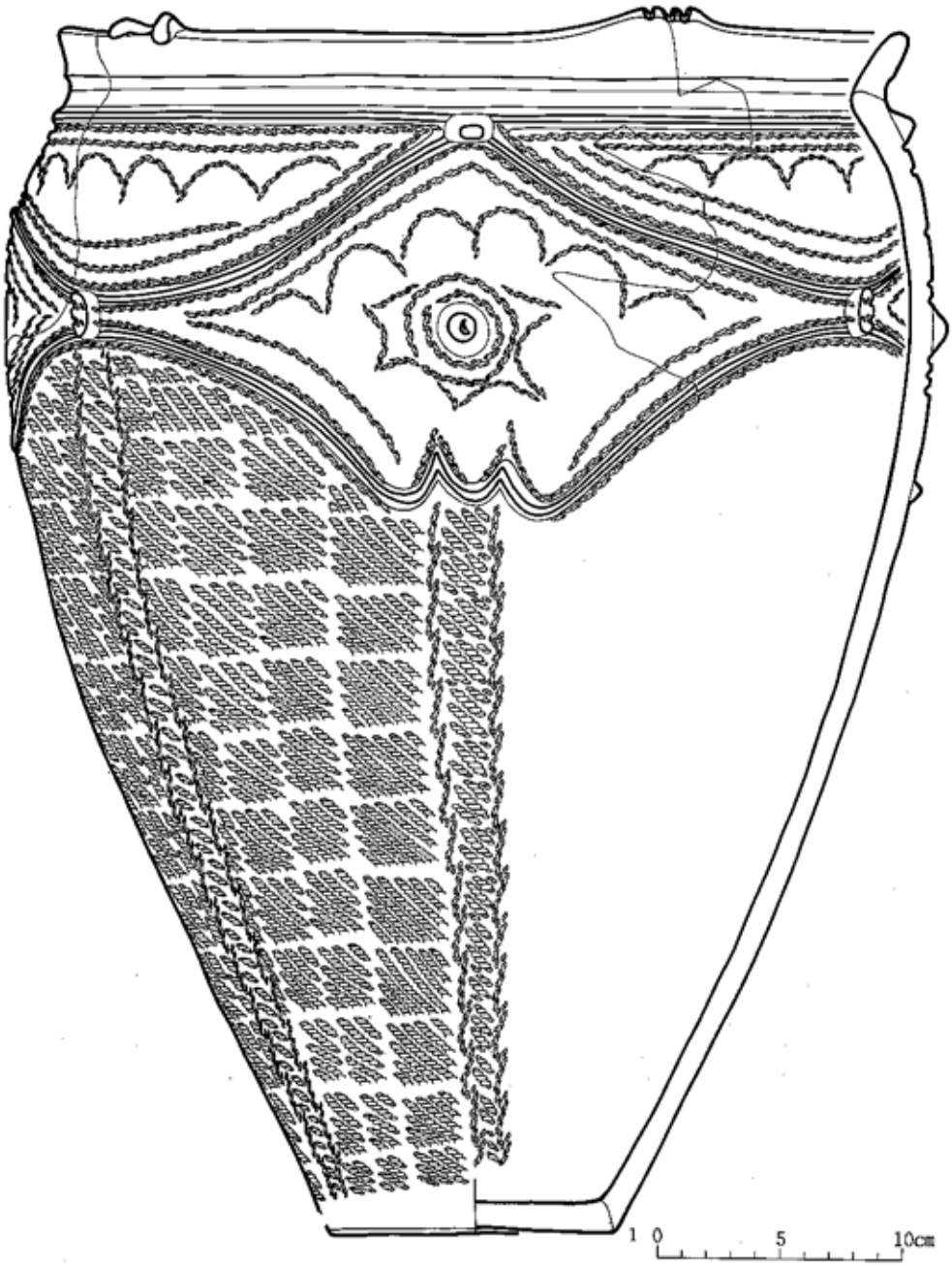
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL84区・4層上面	深鉢・D(Ⅰ)8C	口縁部：小突起のつく平縁、波状区画隆線文、渦巻状隆線文、隆線にのう押圧縁文（LR）、楕円形結付文、縄文（LR）、胴部：縄文（LR）	21－2
2	CL84区・4層上面	深鉢・E(Ⅰ)6	口縁部：平縁、逆弧状押圧縄文（LR）、胴部：縄文（LR）、底部：（摩滅）	27－1

第299図　東側遺物包含層出土土器（CL84区・4層上面(3)）



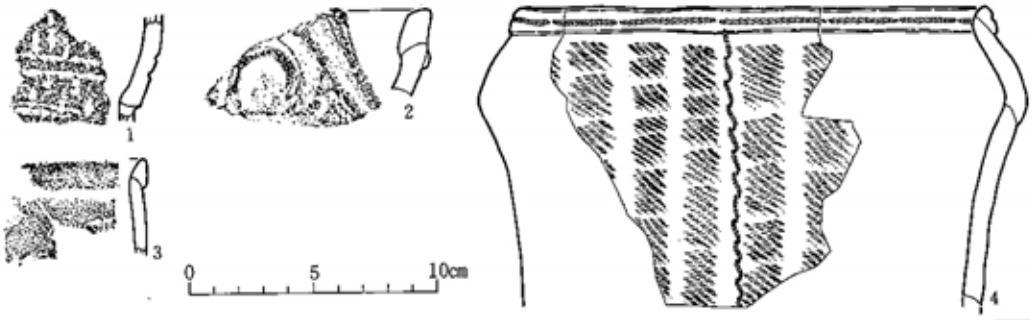
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL84区・4層上面	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：小波状部のある平縁、縦位押圧縄文(LR)（波頂部）、横位平行押圧縄文（LR）、胴部：縄文（LR、LR）結節文（片結び一原）	25−1
2	CL84区・4層上面	深鉢・−	胴部：縄文（LR）結節文（片結び一原）、底部：網代底	
3	CL84区・4層・4層上面、CL84区・25ベルト上層	深鉢・D(Ⅰ)7	口縁部：平縁、区画隆線文、隆線に沿う押圧縄文（LR）、胴部：縄文（LR）結節文（片結び一原）	25−4

第300図　東側遺物包含層出土土器（CL84区・4層上面(4)）



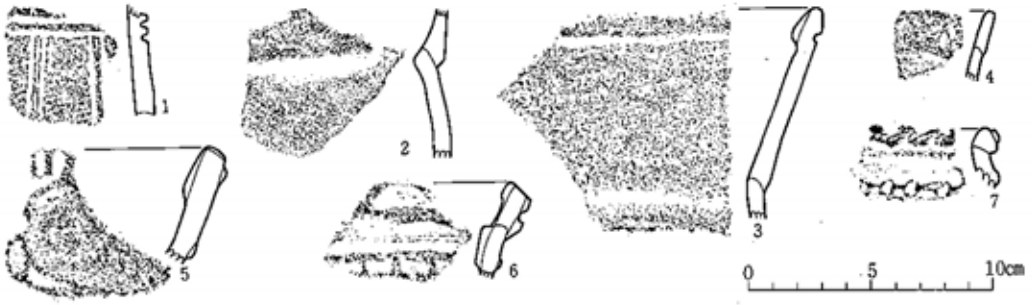
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL84区・3層上面、CK81区・1層	深鉢・N8	口縁部：小突起のつく平縁、無文、胴部：弧状区画縄文、円形貼付文、隆線に沿う种淀縄文(LR)、連弧波状沈線縄文（LR）、縄文（LR）、結節文（羽結び一類）	26－1

第301図　東側遺物包含層出土土器（CL84区・3層上面(1)）



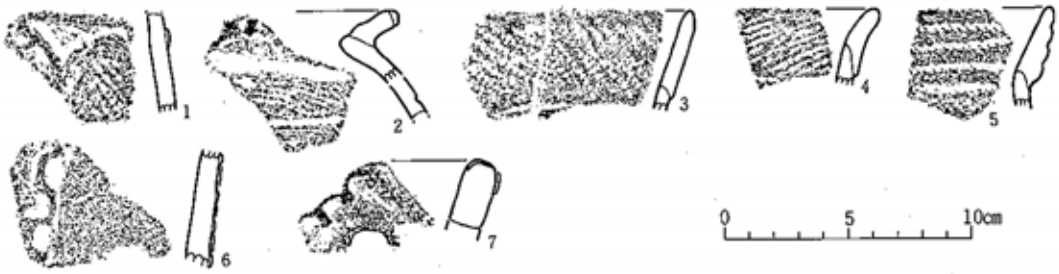
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL84区・3層	深鉢・D(Ⅰ)d	口縁部；横位平行押引き文，交互押引き文	174
2	CL84区・3層	深鉢・D(Ⅱc2)1a	口縁部；波状縁，区画隆線文，隆線に沿う沈線文，隆線に沿う押圧縄文（RL）	174
3	CL84区・3層	深鉢・W5	口縁部；平縁，無文，胴部；無文	174
4	CL84区・3層上面，CL84区・第ベルト1層	深鉢・L9	口縁部；平縁，横位押圧縄文（Lr），胴部；縄文（Lr）結節文（閉結び一類）	

第302図　東側遺物包含層出土土器（CL84区・3層・3層上面(2)）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL84区・2層	深鉢・L3	胴部；半截竹管による平行沈線文，縄文（LR）	174
2	CL84区・2層	深鉢・V3	口縁部；縄文（RL），胴部；縄文（RL）結節文（片結び一類）	174
3	CL84区・2層	深鉢・W－	口縁部；波状縁，口縁に沿う沈線文（単線）	174
4	CL84区・2層	深鉢・S10b	口縁部；平縁，縄文（Rℓ），胴部；縄文（Rℓ）	174
5	CL84区・2層	深鉢・D(Ⅱc2)1a	口縁部；波状縁，刻目文（波頂部），区画隆線文	174
6	CL84区・2層	深鉢・S－	口縁部；波状縁，区画隆線文，粘土紐貼付文	174
7	CL84区・2層	深鉢・D(Ⅰ)5b(？)	口縁部；平縁，波状粘土紐貼付文（上端），縄文（LR）（貼付文），横位隆線文，縦位押圧縄文（LR）	174

第303図　東側遺物包含層出土土器（CL84区・2層）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL84区・1層	深鉢・N9a	胴部；「Y」字状懸垂隆線文，縄文（LR）	174
2	CL84区・1層	深鉢・N－	口縁部；平縁，波状粘土紐貼付文（上端），胴部；横位沈線文，縄文（RL）	174
3	CL84区・1層	深鉢・W3b	口縁部；平縁，縄文（RL）	174
4	CL84区・1層	深鉢・W3b	口縁部；平縁，縄文（Lr）	174
5	CL84区・1層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部；平縁，横位平行押圧縄文（Lr），胴部；縄文（LR）結節文（片結び一類）	174
6	CL84区・1層	深鉢・－	胴部；懸垂隆線文，隆線状圧痕，縄文（RL）	174
7	CL84区・1層	深鉢・－	口縁部；波状縁，縦位押圧縄文（Lr）（波頂部），連弧状貼付文，円孔	174

第304図　東側遺物包含層出土土器（CL84区・1層）

第1層：第304図

第304図1：胴部破片である。懸垂隆線文が施されている。

第304図2：頸部がつよく「く」字状にくびれ、口縁部は短く外傾し、胴部が膨む器形である。胴部には沈線文が施されている。

第304図3〜4：頸部がゆるい「く」字状にくびれる器形である。文様意匠は施されていない。

第304図5：頸部がゆるい「く」字状にくびれている。口縁部には横位押圧縄文が施されている。

第304図6：胴部破片である。懸垂隆線文が付されている。

第304図7：口縁部破片である。口縁部には連弧状貼付文と円孔が配されている。

（ＣＬ84区ベルト）

第4層：第305図

第305図1：頸部がゆるやかに外反し、口縁部が肥厚して外傾する器形である。

第305図2：頸胴部破片である。頸部隆帯には連続して刺突文が施されている。

第3層：第306図

第306図1：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部はわずかに内弯しながら外傾する器形と思われる波頂部には縦位に粘土紐が連続して貼付されている。

第306図2：胴部破片である。隆線文、沈線文、交互刺突文によって文様が構成されている。

第306図3：口縁部破片である。無文である。

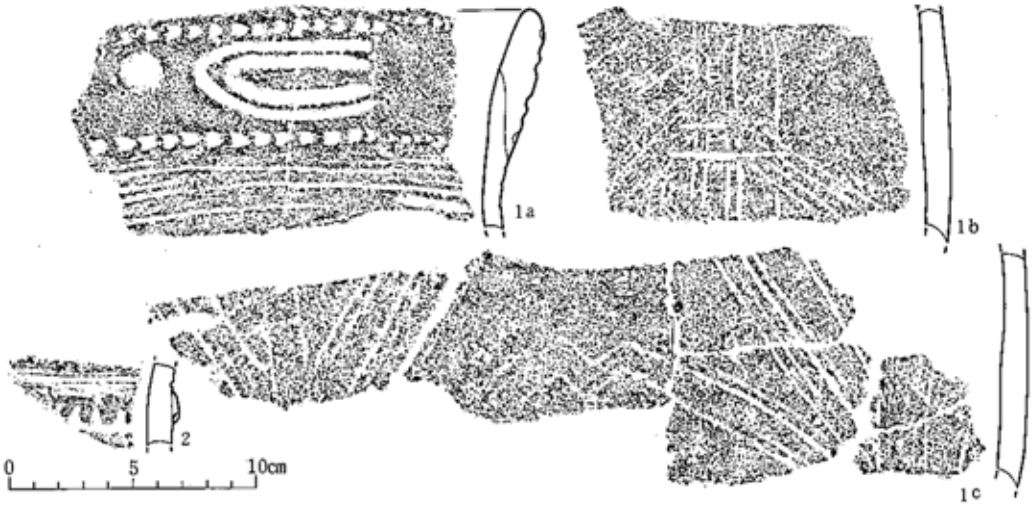
第2層：第307図〜第308図

第307図1：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部はわずかに内弯しながら外傾する器形と思われる。細い粘土紐によって文様が構成され、半截竹管による押引き文が加えられている。

第307図2：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部がゆるやかに外反する器形と思われる。半截竹管による平行沈線文・押引き文が口縁部に施されている。

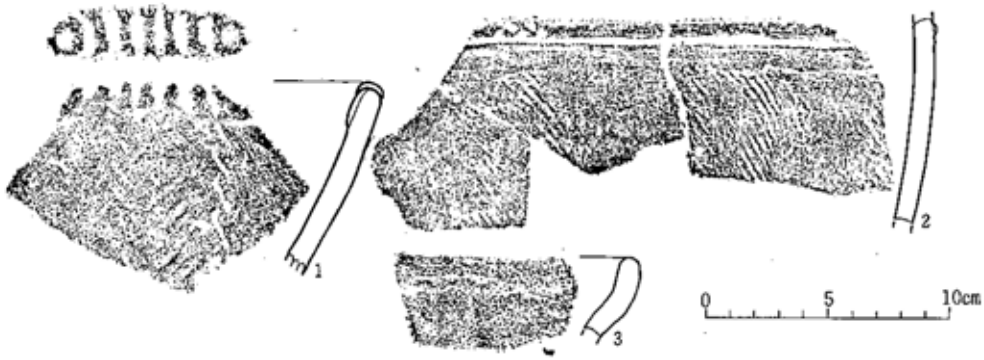
第307図3：頸部が「く」字状にくびれ、橋状把手が付されていたものと思われる。隆線文、押引き文によって文様が成されている。

第308図1〜3：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部が外傾する器形と思われる。1〜2は隆線文と沈線文によって、3は沈線文によって文様が構成されている。



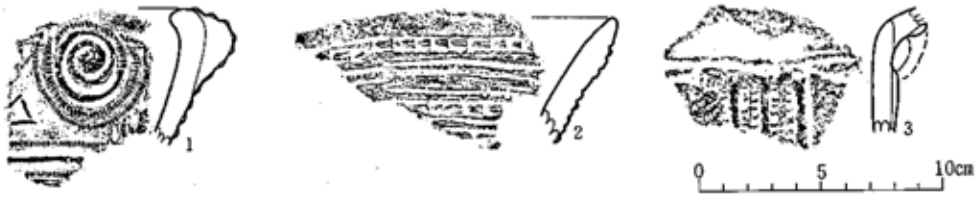
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1a,b,c	CL84区・ベルト4層 CL84区・西ベルト2層 CL84区・南ベルト1層	深鉢・A(Ⅰ)1b	口縁部：平縁，縦位貼付文，円形の盲孔，弧状沈線文，横位連続刺突文，頸部：半截竹管による横位平行沈線文，胴部：半截竹管による平行沈線文，横位沈線文，縄文（LR）	175
2	CL84区・西ベルト4層	深鉢・S2	口縁部：横位沈線文，頸部：横位隆帯，縦位刺突文	175

第305図　東側遺物包含層出土土器（CL84区・ベルト4層）



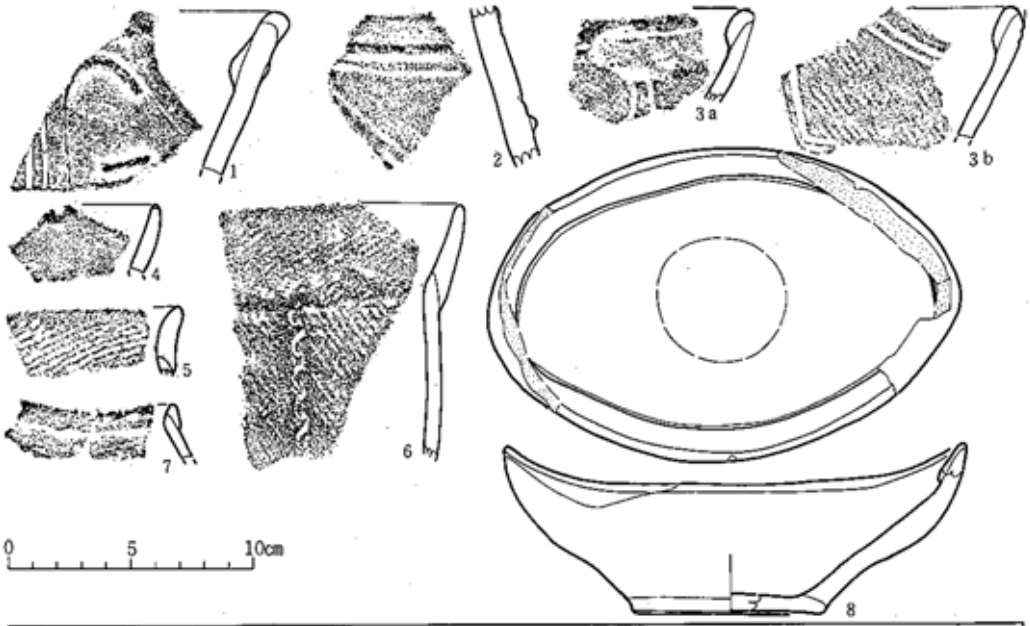
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL84区・西ベルト3層	深鉢・D(Ⅱc2)5	口縁部：波状縁，縦位粘土紐貼付文（波頂部），縄文（RL）結節文（片結び一環）	175
2	CL84区・西ベルト3層	深鉢・N5a	頸部：横位隆線文，横位沈線文，交互刺突文，縄文（Lr）結節文（両結び一環）	175
3	CL84区・西ベルト3層	深鉢・W5	口縁部：平縁，無文	175

第306図　東側遺物包含層出土土器（CL84区・ベルト3層）



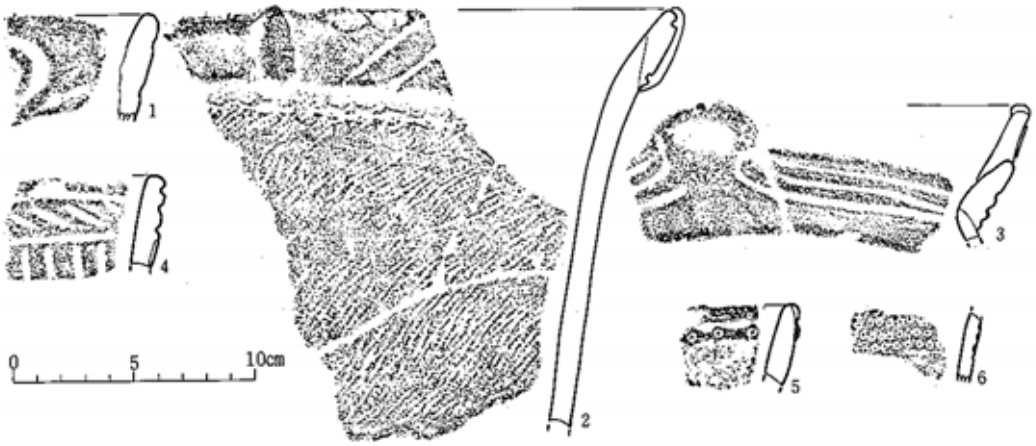
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL84区・南ベルト2層	深鉢・H2b	口縁部：平縁，渦巻状粘土紐貼付文，横位粘土紐貼付文，半截竹管による押引き文	175
2	CL84区・西ベルト2層	深鉢・N2	口縁部：平縁，半截竹管による横位平行沈線文，半截竹管による横位押引き文	175
3	CL84区・西ベルト2層	深鉢・S4a	頸部：横状把手（剥落），胴部：懸垂隆線文，区画押引き文，縄文（LR）	175

第307図　東側遺物包含層出土土器（CL84区・ベルト2層(1)）



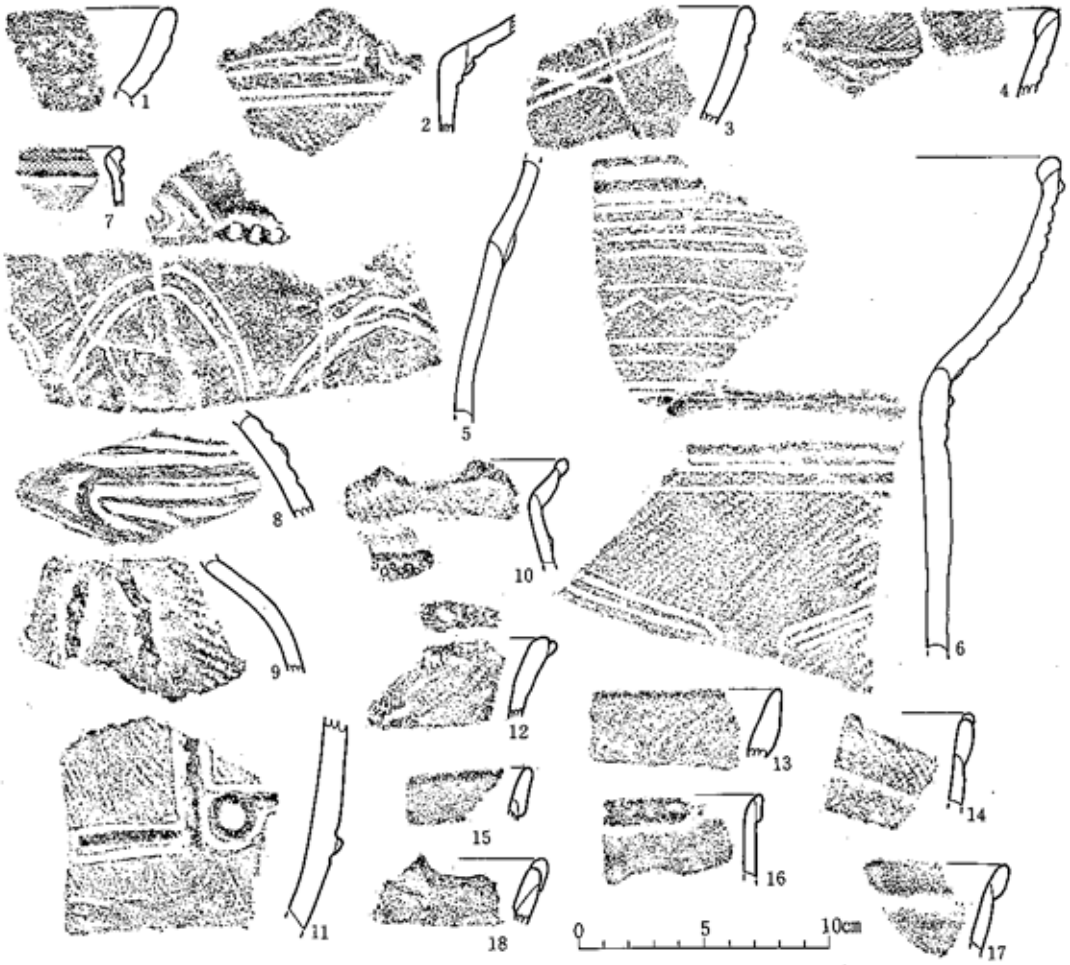
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL84区・西ベルト2層	深鉢・D(IIc2)1a	口縁部：波状線，区画隆線文，隆線に沿う沈線文	176
2	CL84区・西ベルト2層	深鉢・J1a	胴部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文	176
3a,b	CL84区・西ベルト2層 西ベルト1層	深鉢・D(IIc2)1a	口縁部：波状線，区画沈線文，縄文（LR）	176
4	CL84区・西ベルト2層	深鉢・V4	口縁部：波状線，無文	176
5	CL84区・西ベルト2層	深鉢・W3b	口縁部：平線，縄文（Lr）	176
6	CL84区・西ベルト2層	深鉢・W3b	口縁部：平線，縄文（LR），胴部：縄文（LR）結節文（片結び一類）	176
7	CL84区・西ベルト2層	鉢・一(?)	口縁部：平線，無文，胴部：無文	176
8	CL84区・西ベルト2層， CL84区・南ベルト2層	浅鉢・B4	口縁部：平線，無文，胴部：無文，底部：網代痕	25－3

第308図　東側遺物包含層出土土器（ＣＬ84区・ベルト２層(2)）



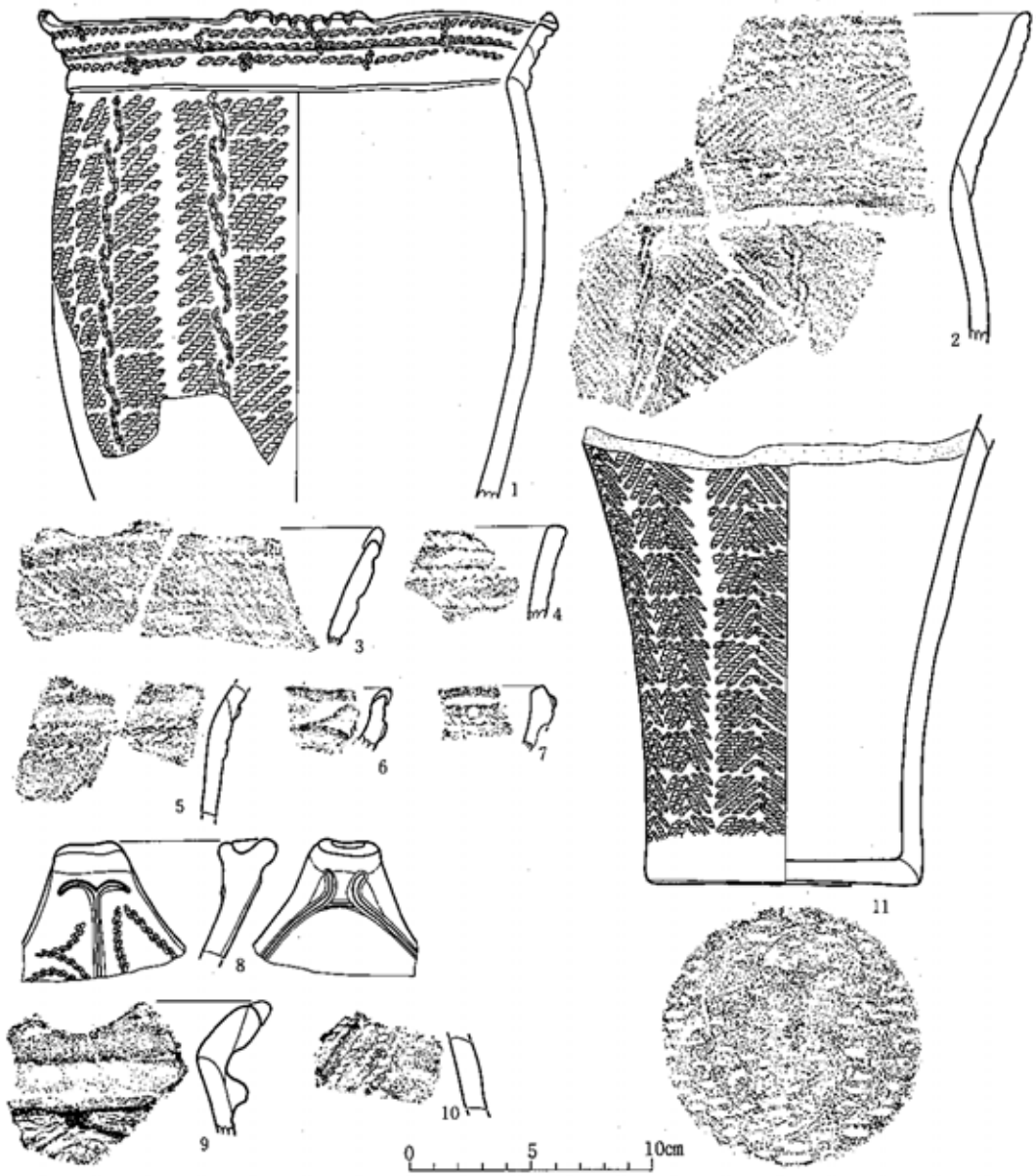
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL84区・西ベルト1層	深鉢・A(II)3	口縁部：波状線，巻貝状沈線文，横位沈線文	176
2	CL84区・南ベルト1層	深鉢・S1	口縁部：平線，縦位結付文，山形状沈線文，胴部：縄文（LLR #）結節文（片結び一類）	176
3	CL84区・西ベルト1層， CM85区・西ベルト1層	深鉢・N5a	口縁部：突起のつく平線，円形の盲孔（突起），横位平行沈線文	176
4	CM85区・南ベルト1層	深鉢・S2	口縁部：平線，横位平行沈線文，斜位沈線文，縦位沈線文	176
5	CL84区・西ベルト1層	深鉢・D(I)1d	口縁部：平線，横位沈線文，円形竹管文	176
6	CL84区・西ベルト1層	深鉢・E(IIa(?))2a	胴部：横位沈線文，円形竹管文	176

第309図　東側遺物包含層出土土器（CL84区・ベルト１層(1)）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL84区・北ベルト1層	深鉢・D(Ⅰ)1d	口縁部：平縁，横位平行沈線文，交互刺突文	176
2	CL84区・北ベルト1層	深鉢・D(Ⅱc2(？))1a	口縁部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文，胴部：縄文（LR）	176
3	CL84区・西ベルト1層	深鉢・D(Ⅱc2(？))1a	口縁部：波状縁，口縁に沿う平行沈線文，縄文（LR）	176
4	CL84区・南ベルト1層	深鉢・D(Ⅰ)6b	口縁部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（LR）	176
5	CL84区・南ベルト1層 CL85区・西ベルト2層	深鉢・D(Ⅱc2(？))1a	口縁部：区画押引き文，刻目のつく楕円形貼付文	185
6	CL84区・西ベルト1層	深鉢・D(Ⅰ)1c	口縁部：平縁，横位隆線文，横位平行沈線文，磨消状沈線文，縄文（RL），胴部：横位隆線文，横位平行沈線文，弧状沈線文，縄文（RL）	185
7	CL84区・ベルト1層	鉢(？)・A－	口縁部：平縁，横位平行沈線文（朱塗り），胴部：無文	176
8	CL84区・西ベルト1層	深鉢・N5a	胴部：相対する半円形区画隆線文，隆線に沿う沈線文	185
9	CL84区・南ベルト1層	深鉢・N7a	胴部：「∩」字状貼付文，縄文（LR）	185
10	CL84区・西ベルト1層	深鉢・N5a	口縁部：小波状縁，縄文（RL），胴部：区画隆線文，横位平行沈線文，交互刺突文	185
11	CL84区・西ベルト1層	深鉢・－	胴部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文，円環状貼付文，縄文（LR）	185
12	CL84区・南ベルト1層	深鉢・W3b	口縁部：波状縁，円環状貼付文（波頂部），縄文（RL）	185
13	CL84区・西ベルト1層	深鉢・W3b	口縁部：平縁，縄文（LR）	185
14	CL84区・西ベルト1層	深鉢・S10b	口縁部：小突起のつく平縁，縄文（RL），胴部：縄文（RL）	185
15	CL84区・南ベルト1層	深鉢・S11a	口縁部：平縁，無文	185
16	CL84区・西ベルト1層	浅鉢・S11a	口縁部：平縁，無文，胴部：無文	185
17	CL84区・西ベルト1層	深鉢・S11a	口縁部：平縁，無文，胴部：無文	185
18	CL84区・南ベルト1層	深鉢・S11a	口縁部：小突起のつく平縁，無文	185

第310図　東側遺物包含層出土土器（CL84区・ベルト1層(2)）



番号	地区・層位	器形・分類	文　様　の　特　徴	図　版
1	CL84区・北ベルト1層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：突起のつく平縁，縦位押圧縄文（RL）（突起上端），横位押圧縄文(RL)，胴部：縄文(RL) 結節文（間結び一段）	27－2
2	CL84区・南ベルト1層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位押圧縄文（LR），縄文（LR），胴部：縄文（LR）結節文（片結び一段）	186
3	CL84区・南ベルト1層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：小突起のつく平縁，横位押圧縄文（LR），縄文（LR）	186
4	CL84区・北ベルト1層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位押圧縄文（LR）	186
5	CL84区・南ベルト1層	深鉢・D－(？)	口縁部：横位押圧縄文（RL），胴部：横位押圧縄文（RL）（上部），縄文（RL）	186
6	CL84区・南ベルト1層	深鉢・D(Ⅰ)－	口縁部：小突起のつく平縁，縦位押圧縄文(LR)（突起上端），相対する半円形区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR）	186
7	CL84区・北ベルト1層	深鉢・D(Ⅰ)－	口縁部：平縁，横位隆線文，指頭状圧痕，横位押圧縄文（LR）	186
8	CL84区・ベルト1層	深鉢・D(Ⅱc2)1b	口縁部：波状縁，円盤状貼付文（波頂部），「ｘ」字状隆線文（円周），区画隆線文，押圧縄文（LR）	186
9	CL84区・ベルト1層	深鉢・N5a	口縁部：小突起のつく平縁，無文，胴部：区画隆線文，楕円形貼付文，隆線に沿う押圧縄文（LR）	186
10	CL84区・北ベルト1層	深鉢・J16	胴部：区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR）	186
11	CL84区・南ベルト1層	深鉢・－	胴部：結束（第1種）羽状縄文（RL×LR），底部：網代痕（2－4）	

第311図　東側遺物包含層出土土器（CL84区・ベルト1層(3)）

第 308 図 4〜7：頸部がゆるくくびれ、口縁部は短く外傾している。文様意匠は施されていない。

第 308 図 8：無文の浅鉢形土器である。上面観は楕円形を呈している。

第 1 層：第 309 図〜第 311 図

第 309 図 1〜2：頸部がゆるやかに外反し、口縁部は肥厚して外傾する器形である。口縁部に文様が構成されている。

第 309 図 3：頸部が「く」字状につよくくびれ、口縁部は外傾する器形である。突起には円形の盲孔が加えられている。

第 309 図 4〜5：口縁部は外傾している。4 は沈線文によって、5 は沈線文と刺突文によって文様が構成されている。

第 309 図 6：胴部破片である。刺突文と沈線文が施されている。

第 310 図 1〜6：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部は内弯しながら外傾する器形である。隆線文、沈線文によって文様が構成されている。

第 310 図 7：鉢形土器と思われる。複合口縁部には沈線文の施された後に朱が塗られている。

第 310 図 8〜11：頸部が「く」字状にくびれ、胴部の膨む器形と思われる。隆線文、沈線文によって文様が構成されている。

第 310 図 12〜18：口縁部が複合口縁状を呈している。文様意匠は施されていない。

第 311 図 1〜5：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部は外傾する器形である。横位平行押圧縄文が口縁部に施されている。

第 311 図 6〜8：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部は外傾する器形である。口縁部に隆線文、押圧縄文によって文様が構成されている。

第 311 図 9〜10：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部は短く外傾し、胴部が膨む器形と思われる。胴部に隆線文、押圧縄文によって文様が構成されている。

第 311 図 11：胴部がゆるやかに外傾する器形である。底面には網代痕が残されている。

C M84 区

第 5 層：第 312 図

第 312 図 1〜3：頸部がゆるやかに外反し、口縁部は肥厚して外傾する器形である。1 は口頸部に沈線文が施されている。

第 312 図 4：口縁部破片である。半截竹管による押引き文が施されている。

第5層上面：第313図～第315図

第313図1～3：頸部がゆるやかに外反し、口縁部が外傾する器形である。2、3の口縁部は半截竹管による平行沈線文が施されている。

第313図4：頸部が「く」字状につよくくびれ、口縁部は短く外傾する器形である。細い粘土紐によって文様が構成され、半截竹管による押引き文が加えられている。

第313図5：頸部がつよく外反する器形である。口縁上端には刻目文が施されている。

第314図1：頸部で外側に折れ曲がり、口縁下部が膨む器形である。胴部はゆるやかに外反している。半截竹管による平行沈線文・連続刺突文によって文様が構成されている。

第314図2：口縁部破片である。波底部の貼付文は剥落している。

第314図3：胴部破片である。隆線文・沈線文によって文様が構成されている。

第314図4～8：口縁部が複合口縁状を呈する器形と思われる。文様意匠は施されていない。

第315図1～6：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部は内弯しながら外傾する器形である。口縁部には、隆線文・押圧縄文によって文様が構成されている。

第315図7～8：口縁部が複合口縁状を呈する器形と思われる。無文である。

第4層：第316図

第316図1～5：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部が外傾する器形と思われる。隆線文や沈線文によって文様が構成されている。

第316図6：口縁部は外傾している。胴部には沈線文が描かれている。

第316図7～10：口縁部は複合口縁状を呈する器形と思われる。文様意匠は施されていない。

第316図11～12：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部が外傾する器形と思われる。横位押圧縄文が施されている。

第316図13～14：頸部が「く」字状につよくくびれる器形と思われる。13は口縁に沿って平行沈線文が施されている。14は押圧縄文が施されている。

第316図15～16：口縁部は外傾している。「の」字状貼付文が付されている。

第316図17：浅鉢形土器と思われる。押圧縄文が施されている。

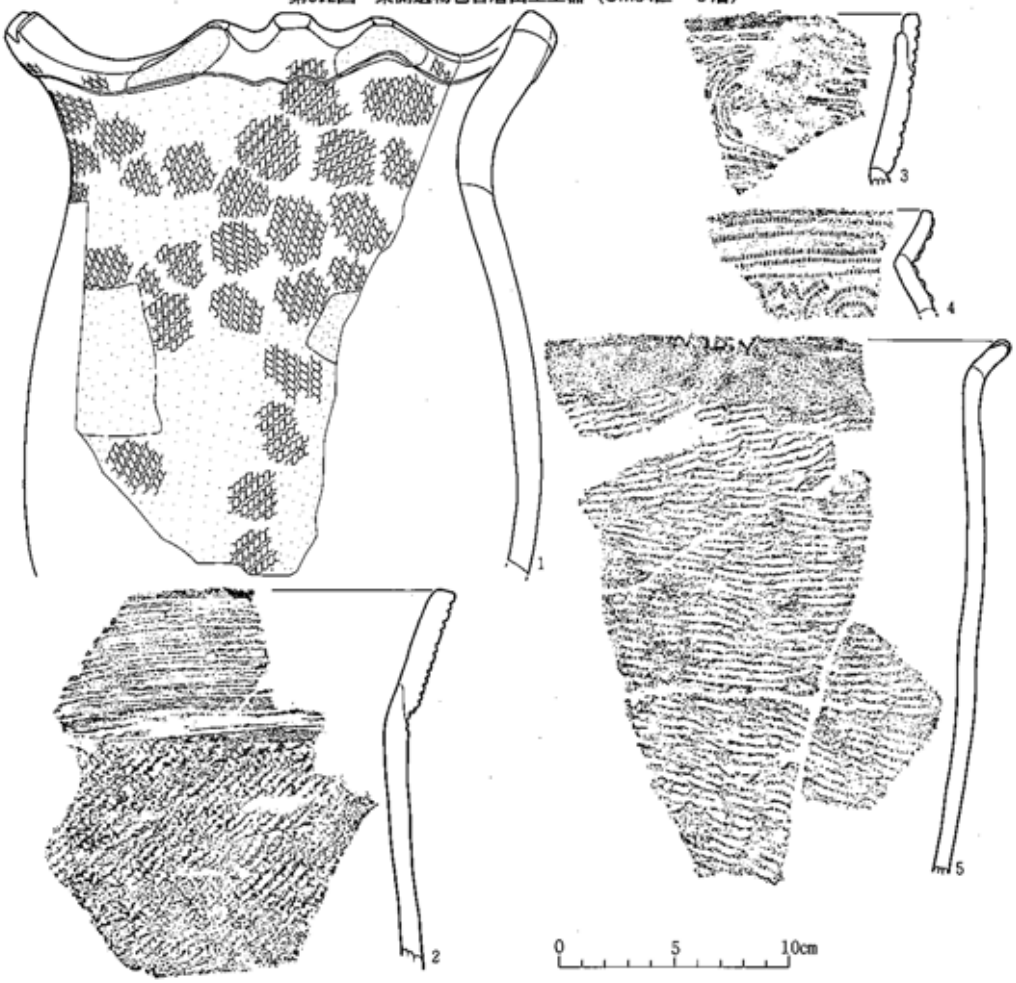
第4層上面：第317図～第318図1

第317図1～2：頸部がゆるく外反し、口縁部が肥厚して外傾する器形と思われる。1は半截竹管による平行沈線文によって文様が描かれている。

第317図3：頸部がゆるく外反し、口縁部が肥厚して短く外傾する器形である。胴部は膨んでいる。胴上部には半截竹管による平行沈線文によって、文様が描かれている。

番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM84区・5層	深鉢・A(II)3	口縁部：波状縁，弧状沈線文，口縁に沿う沈線文，胴部：半截竹管による横位平行沈線文	183
2	CM84区・5層	深鉢・S9b	口縁部：小波状部のある平縁，胴部：縄文（LR），砂土：金雲母を多く含む	183
3	CM84区・5層	深鉢・S9b	口縁部：平縁，胴部：縄文（LR）	183
4	CM84区・5層	深鉢・H4	口縁部：小突起のつく平縁，半截竹管による押引き文	183

第312図　東側遺物包含層出土土器（CM84区・５層）

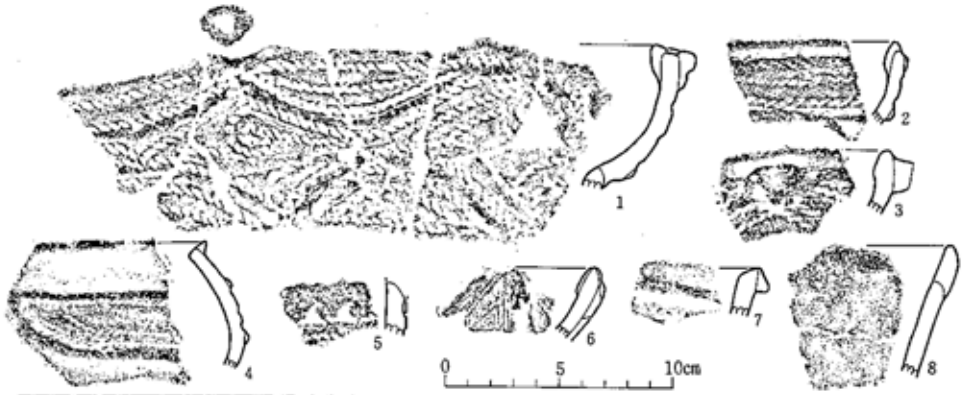


番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM84区・5層上面，CL83区・[illegible]層	深鉢・A(II)9b	口縁部：波状縁，胴部：縄文（LR）	28－1
2	CM84区・5層上面	深鉢・D(I)1a	口縁部：平縁，半截竹管による横位平行沈線文，胴部：縄文（LR）	183
3	CM84区・5層上面	深鉢・D(I)－	口縁部：平縁，半截竹管による平行沈線文（剥落）	183
4	CM84区・5層上面	深鉢・H2a	口縁部：平縁，横位平行粘土紐貼付文・半截竹管による押引き文，胴部：縦長状粘土紐貼付文，縦長状粘土紐貼付文・半截竹管による押引き文	183
5	CM84区・5層上面，CM84区・南ベルト3層，CL84区・南ベルト1層，CL・CM84区・南ベルト2層	深鉢・A(I)5a	口縁部：平縁，刻目文（上端），胴部：縄文（Lr）	183

第313図　東側遺物包含層出土土器（CM84区・５層上面(1)）

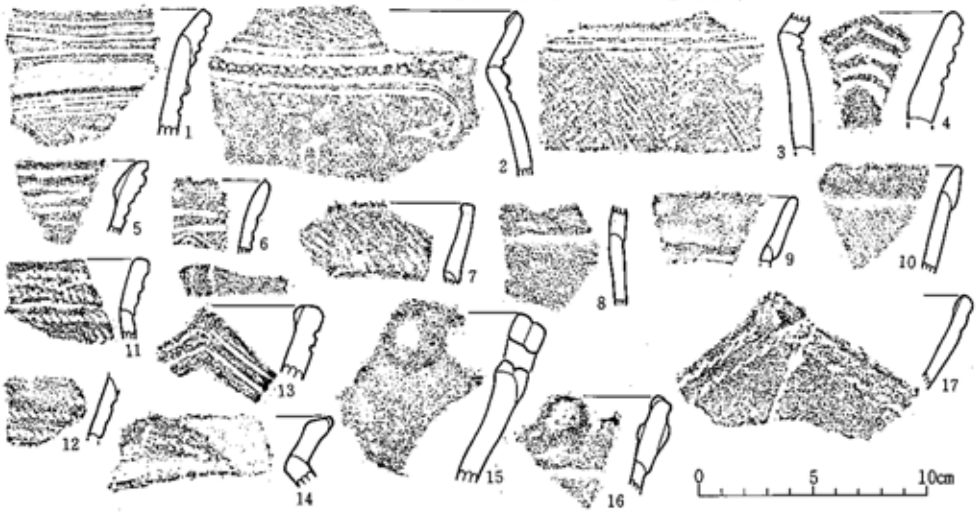
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1a,b	CM84区・5層上面、CM84区・4層上面、CM85区・4層、CL85区・西ベルト2層	深鉢・K3b	口縁部：波状縁、平截竹管による刺突文（上端）、平截竹管による平行沈線文・連続刺突文、円環状貼付文　胴部：平截竹管による平行沈線文、縦位細沈線文、底部：輪状底底(L)	27－3
2	CM84区・5層上面	深鉢・W3b	口縁部：波状縁、貼付文（剥落）、縄文（RL）	184
3	CM84区・5層上面、CM84区・4層、CM84区・4層上面、CL84区・西ベルト1層	深鉢・F(I(?))1	頸部：無文、胴部：区画隆線文、渦巻状隆線文、隆線に沿う沈線、「Y」字状沈線文、縄文（LR）－＊CL　紐区・2層参照	184
4	CM84区・5層上面	深鉢・W5	口縁部：小張状部のある平縁、無文	184
5	CM84区・5層上面	深鉢・W3b	口縁部：小突起のつく平縁、縄文（Rℓ）	184
6	CM84区・5層上面	深鉢・V2	口縁部：波状縁、無文、胴部：縄文（LR）	184
7	CM84区・5層上面	深鉢・S11a	口縁部：平縁、無文、胴部：無文	184
8	CM84区・5層上面	深鉢・V3(?)	口縁部：波状縁、縄文（RL）	184

第314図　東側遺物包含層出土土器（CM84区・5層上面(2)）



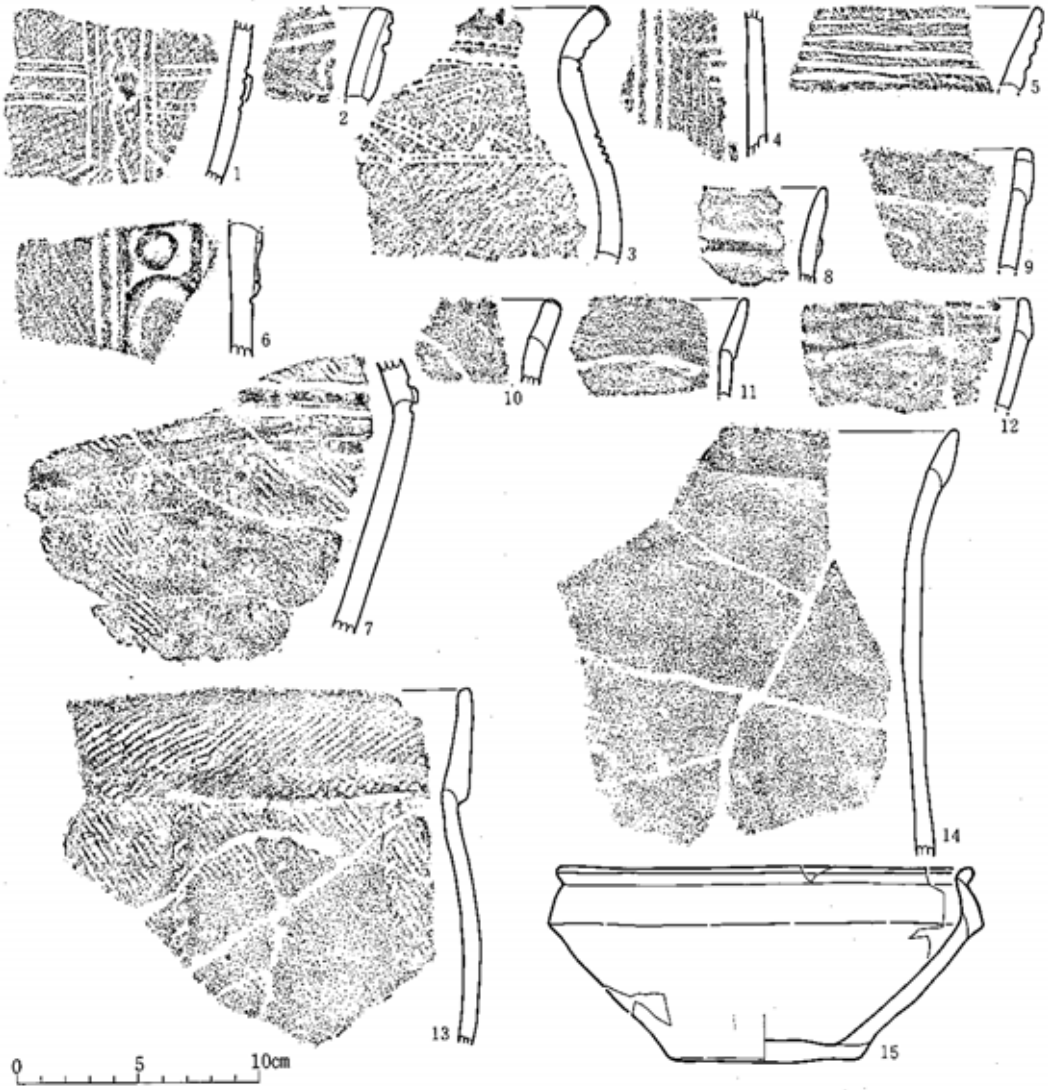
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM84区・5層上面	深鉢・D(Ⅰ)10a	□縁部：小突起のつく平縁、円錐状貼付文（上端）、半円形区画隆線文、隆線に沿う押圧縄文(Lr)、渦巻状押圧縄文（Lr）	184
2	CM84区・5層上面	深鉢・D(Ⅰ)10a	□縁部：平縁、区画隆線文、隆線に沿う押圧縄文（RL）、縄文（RL）（縄端上）	184
3	CM84区・5層上面	深鉢・D(Ⅰ)10a	□縁部：平縁、貼付文、区画隆線文、隆線に沿う押圧縄文（RL）	184
4	CM84区・5層上面	深鉢・L5	□縁部：平縁、区画隆線文、隆線に沿う押圧縄文(Rl)	184
5	CM84区・5層上面	深鉢・－	□縁部：平縁、半截竹管による刺突文、押圧縄文（Lr）	184
6	CM84区・5層上面	深鉢・D(Ⅱa)4b	□縁部：波状縁、波頂部から垂下する隆線文（一部剥落）、隆線に沿う押圧縄文（Lr）、□縁に沿う押圧縄文（Lr）	184
7	CM84区・5層上面	深鉢・S11a	□縁部：平縁、無文、胴部：無文	184
8	CM84区・5層上面	深鉢・S11b	□縁部：平縁、無文	184

第315図　東側遺物包含層出土土器（CM84区・5層上面(3)）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM84区・4層	深鉢・S4b(？)	□縁部：波状縁、□縁に沿う沈線文、頸部：無文、胴部：区画隆線文、隆線に沿う沈線文、縄文（LR）	181
2	CM84区・4層	深鉢・N9a	□縁部：平縁、縄文(RL)、胴部：区画隆線文、隆線に沿う沈線文、渦状沈線文、縄文(RL)結節文（再結び一部）	181
3	CM84区・4層	深鉢・D(Ⅱc2)1a(？)	胴部：横位隆線文、隆線に沿う沈線文、結束（第1種）羽状縄文（RL×LR）	181
4	CM84区・4層	深鉢・D(Ⅱ－)－	□縁部：波状縁、□縁に沿う沈線文、渦巻状沈線文	181
5	CM84区・4層	深鉢・D(Ⅰ)1b	□縁部：平縁、横位押引き文	181
6	CM84区・4層	深鉢・S－	□縁部：平縁、無文、胴部：横位平行沈線文、半截竹管による平行沈線文	181
7	CM84区・4層	深鉢・W3b	□縁部：波状縁、縄文（RL）	181
8	CM84区・4層	深鉢・W5	胴部：無文	181
9	CM84区・4層	深鉢・W5	□縁部：平縁、無文	181
10	CM84区・4層	深鉢・S10b	□縁部：平縁、無文、胴部：縄文（Lr）	181
11	CM84区・4層	深鉢・E(Ⅰ)1a	□縁部：平縁、横位押圧縄文（Lr）胴部：横位押圧縄文（Lr）	181
12	CM84区・4層	深鉢・E(Ⅰ)1a	□縁部：平縁、横位押圧縄文（Lr）（上部剥落）	181
13	CM84区・4層	深鉢・N8a(？)	□縁部：波状縁、刻目文（波頂部）、□縁に沿う沈線文	181
14	CM84区・4層	深鉢・N8b(？)	□縁部：小突起をもつ平縁、弧状押圧縄文（LR）	181
15	CM84区・4層	深鉢・W3b	□縁部：突起のつく平縁、「の」字状貼付文、縄文（LR）	181
16	CM84区・4層	深鉢・W3b	□縁部：突起のつく平縁、「の」字状貼付文、胴部：結節文	181
17	CM84区・4層	浅鉢・D(Ⅱa)3	□縁部：突起のつく平縁、「の」字状貼付文、押圧縄文（RL）（上端）□縁に沿う押圧縄文（RL）	181

第316図　東側遺物包含層出土土器（CM84区・4層）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM84区・4層上面	深鉢・A−	胴部；半截竹管による平行沈線文，円形貼付文，縄文（LR）	181
2	CM84区・4層上面	深鉢・A(II)3	口縁部；波状線，口縁に沿う平行沈線文，円形沈線文	181
3	CM84区・4層上面	深鉢・N3	口縁部；平線，縦位粘土紐貼付文（上端），胴部；半截竹管による押引き文，縄文（LR）	181
4	CM84区・4層上面	深鉢・K3b	胴部；半截竹管による平行沈線文，半截竹管による格子目状沈線文	181
5	CM84区・4層上面	深鉢・D(I)1a	口縁部；平線，横位平行沈線文，縄文（LR）	181
6	CM84区・4層上面	深鉢・−	胴部；懸垂区画隆線文，円形貼付文，隆線に沿う平行沈線文	181
7	CM84区・4層上面	深鉢・N4a	胴部；横位隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（LR）	182
8	CM84区・4層上面	深鉢・S11b	口縁部；平線，無文，頸部；横位隆帯，胴部；無文	182
9	CM84区・4層上面	深鉢・S10b(？)	口縁部；小突起のつく平線，（摩滅），胴部；（摩滅）	182
10	CM84区・4層上面	深鉢・S10a	口縁部；波状線，刻目文（上端），縄文（RL）	182
11	CM84区・4層上面	深鉢・W5	口縁部；平線，無文，胴部；無文	182
12	CM84区・4層上面	深鉢・S11a	口縁部；平線，無文，胴部；無文	182
13	CM84区・4層上面	深鉢・W3b	口縁部；平線，縄文（LR），胴部；縄文（LR）結節文（片結び一類）	182
14	CM84区・4層上面	深鉢・S11a	口縁部；平線，無文，胴部；無文	182
15	CM84区・4層上面，CM84区・4層	浅鉢・A8e	口縁部；平線，無文，胴部；無文，底部；網代底（不明）→再調整（不明）	25−2

第317図　東側遺物包含層出土土器（CM84区・4層上面(1)）

第 317 図 4：胴部破片である。半截竹管による平行沈線文によって文様が構成されている。

第 317 図 5〜7：頸部がゆるい「く」字状を呈し、口縁部は外傾する器形と思われる。7 は胴部が膨んでいる。5 の口縁部には横位平行沈線文、6〜7 の胴部には隆線文・沈線文が施されている。

第 317 図 8：口縁部はゆるやかに外傾している。頸部には横位隆帯が貼付されている。

第 317 図 9〜14：口縁部が複合口縁状を呈する器形である。文様意匠は施されていない。

第 317 図 15：無文の浅鉢形土器である。

第 318 図 1：浅鉢形土器である。隆線文・押圧縄文によって文様が構成されている。

第 3 層上面：第 318 図 2〜17

第 318 図 2：頸部がゆるく外反し、口縁部が肥厚して外傾する器形と思われる。口縁部には沈線文が施されている。

第 318 図 3：頸部が「く」字状につよくくびれ、胴部が膨む器形と思われる。細い粘土紐によって文様か施され、半截竹管による連続刺突が加えられている。

第 318 図 4：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部はわずかに内弯しながら外傾する器形である。縄文結節文が横回転によって施されている。

第 318 図 5：胴部破片である。半截竹管による平行沈線文によって文様が描かれている。

第 318 図 6〜8：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部は外傾する器形である。口縁には沈線文が施されている。

第 318 図 9：頸部が「く」字状につよくくびれ、口縁部は内弯しながら外傾する器形と思われる。隆線文・沈線文によって文様が構成されている。

第 318 図 10：口縁部は肥厚して外傾している。口縁部には弧状の沈線文が描かれている。

第 318 図 11：胴部から口縁部にかけてゆるやかに外反している。胴部には横位隆線文・沈線文が施されている。

第 318 図 12：頸部がつよく「く」字状にくびれ、口縁部は短く外傾する器形である。胴部は膨み、胴部上半に文様が構成されている。

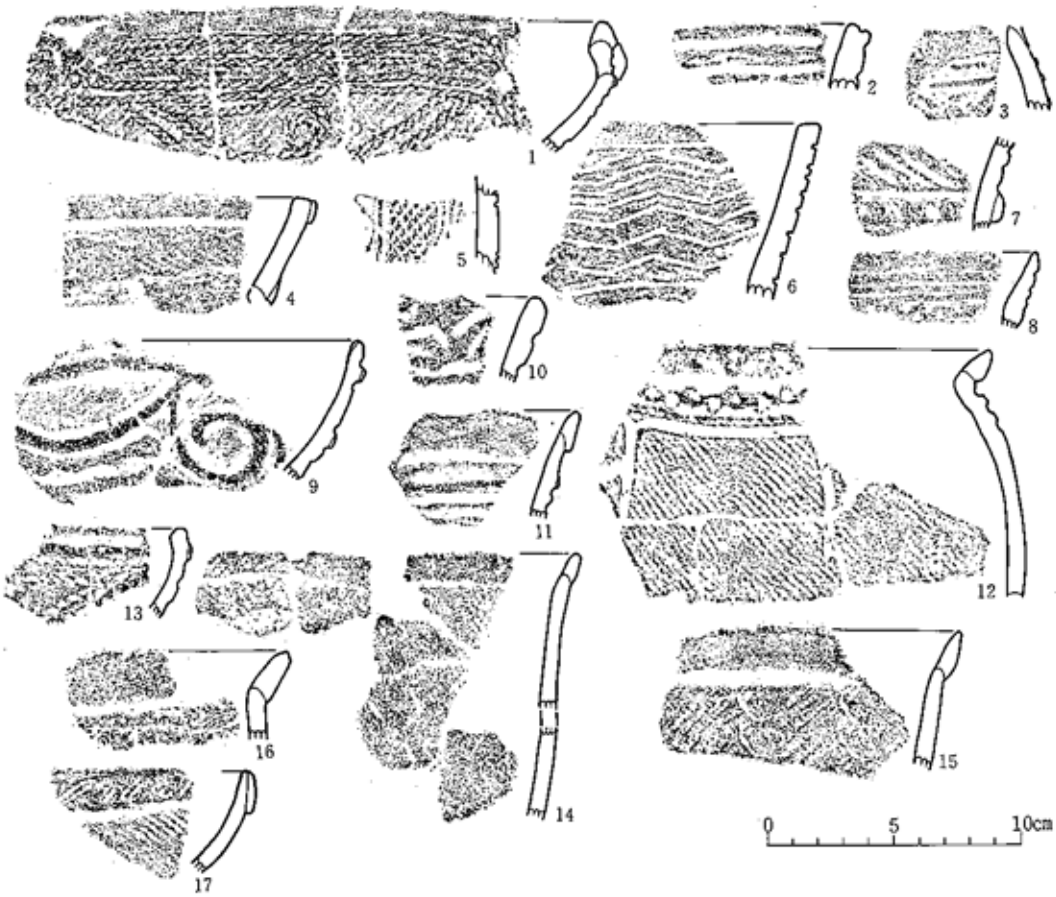
第 318 図 13：口縁部は内弯している。隆線文と押圧縄文によって文様が構成されている。

第 318 図 14〜17：口縁部が複合口縁状を呈する器形である。文様意匠は施されていない。

第 2 層：第 319 図 1〜13

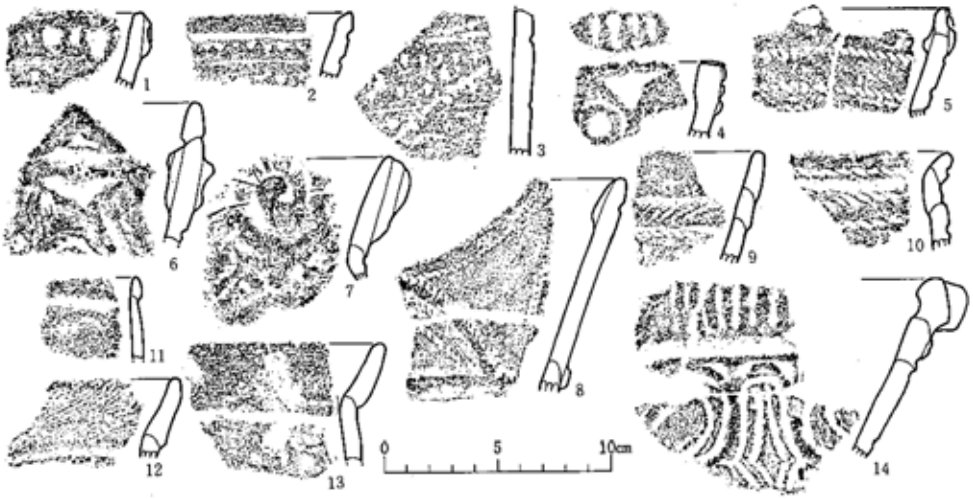
第 319 図 1：口縁部は肥厚して外傾する器形である。円形の盲孔及び刺突文が付されている。

第 319 図 2〜3：頸部が「く」字状にくびれ、口縁が外傾する器形である。横位平行沈線文



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM84区・4層上面、CL84区・1層、CM84区・3層上面、CL83区・四ベルト1層	浅鉢・A3c	口縁部：平縁、「x」字状区画隆線文、隆線に沿う押圧縄文（RL）、胴部：隆線に沿う押圧縄文(RL)、渦巻状押圧縄文（RL）	187
2	CM84区・3層上面	深鉢・D−	口縁部：平縁、沈線文（上端）、横位平行沈線文、胎土：金雲母を多く含tr	182
3	CM84区・3層上面	深鉢・H2a	胴部：横位平行隆線文、縦曲状隆線文、半截竹管による刺突文（隆線上）	182
4	CM84区・3層上面	深鉢・V3	口縁部：平縁、縄文（RL）結節文（片結び一順）	182
5	CM84区・3層上面	深鉢・K3b	胴部：半截竹管による平行沈線文、半截竹管による格子目状文	182
6	CM84区・3層上面	深鉢・E(Ⅰ)4b	口縁部：平縁、横位平行沈線文、連続山形沈線文	182
7	CM84区・3層上面	深鉢・E(Ⅰ)4c	口縁部：横位隆線文、隆線に沿う沈線文、斜行沈線文、刻目文（隆線上）	182
8	CM84区・3層上面	深鉢・D(Ⅰ)1d	口縁部：平縁、横位平行沈線文、交互刺突文	182
9	CM84区・3層上面	深鉢・E(Ⅰ)5	口縁部：小突起のつく平縁、刻目文（突起上）、区画隆線文、渦巻状隆線文、隆線に沿う沈線文	187
10	CM84区・3層上面	深鉢・S−	口縁部：小突起のつく平縁、沈線文	182
11	CM84区・3層上面	深鉢・S4b	口縁部：平縁、無文、胴部：横位隆線文、隆線に沿う平行沈線文	182
12	CM84区・3層上面	深鉢・N9a	口縁部：平縁、無文、胴部：横位隆線文、隆線に沿う平行沈線文、「Y」字状沈線文、交互刺突文、縄文(Lr)	187
13	CM84区・3層上面	深鉢・D(Ⅰ)8c	口縁部：平縁、区画隆線文、隆線に沿う押圧縄文（LR）	187
14	CM84区・3層上面	深鉢・S10b	口縁部：平縁、無文、胴部：縄文（LR）結節文（片結び一順）	187
15	CM84区・3層上面	深鉢・S10b	口縁部：平縁、無文、胴部：縄文（RL）結節文（片結び一逆）	187
16	CM83区・3層上面	深鉢・W3b(？)	口縁部：平縁、（摩滅）、胴部：（摩滅）	187
17	CM83区・3層上面	深鉢・E(Ⅰ)11	口縁部：平縁、縄文（Lr）、胴部：縄文（Lr）	187

第318図　東側遺物包含層出土土器（CM84区・4層上面(2)・3層上面）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM84区・2層	深鉢・A－(？)	口縁部：平縁、円形の盲孔、刺突文、胎土：金雲母を多く含む	187
2	CM84区・2層	深鉢・E(Ⅰ)4b(？)	口縁部：平縁、横位平行沈線文、横位連続刺突文	187
3	CM84区・2層	深鉢・E(Ⅰ)4b(？)	胴部：横位平行沈線文、横位連続刺突文	187
4	CM84区・2層	深鉢・D(Ⅱc2)1a	口縁部：波状縁、刻目文〔波頂部〕、区画隆線文、円環状隆線文	187
5	CM84区・2層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：小突起のつく平縁、横位平行押圧縄文（Lr）	187
6	CM84区・2層	深鉢・D(Ⅱa)4b	口縁部：波状縁、区画隆線文、隆線に沿う押圧縄文（RL）、隆線に沿う沈線文	187
7	CM84区・2層	深鉢・D(Ⅱb)2(？)	口縁部：波状縁、「の」字状隆線文、隆線に沿う押圧縄文（Lr）、押圧縄文（Lr）	187
8	CM84区・2層	深鉢・D(Ⅱa)4b	口縁部：波状縁、区画隆線文、隆線に沿う押圧縄文（LR）、口縁に沿う押圧縄文（LR）	187
9	CM84区・2層	深鉢・S5a	口縁部：平縁、無文、胴部：横位押圧縄文（LR）、縄文（LR）	187
10	CM84区・2層	深鉢・N5b	口縁部：平縁、横位押圧縄文（Lr）、胴部：横位押圧縄文	187
11	CM84区・2層	深鉢・S11a	胴部：無文	187
12	CM84区・2層	深鉢・W3b	口縁部：平縁、縄文（Lr）	187
13	CM84区・2層	深鉢・V4	口縁部：平縁、無文、胴部：無文	187
14	CM84区・1層	深鉢・D(Ⅱc2)1a	口縁部：波状縁、縦位沈線文〔上部〕、区画隆線文、隆線に沿う平行沈線文	187

第319図　東側遺物包含層出土土器（CM84区・2層・1層）

と連続刺突文によって文様が構成されている。

第 319 図 4：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部が外傾する器形と思われる。口縁部には隆線文が施されている。

第 319 図 5～8：頸部がゆるい「く」字状を呈し、口縁部は外傾する器形である。5 は横位平行押圧縄文、6～8 は隆線文、押圧縄文によって文様が構成されている。

第 319 図 9：口縁部は複合口縁状を呈している。胴部には横位押圧縄文が施されている。

第 319 図 10：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部は短く外傾する器形である。口縁部・胴部には横位平行押圧縄文が施されている。

第 319 図 11～13：口縁部がゆるくくびれ、複合口縁状を呈している。文様意匠は施されていない。

第1層：第 319 図 14

第 319 図 14：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部は外傾する器形と思われる。隆線文・沈線文によって文様が構成されている。

（ＣＭ84 区ベルト）

第６層：第 320 図 1

第 320 図 1：頸部がゆるく外反し、口縁部が肥厚して外傾する器形である。口頸部に沈線文によって文様が施されている。

第５層：第 320 図 2～12

第 320 図 2：頸部が「く」字状にくびれ、口縁が肥厚して外傾する器形である。口縁部には山形の沈線文、円形の盲孔が配されている。

第 320 図 3～4：頸部がゆるく外反し、口縁部が肥厚して外傾する器形である。3 は口縁部に山形の沈線文、円形の盲孔が配され、頸部隆帯には三角形の彫去が連続して施されている。4 は口縁部、胴部ともに沈線文が施されている。

第 320 図 5～6：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が肥厚して外傾し、胴部が膨む器形である。細い粘土紐によって文様が構成され、半截竹管による押引きが加えられている。6 の口縁上端には、渦巻状貼付文・縦位の粘土紐貼付文が付されている。

第 320 図 7：頸部がつよくくびれ、口縁部は肥厚して外傾している。胴部に縄文が施されている。

第 320 図 8：胴底部資料である。底面はナデ調整が施されている。

第 320 図 9：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が外傾する器形と思われる。口縁部には連続刺突文が施されている。

第 320 図 10：頸部がゆるやかに外反し、口縁部は複合口縁状を呈している。口縁上端に斜位の刻目文が施されている。

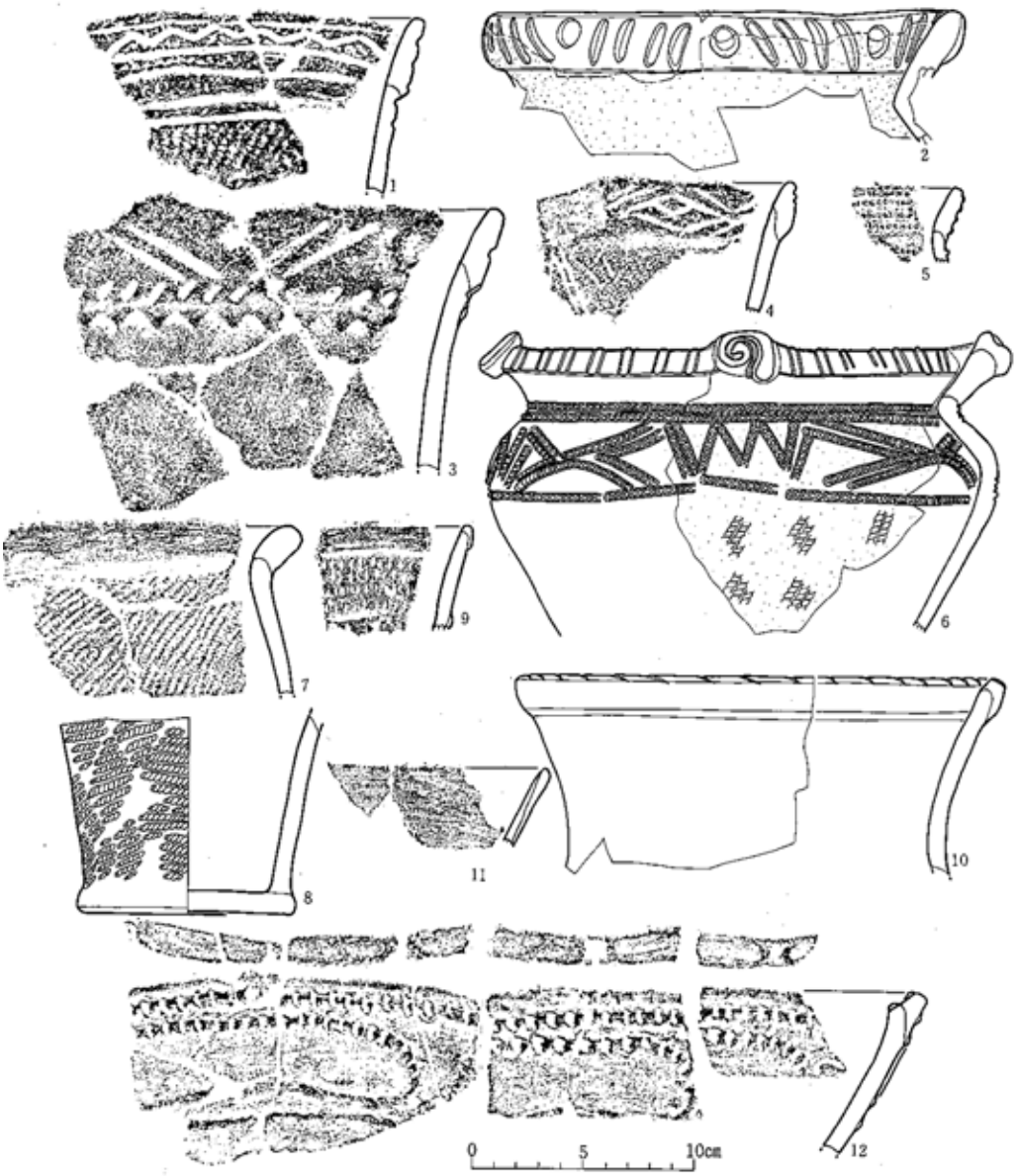
第 320 図 11：無文の浅鉢形土器である。

第 320 図 12：隆線文・半截竹管による連続刺突文によって文様が構成される。浅鉢形土器である。

第４層：第 321 図 1～2

第 321 図 1：胴部から口縁部にかけてゆるやかに内弯する器形である。隆線文と沈線文によって文様が構成されている。

第 321 図 2：口縁部は外傾している。文様意匠は施されていない。



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM84区・西ベルト6層，CL84区・西ベルト2層，CL84区・一層	深鉢・A(Ⅰ)3	口縁部：平線，横位平行沈線文，鋸歯状沈線文，縄文（LR），胴部：横位平行沈線文，縄文（LR）	188
2	CM84区・北ベルト5層，	深鉢・A(Ⅰ)2	口縁部：平線，円形の盲孔，山形沈線文，胴部：（斜版）	28−3
3	CM84区・西ベルト5層，CO84区・北ベルト5層	深鉢・A(Ⅰ)2	口縁部：平線，円環状貼付文，山形沈線文，円形の盲孔，刻目文，頸部：三角形の彫虫，胴部：（摩滅）	188
4	CM84区・北ベルト5層	深鉢・A(Ⅰ)−	口縁部：平線，菱形状沈線文，胴部：半截竹管による平行沈線文，半截竹管による刺突文	188
5	CM84区・北ベルト5層	深鉢・H4	口縁部：平線，粘土紐貼付文，半截竹管による押引き文（粘土紐上），胴部：粘土紐貼付文，半截竹管による押引き文（粘土紐上）	188
6	CM84区・西ベルト5層	深鉢・N1	口縁部：突起のつく平線，隆帯状貼付文，半截竹管による縦位平行沈線文（上端），頸部：無文，胴部：粘土紐貼付文，半截竹管による押引き文（粘土紐上），縄文（RL）	28−2
7	CM84区・北ベルト5層	深鉢・A(Ⅰ)5b	口縁部：平線，無文，胴部：縄文（LR）	188
8	CM84区・北ベルト5層	深鉢・−	胴部：縄文（LR），底部：ナデ	
9	CM84区・北ベルト5層	深鉢・E(Ⅰ)4b(？)	口縁部：平線，横位連続刺突文，横位隆線文	188
10	CM84区・西ベルト5層，CO85区・西ベルト6層	深鉢・S9c	口縁部：平線，斜位刻目文（上端），無文，無文〜※CO85区・西ベルト6層に同一個体	
11	CO84区・北ベルト5層	浅鉢・A8e	口縁部：平線，無文	188
12	CM84区・西ベルト5層，CL83区・1層，CM83区・1層	浅鉢・A3e	口縁部：平線，区画隆線文，半截竹管による刻目文（隆線上），「ｚ」字状隆線文（内面）	188

第320図　東側遺物包含層出土土器（CM84区・ベルト6層・5層）